

# 広島県薬剤師会誌



2011

No. 233

隔月発行

5

月号

# 第40回 広島県薬剤師会通常総会開催通知

日 時：平成23年**5月21**日（土）午後3時30分～

会 場：広島県薬剤師会館4階ホール

議 事：

（報 告）

（資料）

- |                           |                            |
|---------------------------|----------------------------|
| 1. 日本薬剤師会臨時総会報告           | 1. 平成22年度広島県薬剤師会収支補正予算書    |
| 2. 広島県薬剤師会通常代議員会報告        | 2. 平成22年度検査センター特別会計収支補正予算書 |
| 3. 平成22年度広島県薬剤師会会務及び事業報告  | 3. 平成23年度広島県薬剤師会事業計画       |
| 4. 平成22年度薬事情報センター事業報告     | 4. 平成23年度薬事情報センター事業計画      |
| 5. 平成22年度広島県薬剤師会収支計算書     | 5. 平成23年度広島県薬剤師会収支予算書      |
| 6. 平成22年度保険薬局部会事業報告       | 6. 平成23年度保険薬局部会事業計画        |
| 7. 平成22年度保険薬局部会収支計算書      | 7. 平成23年度保険薬局部会収支予算書       |
| 8. 平成22年度会館運営事業報告         | 8. 平成23年度会館運営事業計画          |
| 9. 平成22年度会館運営事業特別会計収支計算書  | 9. 平成23年度会館運営事業特別会計収支予算書   |
| 10. 平成22年度検査センター事業報告      | 10. 平成23年度検査センター事業計画       |
| 11. 平成22年度検査センター特別会計収支計算書 | 11. 平成23年度検査センター特別会計収支予算書  |

※ 集合研修会 平成23年度開催分(平成23年4月以降開催研修会)より  
受講シールの年度、色調が変わります。ご注意ください！！

	1単位	2単位	3単位	4単位	6単位	9単位
平成23年度開催分 H23.4.1～H24.3.31						
平成22年度開催分 H22.4.1～H23.3.31						

# 広島県 薬剤師会誌 目次

## No.233

第40回 広島県薬剤師会通常代議員会開催される	2
支部長・理事合同会議を開催	6
平成22年度 日本薬剤師会薬局実務実習担当者全国会議	7
広島県輸血療法委員会情報交換会	11
第76回 日本薬剤師会臨時総会	12
平成22年度 介護保険・在宅医療等担当者全国会議	14
中国・四国地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関評議員会及び運営委員会合同会議	14
第29回 病院・薬局実務実習中国・四国地区調整機構会議	15
平成22年度 第2回ひろしま食育・健康づくり実行委員会会議	15
第22回 広島プライマリ・ケア研究会	20
日本薬剤師会平成22年度医薬分業指導者協議会 ～東日本大震災（前編）～	21
JMATに参加して ～東日本大震災（後編）～	23
平成22年度 日本薬剤師会行政薬剤師部会講演会	26
第10回 NPO法人介護支援専門員協会定期総会報告	27
広島県地域保健対策協議会 研修会報告	28
第3回 広島県乳幼児事故防止等検討専門委員会報告	32
平成23年度 6年制薬局実務実習受け入れ説明会	33
広島県薬剤師研修協議会のページ	34
<b>福利厚生</b> Wポイントカード加盟店・指定店一覧	39
県薬だより 県薬より支部長への発簡 常務理事会議事要旨 県薬日誌 行事予定 会員異動	43
会員紹介⑥	58
行政だより/支部だより/諸団体だより	59
研修だより	64
東日本大震災に関するページ	69
薬事情報センターのページ	81
お薬相談電話事例集 No.70	83
安全性情報 No.277・No.278	84
検査センターだより	85
薬剤師の休日	87
薬局紹介⑩	88
書籍等の紹介	89
告知板	91
保険薬局ニュース	色紙
薬剤師連盟のページ	色紙

### 表紙写真 ハクモクレン（モクレン科）

中国ではモクレンの花蕾を辛夷として漢方薬に使います。日本の辛夷はコブシやタムシバの花蕾を使います。花蕾にはシトラール・オイゲノール・ピネンなどの精油が含まれます。漢方では鼻のつまりを治す薬として葛根湯に加えたり、蓄膿の薬に辛夷清肺湯として使います。

写真提供：吉本 悟先生（安芸支部）  
撮影場所：安芸郡府中町

## 第40回 広島県薬剤師会通常代議員会開催される

### — 平成23年度事業計画・収支予算など決定 —

第40回広島県薬剤師会通常代議員会は、去る3月20日（日）午後1時から、広島県薬剤師会館において開催された。

会議は平田智加子常務理事の司会のもと開会され、まず、木平健治副会長の開会の辞、児玉孝日本薬剤師会会長の祝電披露の後、正・副議長選出のため仮議長を司会者指名により、竹下武伸議員（大竹）を選出し、次に、出席代議員数の確認があり、出席代議員数72名であり、定款第27条の規定する2分の1の定足数に達しているので、会議の成立宣言があり、直ちに開議された。続いて正・副議長の選出に移り、選考委員5名による選考が行われた結果、議長に河内一仁代議員（広島）、副議長に林真理子代議員（安佐）が選出された。



次に、正・副議長が着席され、まず、議席の指定、会期を1日（20日）と決定、続いて、議事録署名人に、宮本一彦代議員（広島）、松岡俊彦代議員（行政）を議長指名によって選任、また、第40回広島県薬剤師会通常総会におけるこの代議員会報告者に上記の2氏を指名した。

次に、平成22年度の物故会員に対して、ご冥福を祈り黙祷が捧げられた。

次に、会長演述に移り、前田泰則会長から別掲のとおり演述があった。

次に、選挙管理委員会委員の委嘱に移り、議長から山本和彦（広島）、森川悦子（広島）、下田

代幹太（安佐）、作田利一（福山）、藏田元二（廿日市）の5氏に委嘱された。

次に、議案等の審議に入り、直ちに報告事項10件、議案11件を一括上程議題とし、次のとおり各担当理事等から報告事項の説明並びに議案の提案理由の説明が行われた。

#### （報告事項の説明）

1. 報告第1号 日本薬剤師会臨時総会報告  
玉浦日葉代議員
2. 報告第2号 平成22年度広島県薬剤師会会務及び事業執行状況報告  
野村副会長
3. 報告第3号 平成22年度薬事情報センター事業執行状況報告  
木平副会長
4. 報告第4号 平成22年度広島県薬剤師会収支計算書  
谷川常務理事
5. 報告第5号 平成22年度保険薬局部会事業執行状況報告  
村上副会長
6. 報告第6号 平成22年度保険薬局部会収支計算書  
青野常務理事
7. 報告第7号 平成22年度会館運営事業執行状況報告  
野村副会長
8. 報告第8号 平成22年度会館運営事業特別会計収支計算書  
谷川常務理事
9. 報告第9号 平成22年度検査センター事業執行状況報告  
大塚副会長



10. 報告第10号 平成22年度検査センター特別会  
計収支計算書

谷川常務理事

以上の報告事項の説明終了後、暫時休憩した。

<休憩 午後2時40分、再会 午後2時50分>

会議再開後、引き続き各議案の提案理由の説明が、次のとおり行われた。

(提案理由の説明)

1. 議案第1号 平成22年度広島県薬剤師会補正  
予算書(案)

谷川常務理事

2. 議案第2号 平成22年度検査センター特別会  
計収支補正予算書(案)

谷川常務理事

3. 議案第3号 平成23年度広島県薬剤師会事業  
計画(案)

野村副会長

4. 議案第4号 平成23年度薬事情報センター事  
業計画(案)

木平副会長

5. 議案第5号 平成23年度広島県薬剤師会収支  
予算書(案)

谷川常務理事

6. 議案第6号 平成23年度保険薬局部会事業計  
画(案)

村上副会長

7. 議案第7号 平成23年度保険薬局部会収支予  
算書(案)

青野常務理事

8. 議案第8号 平成23年度会館運営事業計画  
(案)

野村副会長

9. 議案第9号 平成23年度会館運営事業特別会  
計収支予算書(案)

谷川常務理事

10. 議案第10号 平成23年度検査センター事業計  
画(案)

大塚副会長

11. 議案第11号 平成23年度検査センター特別会  
計収支予算書(案)

谷川常務理事

以上の説明後、直ちに質問に入り、各代議員から活発なる質問・質疑があり、理事者との間に極めて熱心な討議が行われた。

その質問・質疑は次のとおりである。

○公益法人制度改革について

○薬剤師会館移転について

質疑終了後、採決が行われ、各報告事項についてはいずれも原案のとおり承認され、各議案についてはいずれも原案のとおり可決された。

以上で議事を終了し、大塚幸三副会長の閉会の辞を以って閉会された。

<閉会 午後4時43分>



## 《 前 田 会 長 演 述 》



みなさん、こんにちは。

今日は足下の悪い中、また、お休みの日にもかかわらず、第40回広島県薬剤師会通常代議員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

先ほどから言われておりますとおり、3月11日の東北地方太平洋沖地震に端を発しまして、大津波や福島県原発事故と、相次ぐ国難とも言うべき災害が発生しました。被害にあわれた方々や、不幸にして亡くなられた方々への哀悼の意を表したいと思います。本会といたしましては、3月14日（月）に緊急の対策本部を立ち上げ、情報収集を中心にして、日本薬剤師会、広島県行政、また、他団体との連携をより一層密にして対応することを決めさせていただきました。翌日、3月15日（火）、第1弾として、中国新聞社へ緊急支援金100万円を、今回の災害支援のため募金をさせていただきます。

また、今後の支援及び募金活動につきましては、支部会員、支部、県薬剤師会、日本薬剤師会と連携を取り、対応してまいります。いずれにしましても、このたびの大災害は、未曾有の出来事でありまして、広範囲に渡る災害ですので、長期戦覚悟で、復興に向けて間断なく可能な支援をしたいと思っております。改めまして、会員お一人

お一人の力添えや、各支部のご支援につきまして、格段のご協力をお願い申し上げます。

今日の広島県薬剤師会における代議員会での、各事業の説明並びに予算の説明は、それぞれ担当役員より資料に基づき説明させていただきます。

日本薬剤師会をはじめ、各都道府県薬剤師会も、このたびの災害に関しては、それぞれの活動を間断なくやるということは決めております。ただ、遠方であるため、情報収集あるいは、現場の必要な物、そういった物をどういうふうにするのかということは、順次連絡がくると思います。第1弾として、2日3日前、DMATの報告会に出てまいりまして、そこでは4チーム、医師・看護師・薬剤師というチームで、被災地に赴かれた内容を聞かせていただきました。なかなか命令系統、あるいは行政そのものが場所によっては無くなっておりますので、非常に連携のとれにくい中での活躍の報告を受けております。医薬品等が足りない、食品が足りない、水が足りないという中で、基本的にガソリンが無いため、非常に末端に物が行き届きにくいという状況は、ニュースで皆様ご存じのとおりであります。これから特に、原子力発電所の事故がどこまで収まるかによっても違いますけれども、実は広島では、放影研の谷口教授をはじめ、今回、木村教授も第2陣として出ておられますが、非常に早い対応をされております。いわゆる検査機器、ガイガー・カウンター等も既に持って行かれております。報告の中では、今のところは人体に危害の及ぶようなものではないと。ただ、あまりにも原発に近く、厳しい数字なので、そこには人が近よれないということですが、広島ということで、最初は、DMATの後の打合せの中では、広島チームはできるだけ福島へという話があったのですが、今のところ、JMATという日本医師会主導のチームの動きがあります。日薬は、ボランティアのできる方々の募

集を始めております。順次、どのようなルートで行けば良いか？行っていीか？を十分検討してから出発しようと思っております。ラインが1,000 kmを超えますので、神戸の震災の時と事情が違います。地震だけでなく、大津波と原発の被災という非常に憂慮しがたいものもあります。ぜひ、情報収集と連携を取りながら進めていきたいと思っております。その他の事業計画案においても、今回の被災の復興のためのあらゆる手立てが最優先になると思います。実際に、医薬分業等のこと、ポイント制度のこと、第二薬局等の許認可の様々な問題を抱えながら進行しているわけですが、分業は現場で改めてお支えいただき、患者さんへのちゃんとした対応は、地元は当然していかないとはいけませんが、少しでも余ったお力がありましたら、被災地へのご支援・ご協力をお願いしたいと思っております。非常に緊急性の高い話が毎日出てまいりまして、先週月曜日からこちらにずっとおりますが、各委員会、各事業内容について、他団体の接衡も続けてまいりましたけれども、重なりあいのないようにな冷静に対応していきたいと思っております。様々な情報があると思いますが、如何せんあまりにも距離が長いので、数人で行くとか、無理してでも一人で行くとかではなく、長いスタンスでの対応をぜひお願いしたいと思っております。

今日の代議員会は、非常に多くの議題を抱えております。6年制のこと、二葉の里に移転等のこともありまして、非常に課題満載ですので、十分なご審議をいただき、会議を終えたいと思っております。丁寧な説明と、真心をこめた回答をしたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

以上で会長演述を終わります。ご静聴ありがとうございました。

## 第40回 県薬通常代議員会

### 出席者名簿

(敬称略、順不同)

(○印は予備代議員)

#### ◆代 議 員

池田康彦、○岩本義浩、○菊一璽子、加藤淳司、河内一仁、竹本貴明、辰本洋子、○近藤元恵、長坂晋次、中野真豪、永野孝夫、野村伸昭、細田正紀、○武末玲子、宮本一彦、村岡信也、森川悦子、山本寛、山本和彦、吉川勇人、○三浦常代、○大岩生子、○天畠真奈美、皮間壽美子、細田智子、畠山厚、井上真、○村上寛子、清原一樹、作田利一、鍋島睦枝、萩原謙二、美野博則、山岡恵美子、○松本久仁子、○江木ひとみ、小松谷宣文、伊駒尊子、下田篤子、横田いつ子、○石井淳規、加藤哲也、土井郁郎、木村昌彦、荒田吉丸、下田代幹太、貞永昌夫、林真理子、秋本浩志、○加藤頼孝、小早川雅章、松村博之、佐々木一仁、中本博、○中村勇樹、野村真由美、○稲住俊介、清原厚子、中本明春、池田和彦、呑田敬三、長谷川項一、○山下大介、渡邊英晶、石本晃一郎、蔵田元二、竹下武伸、赤尾功制、川崎一仁、出口正光、藤政智栄、島崎一郎、中石真紀、神田信吾、○中山陽治、松岡俊彦、平岡一貴

#### ◆役 員

会 長 前田泰則

副 会 長 木平健治、大塚幸三、松下憲明、  
野村祐仁、村上信行

専務理事 豊見雅文

常務理事 青野拓郎、有村健二、重森友幸、  
田口勝英、谷川正之、平田智加子、  
藤山りさ、二川 勝、政岡 醇

理 事 小澤孝一郎、串田慎也、  
豊見 敦、中嶋都義、西谷 啓

監 事 水戸基彦、児玉信子

#### ◆支部長

野村祐仁 (広島)、二川 勝 (安芸)、  
樽谷嘉久 (広島佐伯)、村上信行 (福山)、  
田辺ナオ (尾道)、大塚幸三 (呉)、  
加藤哲也 (安佐)、野村真由美 (山県)、  
渡邊英晶 (廿日市)、竹下武伸 (大竹)

#### ◆日本薬剤師会代議員

村上信行、青野拓郎、玉浦 巖



## 第40回 広島県薬剤師会 通常代議員会に出席して

広島支部 岩本 義浩

平成23年3月20日、昼ごろから降りだした雨の中で、第40回広島県薬剤師会通常代議員会が開催され、出席したので報告します。

開会の前に、3月11日に発生した東日本大震災の犠牲者に対して黙とうが行われました。また、代議員会の開催中に被災者及び被災地の復興の為に募金も行われました。

代議員会は河内議長と林副議長が選出され、議事が進行していきました。

会長演述の後、この日のメインである議案等審議が行われました。

報告では、報告第1号 日本薬剤師会臨時総会報告から報告第10号 平成22年度検査センター特別会計収支計算書までの10項目の報告説明が行われました。

続いて議案では、議案第1号 平成22年度 広

島県薬剤師収支補正予算書（案）から議案第11号 平成23年度検査センター特別会計収支予算書（案）までの11項目の提案理由等の説明が行われました。

その後の質疑・応答では、学生実務実習事業、会館施設設備積立金預金支出、公益法人化の質問事項が挙がり、その事項に対し、担当の役員が回答された後、採決となり、賛成多数で議決されました。

採決後、薬剤師会館移転の概略についての質問に前回会長が回答して、長時間に及んだ代議員会は閉会しました。

広島県薬剤師会は、多くの難題を抱えていると思います。特に移転については、まだ何も決まっていらないようです。移転するにせよ、残るにせよ、広島県薬剤師会及びその会員にとって、いい選択をされる事を願います。

予備代議員で、初めて代議員会に出席しました。資料の点検不足など反省する点はありますが、よい経験になりました。

## 支部長・理事合同会議を開催

日時：平成23年2月19日（土） 13：30～

場所：広島県薬剤師会館

- |                                  |  |
|----------------------------------|--|
| 1. 平成23年度事業計画（案）について             | 日 時：3月12日（土） 午前10時～正午                          |
| 2. 会員証の発行について                    | 場 所：広島県健康福祉センター                                |
| 3. 協会けんぽ広島支部とのブラウンバック運動について      | 11. 広島県地域保健対策協議会研修会                            |
| 4. ジェネリック推進事業（スイングポップ付きペン立て）について | 日 時：3月14日（月） 午後7時～                             |
| 5. 平成23年度認定実務実習指導薬剤師養成について       | 場 所：広島県薬剤師会館                                   |
| 6. 第40回広島県薬剤師会通常代議員会について         | 12. 平成22年度在宅緩和ケア講演会の開催について                     |
| 3月20日（日） 午後1時～                   | 日 時：3月17日（木） 午後2時～4時                           |
| 7. 第40回広島県薬剤師会通常総会について           | 場 所：広島国際会議場                                    |
| 5月21日（土） 午後3時30分～                | 13. がん検診へ行こうよ推進会議がん講演会                         |
| 【支部長・理事合同会議 同日 午後2時～】            | 日 時：3月21日（月） 午後2時～4時                           |
| 8. 食育フォーラムin広島で開催について            | 場 所：広島国際会議場                                    |
| 日 時：3月5日（土）                      | 14. 広島県薬物乱用防止指導員の推薦について                        |
| 午後1時30分～3時45分                    | 推薦期限：3月10日（木）                                  |
| 場 所：アステールプラザ                     | 15. 広島県薬事衛生指導員活動報告書の提出について                     |
| 9. 第22回広島県プライマリ・ケア研究会について        | 提出期限：3月10日（木）                                  |
| 日 時：3月10日（木） 午後7時～               | 16. 平成23年度広島県薬剤師会各賞（薬剤師会賞、同功労賞、同有功賞）候補者の推薦について |
| 場 所：広島医師会館                       | 提出期限：4月15日（金）                                  |
| 10. 乳幼児事故防止担当者研修会について            | 17. その他  |

## 平成22年度 日本薬剤師会薬局実務実習担当者全国会議



理事 中嶋 都義

日時：平成23年2月11日（金）

場所：慶應義塾大学芝共立キャンパス

当日は大雪が降る中で、広島県薬からは中川潤子理事と二人で参加しました。内容は会議というよりも講演、ワークショップという研修会的なものでした。

会議（研修会）は日薬 笠井常務理事の司会のもと、まず、児玉日薬会長の挨拶で始まりました。講演内容については以下の通りです。

### 1. 講演 「1年目（第Ⅰ期、第Ⅱ期）の実習を終えて」

#### ①第Ⅰ期受入薬局アンケート調査から

日本薬剤師会常務理事 森 昌平

6年制薬学教育を受けた学生を初めて受け入れた薬局に対して行われた、実習に関するアンケート調査についての報告がありました。

指導薬剤師が学生を指導するに当たり特に意識した点は「できるだけ実務を体験させること」「モデル・コアカリキュラムの内容を全て網羅すること」「患者・顧客や地域との係わりの重要性を認識・経験させること」等があった。また、実習生を受け入れて良かった点は「自己研鑽になった」「未来の薬剤師育成に貢献できた」等、現場の実習を真剣に行った真面目な薬剤師像が現われていると感じた。

一方で、実習生を受け入れて苦労した点では「事前の準備」「スケジュールに沿った進行」「業務への影響」等が挙げられ、トラブルについては「学生が実習中に感染性の疾病にかかった」「学生の実習に取り組む意欲の欠如」等が問題になったようです。

また、モデル・コアカリキュラムに対しては「実習生の到達目標への到達が困難であった」、さらに、実習が十分でなかったSBOsは「カウンター実習」「服薬指導」「薬局製剤」等があったとのこと。その理由は、「学生がスムーズに入れなかった」「指導薬剤師の準備不足」「薬局での症例不足」「スケジュールの立て方の不備」等が挙げられていました。

全体としては1年目の実習は概ね大きな問題なく行われ、全ての学生を受け入れることができたとの報告でした。

#### ②1年目の実習を振り返って

病院・薬局実務実習関東地区調整機構委員長  
戸田 潤

実習生にとってより良い実習環境作りには「実習内容の充実」と「実習体制の確立」が挙げられるとのこと。以下、関東調整機構で独自に行われたアンケート調査から見てきたことについて講演されました。

学生が実習において体験日数の頻度が少なかったこととして、「他の医療職からの問い合わせがあった時の報告書の作成」「OTC薬販売時での医師への受診勧奨」「OTC・健康食品の取り扱い」等があったとのこと。

指導薬剤師に関しては学生の満足度は高い一方で、薬剤師は自身の指導力への満足度は低く評価されている。また、指導薬剤師は評価表の様式が大学毎に異なり、評価の基準が曖昧である為、評価表が使い辛く



感じていたとのこと。

その他、学生が良かったと感じていることとしては、「色々なことが体験でき、また、患者さんからも励まされて、達成感や知的興奮を覚え、人間としての成長が促され参加型の実習の成果があったこと」「集合研修や複数の施設での実習では、他大学の学生との交歓や同級生との情報交換ができて良かった」等を挙げられました。

1年目の実習を終えて改善が必要なこととして、薬局関係では「受入施設のキャンセルや変更での調整」「長期に渡り実習生を調剤助手扱いにされた」「実習期間中に指導薬剤師がほとんど不在であった」「評価や書類が大学毎に異なる」「受け入れ施設からの評価表等の返送が遅い」「他施設に行く場合の交通費を実習生自身が負担させられた」等を挙げられました。また、学生関係では「実習への意欲、積極性の不足」「一般常識の不足」「自己の健康管理が不十分」「コミュニケーション能力が低い」「実習期間中の就職活動」等を挙げられました。大学教員の悩みとして、「訪問時を含めて施設との連携」「担当教員以外の6年制実務実習に対する理解度の低さ」「評価について」等があったとのこと。さらに、今後は実習に関してWEBシステムの構築も必要であると述べられました。

## 2. 講演 「医療人教育の改革」

医療法人愛の会光風園病院理事長

木下 牧子

薬学教育が4年制から6年制に変わったのは、「“病を持つ人”が抱える身体・心理・社会上の問題の解決を支援する医療」に対する社会のニーズとして、プロフェッショナルである薬剤師が求められているからである。現在の医療においては、医学・医療が進歩し、また、安全性の確保の為に

も単独の職種での対応は困難であり、チーム医療が必要とされる。チーム医療の中では薬剤師もその専門性を活かし、優れたコミュニケーション能力でもって、共通の基盤に立って医療を行う必要があり、その為にも、医療人プロフェッショナルリズムが求められる。そのプロフェッショナルリズムを学ぶ為に長期実務実習が導入されたのである。

長期実務実習では、「経験→省察→学び→試行→経験」という「経験学習のサイクル」、指導者による適切な「フィードバック」、よき教育現場としての「場・文化の醸成」が必要とされる。

最後に「人生の目的」とは、1. 自分に潜在する能力をできるだけ引き出す、2. 他の人と好ましい人間関係をつくることができる、3. 他の人の人生に意味のある貢献をする、というパワーポイントで講演を締めくくられました。

以上の講演の後、午後のワークショップ（WS）の説明の為、会場を移動しました。今回は4P12SでのWSでした。私はBチームで「求められる指導薬剤師の姿—1年目の実習を踏まえて—」、中川理事はDチームで「参加型実習をよりよくするために—指導薬剤師に求められること」のテーマでした。

## 3. WS説明

①ABチーム「求められる指導薬剤師の姿—1年目の実習を踏まえて—」

日本薬剤師会薬学教育に関する特別委員会  
実習指導体制整備検討会委員長

高橋 寛

1年目は全国で9,322人の学生に対して保険薬局での実務実習が行われた。来年への課題としては、「ユニット4 カウンターで学ぶ」「ユニット5 学校薬剤師」「ユニット5 在宅医療」等について受け

入れ薬局の約半数が他薬局へ依頼されていること、また、技能・態度についての指導方法や評価方法についての問題が挙げられる。プロフェッショナルとしての薬剤師を養成するという目的で望ましい薬学教育カリキュラムが完成し、薬学教育が6年制となったのであり、薬剤師には次世代の薬剤師を教育訓練する責任を果たすべき役割がある。その為に、認定実務実習指導薬剤師が養成された。それでは、求められる指導薬剤師の姿はどのようなものか。

ということで、今回のWSでは以下の作業を行う。

1. 「求められる指導薬剤師像」をカードに書き出し、指導薬剤師のあるべき姿をまとめる。(KJ法)
2. そこに向かい、今後行うことを具体的に提案する。(アクションプラン)

WSについての説明の後、昼食を挟み、午後1時から120分間のSGD、午後3時5分から40分間の各P会場で各グループの発表、午後4時から50分間の各Pの発表、総合討論と続きました。

#### 4. ワークショップ: SGD (B3グループ:10名)

B3グループでは、昼食をとりながら各自が自己紹介を行い、司会者、記録係、発表者を決定した。

まず、各人が5～6枚のカードを記入し、

全員が記入し終わってから1枚ずつ読み上げながら仕分けして島を作った。「薬局内の環境整備ができる」「指導者間のネットワーク構築ができる」「指導能力の向上をはかる」をまとめた「①指導者としての能力を向上させる」と「地域の貢献できる薬剤師」を含めた「②薬剤師としてスキルアップできる」を2本柱として、社会のニーズに応える為にと、ということで①と②を天秤の上に配置する関連図を作成した。

次に、「薬剤師としてスキルアップできる」と「指導者としての能力を向上させる」についてのアクションプランを作成した。

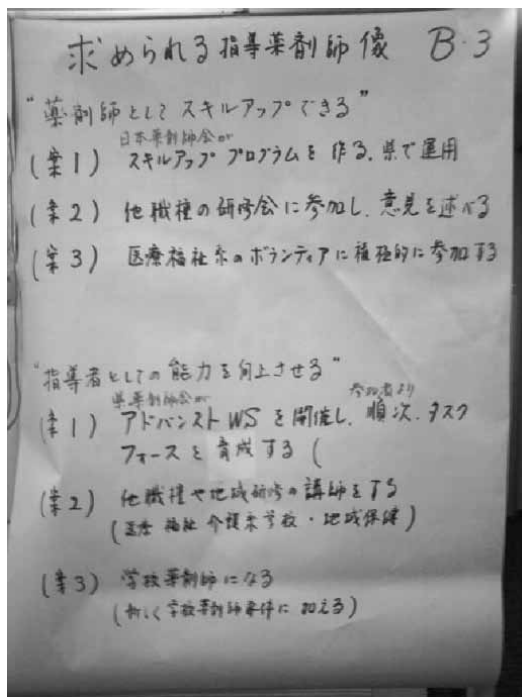
“薬剤師としてスキルアップできる”

(案1) 日本薬剤師会がスキルアッププログラムを作成し、県薬が運用する。

(案2) 他職種の研修会に参加し、意見を述べる。

(案3) 医療福祉系のボランティアに積極的に参加する。

“指導者としての能力を向上させる”



(案1) 県薬剤師会がアドバンスドWSを開催し、参加者より順次タスクフォースを育成する。

(案2) 他職種や地域研修の講師をする。  
(医療・福祉・介護系学校、地域保健)

(案3) 学校薬剤師になる。(新しく要件に加える)

## 5. 各SGD取りまとめ・発表

Bチーム3グループが各グループのプロダクトについて発表しました。そして、Bチームとしての発表は我がB3グループの発表者がBチーム全体を取りまとめて全体発表の場で発表することになりました。

## 6. 発表・総合討論

座長：日本薬剤師会薬学教育に関する特別委員会実習受入体制整備検討委員会委員長  
神田 晴生  
同実習指導体制整備検討委員会委員長  
高橋 寛

以下、発表の要約を記載します。

◎A Bチーム：「求められる指導薬剤師の姿—1年目の実習を踏まえて—」

○Aチーム

\*薬局の指導環境を整える

1. 指導薬剤師の不在時でも、薬局内の全てのスタッフが指導にかかる。
2. 地域・グループで受け入れ体制を整える。
3. 開設者に理解してもらう。

\*医療人として手本になる姿勢が示せる

\*指導薬剤師としての態度

- ・食事時間などで話し合う時間をセットする
- ・学生からフィードバックを受ける
- ・指導薬剤師間で話し合う
- ・大学教員との親密な話し合い（Webの活用）
- ・アドバンスドWSの開催

○Bチーム

\*社会との関わり

案1：一般向け公開講座の開催

案2：「薬と健康の週間」への積極的な参加

\*学生への教え方・接し方

案1：アドバンスド講習会

\*薬剤師としてのあるべき姿

案1：指導薬剤師の自己研鑽の機会を増やす  
(薬剤師としてのレベルアップ)

その他、医療人としての倫理観を持ちながら、指導者としての能力を向上させることや、良い職場環境を整えることも必要である。また、学生はフィードバックを求めているのである。

◎C Dチーム：「参加型実習をよりよくするために—指導薬剤師に求められること—」

○Cチーム

\*学生のニーズを引き出す

1. 実習初期に学生、スタッフのミーティングをして信頼関係をつくる。
2. モチベーションを上げる為に、実習中期で到達度の確認を行う。また、学生からニーズの変化を語ってもらう。
3. 薬局のスタッフに対して、学習のまとめを発表してもらう。
4. 実習開始までに、スタッフを対象にコーチング研修を行う。
5. 日々の業務がどのSBOsに関連するかを理解し、実習スケジュールに盛り込む。

\*薬剤師のプロフェッショナリズムと学生のニーズを結び付ける。

○Dチーム

\*指導薬剤師の指導力をアップする

- ・木下先生の講演を聞く
- ・教育方法の再確認をする為に、アドバンスドワークショップを行う
- ・大学の授業内容を把握する為に、大学

の事前学習に指導薬剤師が学生として  
参加する

＊薬局間の連携を密にする

- ・薬局の成功例を共有する
- ・小さいコミュニティーの強化をはかる
- ・施設間のシステムの構築

＊薬局内の協力体制を整える

- ・薬局内の役割を明確化する
- ・スタッフ全員の協力体制
- ・学生を含めて、定期的な反省会を行う

＊理想の薬剤師像を目指す

- ・プロフェッショナルスタンダードを読む

み直す

- ・患者の満足度調査を行う
- ・研修会などに積極的に参加する
- ・地域保健活動の指導者になる

以上の発表があり、総合討論ではほとんど意見  
が出ない状態で、WSは終了しました。

その後、文部科学省高等教育局医学教育課薬学  
教育専門官 渡辺廉弘氏、厚生労働省医薬食品局  
総務課薬事企画官 山本史氏の挨拶があり、最後  
に日本薬剤師会 生出泉太郎副会長の挨拶で会議  
が終了しました。

## 広島県輸血療法委員会情報交換会

日時：平成23年2月26日（土）

場所：ホテルグランヴィア広島



### 報告 I

広島県健康福祉局薬務課 應和 卓治

平成23年2月26日（土）に、広島県及び広島県  
赤十字血液センターの主催で、この情報交換会を  
開催しました。この会は、学識経験者、関係団体  
及び主要な16医療機関にお集まりいただき、個々  
の医療機関では解決が困難な課題について情報の  
交換及び共有などの取組みを行うことにより解決  
を図り、やがては血液製剤の使用量が多い医療機  
関のみならず県内全てに発信することにより「県  
内全体の輸血療法の質の向上を図る」ことを目的  
にしています。

皆様方も御承知のとおり、血液製剤は、日本国  
民の善意の献血によって得られた血液を原料とす  
る貴重なものであること、また、その原料の血液  
の特性から、安全性の向上と安定供給はもちろ  
んのこと、その適正な使用がより一層求められて  
いるものであることなどの特殊性があります。当日

は、県薬剤師会からは谷川常務理事に御出席いた  
だき、広島県における、①赤血球製剤、血漿製剤  
及び血小板製剤の供給状況、②出席医療機関にお  
ける、専門の輸血管理部門の設置状況、院内輸血  
療法委員会の設置及び開催状況、血液製剤使用量  
及び廃棄量、輸血時の検査体制、輸血前後の感染  
症検査体制等について情報交換を行った後、各医  
療機関からより詳細な説明及び意見交換を行いま  
した。

意見交換では、特に、輸血の正確性、副作用と  
輸血症例の検討、病院における備蓄と院内採血の  
状況、感染症検査の実施状況（経費負担、HIV  
検査、輸血前後の検体保管等）などについて情報  
交換が行われ、今後の取組みとして平成23年度か  
ら県合同輸血療法委員会を設置し、定期的に開催  
して輸血に関わる諸課題について検討を行うこと  
となりました。

最後に、輸血療法に関わる薬剤師の話題に触れ  
ておきたいと思いますが、輸血現場の状況説明に  
おいては、医師、看護師及び臨床検査技師の関与

が主で、薬剤師については一部の病院でアルブミン製剤を薬局で管理する以外の関与は薄かったようです。一方、議論の中で、「薬学での輸血教育というのが非常に少ない」という指摘もありました。これについては私見ですが、薬剤師が臨床現場に出て行く機会が増えている状況にあって、前述した輸血療法への関与も、薬剤師の専門性を生かした役割として十分にニーズがあることの表れとも受け取りました。

今後ともこの委員会の情報も適宜提供して参りたいと考えておりますので、県内輸血療法の向上に、皆様の御協力をよろしくお願いいたします。



## 報告Ⅱ

常務理事 谷川 正之

去る2月26日（土）に開催された広島県輸血療法委員会情報交換会は、医療機関（16病院）・学識経験者・関係団体・その他の出席により、佐々木昌弘広島県健康福祉局長の開会挨拶の後、広島文化学園大学看護学部看護学科の高田昇教授を座

長として始まった。

議題としては、（１）輸血療法委員会の運営について（２）広島県合同輸血療法委員会の設置について（３）その他であり、広島県における輸血用血液製剤の供給状況の推移について・広島県輸血療法委員会情報交換会アンケート調査について、資料を基に報告された。この中で輸血用製剤のうちアルブミン製剤は全ての医療機関で薬剤部が管理しているが、それ以外の製剤については輸血部で一元管理しているとのことであった。また、期限切れや破損などによる輸血用製剤の廃棄については、各医療機関で廃棄までの方法など苦慮されている実情が報告された。

広島県における輸血療法委員会相互の情報交換を図り、輸血医療の標準化をめざすことを目的とした広島県合同輸血療法委員会設置要領が承認され閉会となった。

今回参加した感想として、16医療機関以外では、アルブミン製剤以外の輸血用製剤も薬剤師が扱っているケースもあり、輸血部や臨床検査技師と情報の共有化が図れば広島県全体で輸血療法の質の向上を図ることが出来るように感じた。

## 第76回 日本薬剤師会臨時総会



日本薬剤師会代議員 青野 拓郎

日時：平成23年2月26日（土）・27日（日）

場所：東京 ホテルイースト21

総会は、曾布川常務理事の司会で開催され、前田副会長による開会の辞の後、小野議長、吉田副議長が登壇し、出席代議員の点呼、確認の後、総会の成立を宣言されました。引き続き、尾島議事運営委員長より議事日程の説明がありました。

次に児玉会長の演説があり、代表的な下記課題への取り組みについて述べられました。

1. 規制・制度改革（行政刷新会議・3月末閣議

決定）への対応

「一般用医薬品のインターネット販売規制の緩和」と、それに関連して今回追加された「テレビ電話等の活用による薬剤師、登録販売者の常駐義務撤廃」への対応及び「調剤基本料の一元化」への対応について説明がありました。

2. 調剤報酬・介護報酬同時改定への対応

消費税等税制改正、財政改革の遅れなどによ



り、報酬改定に必要な源資の確保が極めて厳しい中での改定ではあるが、この貴重なチャンスを生かして将来的な薬剤師の位置付けの道筋をつけたいと考えているとのことでした。

### 3. 6年制薬剤師の待遇問題への対応

薬剤師の将来を担う6年制薬剤師が社会に出てくる機会に、それに見合う具体的評価を求める取り組みが不可欠なので日本病院薬剤師会と連携して対応中であると説明されました。

### 4. 社会からの要請への対応

超高齢社会の進行に伴う高齢者特有の薬物療法への関与、薬物乱用、ドーピング、自殺防止等における薬剤師の関与等、薬剤師への期待は確実に高まっている。だが一方では医薬分業の是非論、ポイント付与問題に係る医療保険制度に対する認識、インターネット問題における薬剤師による一般用医薬品の供給問題等、薬剤師の責務に疑問が呈されています。社会から薬剤師に寄せられる両面において、明確に答えていかなければならないと述べられました。

この後、議長より総会の進行上の都合により下記議題のうち議案第8号理事追加選任の件の審議、採決を先行して行いたい旨提案があり、審議の結果、麻生忠男氏の理事追加選任が承認されました。引き続き、報告1件、議案7件が一括上程され担当役員より資料に基づきそれぞれ説明が行われました。

報告第1号 平成22年度会務並びに事業中間報告

議案第1号 平成22年度補正予算の件

議案第2号 平成23年度事業計画の件

議案第3号 平成23年度会費額に関する件

議案第4号 平成23年度収入支出予算の件

議案第5号 平成23年度借入金（会務運営）最高限度額の件

議案第6号 平成23年度借入金（会館建設）最高限度額の件

議案第7号 新公益法人移行に係る定款及び諸

### 規程変更の件

#### 議案第8号 理事追加選任の件

続いて七海副会長より重要事項の経過報告として、①医薬品販売制度、②薬剤師養成教育(実務実習他)、③医療制度改革、④公益法人制度改革、⑤会館建設、⑥将来ビジョン等について説明がありました。

その後ブロック代表質問に移り1日目は、四国、中国、大阪、九州、東北の順番で、2日目は北海道、関東、北陸信越、東京、東海、近畿の順番で行われました。「調剤報酬改定と調剤基本料引き下げ」、「一般用医薬品販売制度の見直しと規制緩和」、「薬学教育6年制と薬学生実務実習受け入れ」、「日薬における薬剤師将来ビジョン」、「日薬の情報戦略とIT化」、「基準薬局制度の見直しと今後」、「病院薬剤師数の増員及び待遇改善」、「日薬における会員確保対策」、「後発医薬品の使用促進」等について質疑応答が行われました。

また2日目の午後からは、一般質問が行われました。「薬局実務実習」、「薬剤師賠償責任保険」、「長期処方にかかる諸問題」、「保険薬局の保険医療機関からの独立性に関する取り扱い」、「公益法人制度改革」等について質疑応答が行われました。

この後採決に移り提出された報告1件及び議案7件は承認、議決されました。最後に生出副会長より閉会の辞があり2日間にわたる全日程を終了しました。

## 平成22年度 介護保険・在宅医療等担当者全国会議



常務理事 有村 健二

日時：平成23年3月5日（土）

場所：日本薬剤師会

平成23年3月5日(土)日本薬剤師会で開催された。山本信夫日薬副会長の挨拶で始まり、①在宅医療推進アクションプランについて、②地域連携の促進について～薬局機能・業務の理解促進～各方面へのアプローチモデル（手順書）、また薬剤師のスキルアップとして、①在宅服薬支援マニュアルのDVD作成について、②体調チェックフローチャート（書籍版）の更新についてそれぞれ説明があった。

在宅療養アクションプランでは、地域（支部等）単位で在宅（居宅）訪問薬剤管理指導業務応需体制の調査実施、調査結果をリスト化し他職種等への情報提供資料の作成、医療・介護・行政等の関係各所へのアプローチを予定している。

薬局薬剤師のスキルアップについては、体調チェックフローチャートの改定在宅支援マニュアルのDVD化をし支部薬剤師会等での研修を行う。（日薬ホームページ参照）地域支部の応需体制の

整備を進めるため薬局向け調査票のひな形を作成し続いて地域における推進方策の検討を行うとした。

現在薬剤師の在宅（居宅）への訪問回数は20年度200万回、21年度250万回と一定の伸びはあるが、その一方薬局から「応需体制を整えているが医師の訪問指示がこない」、他職種からは「在宅訪問を応需できる薬局の情報が無く依頼ができない」と言われています。医療・介護保険制度改革の一環として「地域包括ケアシステム」が進められており、地域における薬局薬剤師の機能を生かして地域における在宅療養連携の仕組みに参加することが求められている。

県薬では、16年度に各職種に対して、薬剤師の訪問指導について調査広報を行い、また22年度の地対協でも調査を行った。それに基づき広報を考える予定である。今後の調査アンケートへのご協力をお願いします。

## 中国・四国地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関評議員会及び運営委員会合同会議



副会長 木平 健治

日時：平成23年3月5日（土）

場所：岡山サン・ピーチOKAYAMA

標記会議が、平成23年3月5日（土）14時30分よりサン・ピーチOKAYAMAにて開催された。

平成22年度の中国・四国地区における薬局実務実習の受入状況について各県から報告された。1年目の実習に関しては特に大きな問題はなく順調に行われていることが、報告された。一部、実習生の実習薬局の変更に関して連絡をされず混乱が生じたことが報告され、大学－機関（機構）－薬

局間の連絡を十分に行うことが確認された。

平成23年度の受け入れの配属状況について、担当大学の委員から報告された。

平成22年度予算執行状況が報告、審議され承認された。

平成23年度の事業計画および予算案が提示され、ワークショップの開催とその補助、各県の負担金等について議論され、提案通り承認された。

## 第29回 病院・薬局実務実習中国・四国地区調整機構会議

副会長 木平 健治

日時：平成23年3月10日（木）

場所：就実大学

標記会議が、平成23年3月10日就実大学にて開催された。

平成22年度実務実習の進捗状況について、特に問題なく順調に実施されていることが、各県薬および県病薬から報告された。

平成22年度実務実習トラブル事例について、幾つかの事例が報告されているが、特に重大な事例は無いことが報告された。問題点として、指導薬剤師の退職・移動による受入薬局としての欠格事例、実習が中断された事例などが紹介された。ま

た、今後の参考とするための広報の仕方等について議論され、特に個人情報の保持に注意することが確認された。

平成23年度の実務実習配属作業の進捗状況が、特に問題なく配属作業が進んでいることが担当の大学院から報告された。

平成23年度の事業計画及び予算案が提示され、承認された。

手嶋委員長から、中央調整機構会議について報告された。

## 平成22年度 第2回ひろしま食育・健康づくり実行委員会会議



常務理事 二川 勝

日時：平成23年3月10日（木）13：30～15：00

場所：国保会館6F会議室

平成23年度の事業計画が決定しましたのでお知らせします。

### ひろしま食育・健康づくり実行委員会事業運営について

平成23年3月

#### 1 趣旨

ひろしま食育・健康づくり実行委員会（以下「実行委員会」）の事業について、構成団体の機能をより活かした事業展開を図る体制にするため、事業運営を次のとおりとする。

○ 各事業毎に構成団体を役割分担し、企画、調整、当日運営について担当する団体で進める。

#### 2 理由

食と健康に係る21団体で構成される「ひろしま食育・健康づくり実行委員会」は平成19年度から現体制で、食育と健康づくりの普及啓発事業を推進してきた。

各団体等の活動の成果もあり、県民に周知されてきているが、実践については、まだ課題が残る状態である。

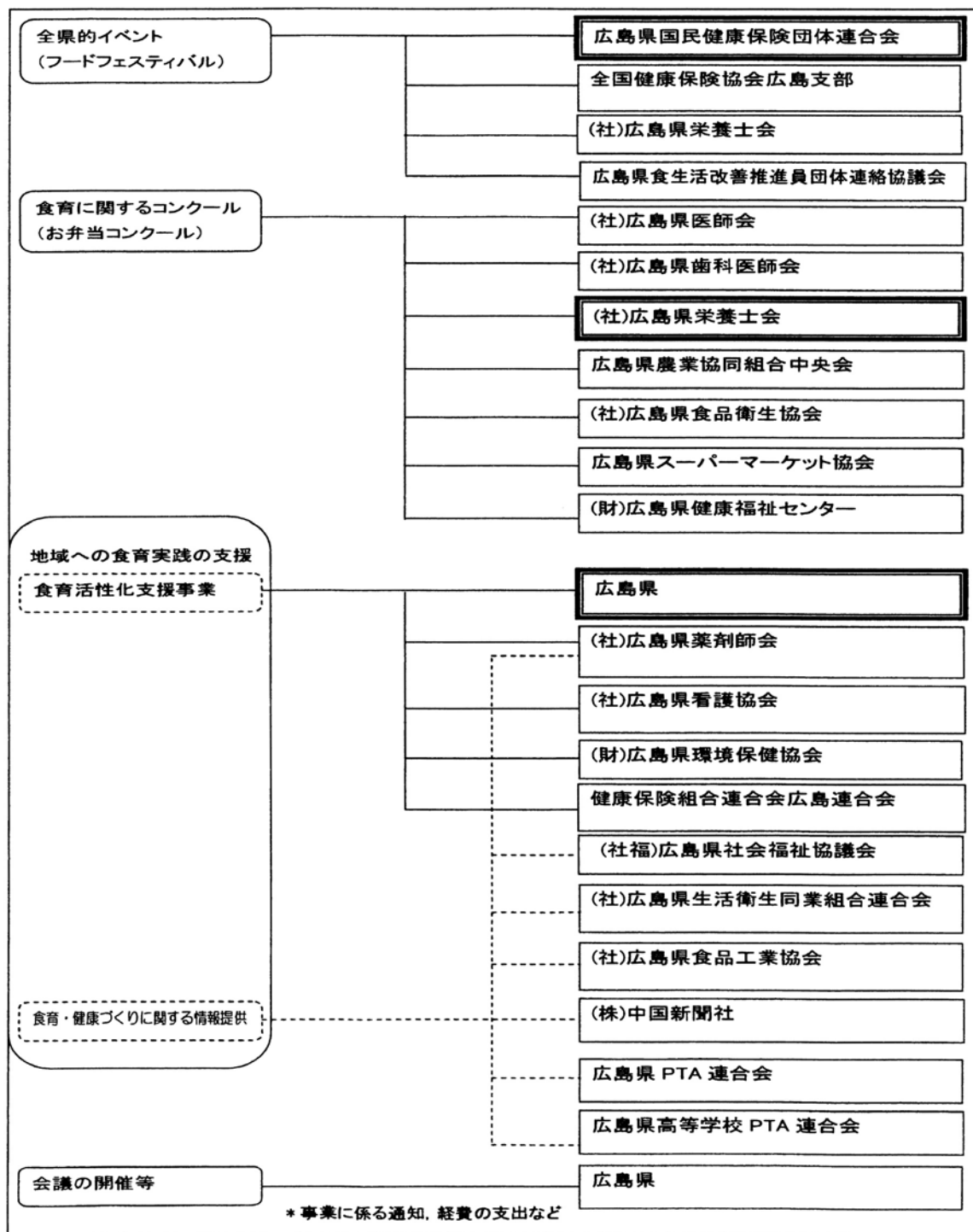
実行委員会も平成23年度から5年目に入り、県民の食育及び健康づくりの実践を支援する、より効果的な事業展開を図るため、構成団体が共に企画・運営を実施する体制づくりを行うことが必要であるとする。

#### 3 体制

各事業の内容は別紙参照



…事業を中心になって進める団体



## 平成23年度ひろしま食育・健康づくり実行委員会事業計画

## 1 ひろしまフードフェスティバルでの普及啓発

「ひろしまフードフェスティバル」に参画し、関連団体の出展により食育・健康に関する普及啓発活動を実施。

## (1) 開催日時

ア 実施日：平成23年10月29日（土）、30日（日）（予定）

イ 場 所：広島城及び中央公園周辺（広島市中区基町）

## (2) 担当団体

〇広島県国民健康保険団体連合会、全国健康保険協会広島支部（社）広島県栄養士会、広島県食生活改善推進員団体連絡協議会

## (3) 予算

項目	金額
ブース出展料（備品込み）	1,000 千円
スタッフ昼食代、ブース材料費	200 千円
合計	1,200 千円

## (4) スケジュール

時期	事項
7月～8月	参加希望団体の出展取りまとめ
8月	打合せ会議
8月中旬	フードフェスティバル実行委員会への出展申込み
9月	打合せ会議

\*打合せ会議は必要に応じて開催

## ○（参照）昨年度の出展状況

実行委員会として参加していることのメリットを生かしたブース出展の方法として、健康チェックセクションと相談セクションを一体化し、全国健康保険協会広島支部、広島県国民健康保険団体連合会における健診結果をもとに、（社）広島県栄養士会（広島県国民健康保険団体連合会も参加）が相談を受けるという体制で実施。

団体名	内容
全国健康保険協会広島支部	・各種健康チェック・パネル展示・パンフレット配布
広島県国民健康保険団体連合会	・各種健康チェック・パネル展示・パンフレット配布
（社）広島県栄養士会	・栄養相談・パネル展示・パンフレット配布・サンプル配付
広島県食生活改善推進員団体連絡協議会	・ヘルシーメニューの紹介及びレシピの配付・地産地消の説明
広島県教育委員会	「食べる・遊ぶ・読む」体験コーナー ・食に関するクイズ・ゲーム・本の紹介・紙芝居など
広島県農政事務所	健康づくり情報コーナー

\*構成団体からのリーフレットの提供



## 2 食育に関するコンクールの開催

### (1) 事業内容

食育の実践の支援として、小学生・中学生を対象に、ひろしま県お弁当3・3コンクールを開催。書類審査と実演審査を行い、優れた作品の表彰を行うとともに、最優秀賞には県知事賞を授与する。

また、作品を掲載したポスター等を作成することで、県民の食育の実践を促す

### (2) 担当団体

〇(社)広島県栄養士会、(社)広島県医師会、(社)広島県歯科医師会、広島県農業協同組合中央会、(社)広島県食品衛生協会、広島県スーパーマーケット協会、(財)広島県健康福祉センター

### (3) 予算

項目	金額
募集及び第1次審査に係る諸経費	100 千円
会場費や調理商品、参加者の旅費等、第2次審査に係る経費	150 千円
副賞、表彰状など、表彰式関係に係る経費	250 千円
ポスター作成	200 千円
合計	700 千円

### (4) スケジュール

時期	事項
5 月	打合せ会議（実施要領、役割分担及びスケジュールの確認） 県内小学校、中学校に通知
6 月中旬から 9 月中旬	募集期間
9 月中旬から 9 月下旬	1 次審査
10 月上旬	結果通知
10 月中旬	打合せ会議（2 次審査の流れ）
10 月中旬から 11 月中旬	参加者との調整
11 月中旬	2 次審査及び表彰式
11 月下旬	結果の周知（各団体のHPや機関紙など）
12 月	ポスター作成

\* 打合せ会議は必要に応じて開催

\* 募集期間は、学校の要望により、夏休みを挟んだ約2ヶ月とする。

## 3 食育活性化支援事業

県内の二次医療圏域毎（8圏域）に、食育推進圏域連絡会議が開催されており、関係者により、地域における食育の推進について協議している。ひろしま食育・健康づくり実行委員会が支援することで、食の関係者によるネットワークの構築をより促進するとともに、地域における食育の推進を図ることを目指す。

### (1) 事業内容

各圏域から提出された申請書を審査し、趣旨に合致する事業に対し、必要に応じ事業協力及び事業費の支出を行う。

○広島県、(社)広島県薬剤師会、(社)広島県看護協会、(財)広島県環境保健協会、健康保険組合連  
合会広島連合会

(3) 予算

項目	金額
1 圏域の事業費 13 万円× 8 圏域	1, 040 千円
合計	1, 040 千円

(4) スケジュール

時期	事項
4 月	各保健所（支所）に通知
4 月から 2 月（随時）	申請書受付
	担当団体による審査（FAX、メール）及び助言
	決定通知
	事業報告
	事業費の支出

4 食育・健康に関する情報提供

食育・健康に関する広報を新聞に掲載し、食育・健康に関する普及啓発を行う。

(1) 事業内容

新聞や各団体のHP及び機関紙などで、「食育月間で」及び「ひろしま食育ウィーク」の記事を掲載し、県民に周知する。

(2) 担当団体

○広島県、(社)広島県社会福祉協議会、(社)広島県生活衛生同業組合連合会、(社)広島県食品工業協会、(株)中国新聞社、広島県PTA 連合会、広島県高等学校PTA 連合会

(3) 予算

項目	金額
新聞記事掲載料（6 月）	150 千円
新聞記事掲載料（9 月）	150 千円
合計	300 千円

5 会議開催

(1) 事業内容

会議名	回数・時期
実行委員会	2 回（6 月，3 月）
ワーキング会議	2 回（6 月，3 月）* 実行委員会の提案事項について協議する。
各事業の打合せ会議	事業に応じ随時

(2) 担当団体

○広島県、各事業に関係する団体

## 第22回 広島プライマリ・ケア研究会

副会長 木平 健治

日時：平成23年3月10日（木）

場所：広島医師会館

標記研究会が、平成23年3月10日（木）19時から、「胃瘻の現状と将来展望」をテーマとして、広島医師会館講堂にて開催された。

基調講演では、ジャパンメディカルアライアンス海老名メディカルサポートセンターの三原千恵先生が、患者の治療の観点からのみでなく社会的面から、胃瘻を現状と問題点について講演された。

次いで、パネルディスカッションに移り、胃瘻に深くかかわっておられる医師の立場から厚生連広島総合病院消化器内科徳毛宏則先生、歯科医師の立場から広島市総合リハビリテーションセンター診療科部長吉田光由先生、薬剤師の立場から厚生連広島総合病院薬剤部中島恵子先生、訪問看護

師の立場から広島県看護協会訪問看護ステーション「こい」緩和ケア認定看護師金藤恵里先生、患者の立場から公益法人認知症のひとと家族の会広島県支部堀操氏により、話題が提供された。

胃瘻は経口摂取が困難な患者が生きていくための栄養を摂るということでは、必要性も有用性も高いが、その一方簡便なため安易に適応すること、施設での患者管理が簡便なため胃瘻が入所の条件となるなど社会的な問題点も持ち合わせていること。咀嚼して栄養を摂ることの重要性、また、その行為は人としての尊厳の一部ではないかなどが議論された。



**新発売**

抗精神病剤 創薬 処方せん医薬品\*

**インヴェガ錠** 3mg 6mg 9mg  
INVEGA® Tablets

パリエドンド錠 錠 錠  
\*注意-医師等の処方せんにより使用すること

**janssen** 製造販売元（資料請求先）  
ヤンセンファーマ株式会社  
〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-5-2  
URL: <http://www.janssen.co.jp>

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」等は、製品添付文書をご参照下さい。

© Janssen Pharmaceutical K.K. 2011 2011年1月作成

# 日本薬剤師会平成22年度医薬分業指導者協議会 ～ 東日本大震災（前編）～



副会長 村上 信行

日時：平成23年3月11日（金）

場所：厚生労働省講堂

平成23年3月11日（金）は中央合同庁舎5号館（厚生労働省）講堂にて下記プログラムの年度恒例の「平成22年度医薬分業指導者協議会」でした。広島県薬剤師会は私と青野常務理事。広島県からは難波氏他3名の薬事行政マン。確認できませんでしたが例年だと政令指定都市の広島と中核市福山からの出席をみます。

## 1・開会あいさつ

13：00～13：05

厚生労働省大臣官房審議官（医薬担当）

平山 佳伸

## 2・日本薬剤師会の活動について

13：05～13：30

（社）日本薬剤師会副会長 七海 朗

## 3・最近の薬事行政について

（1）最近の薬事行政の話題

13：35～13：55

厚生労働省医薬食品局総務課主査

鶴崎 泰史

（2）在宅医療の推進について

14：00～14：15

厚生労働省医政局政策医療課課長補佐

上野 清美

（休憩） ～14：30

## 4・在宅医療推進に向けた地域の取り組みについて

（1）在宅療養支援アクションプラン

14：30～14：50

（社）日本薬剤師会常務理事

安部 好弘

（2）全国薬剤師在宅療養支援連絡会について

14：55～15：15

全国薬剤師在宅療養支援連絡会

大澤 光司氏

（3）地域における取組について

東京都港区での取組 15：20～15：50

港区の在宅緩和ケアの取り組みについて

みなと保健所健康推進課長

北村 淳子氏

地域行政と開局薬剤師との在宅医療

介護推進活動

港区薬剤師会理事 清水 春子氏

高知県香美市の取組 15：55～16：25

「顔の見える連携体制作り」の成果報告

～薬局薬剤師の立場から～

くろしお薬局 川添 哲嗣氏

地域包括ケアの仕組づくりと保健所

が果たした役割

～なぜ薬剤師に声がかかるようになったか～

高知県中央東福祉保健所長

田上 豊資氏

（4）全体質問 16：30～16：45

5・閉会あいさつ 16：45～16：50

（社）日本薬剤師会会長 児玉 孝

のつけの日本薬剤師会副会長の七海先生が「温故知新」として終戦後の「医薬分業」への薬剤師会の取組を、当時の珍しい報道写真30枚ほどをスライドとして示されながら語られ、大幅な時間超過をされました。この協議会は厚生労働省が仕切りますので、後続の鶴崎氏と上野氏は、少しはしょって話されました。鶴崎氏は内容として8つ

にまとめておられました。

- 1・一般用医薬品販売制度の施行
- 2・薬害再発防止のための医薬品行政等の見直しについて
- 3・薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業
- 4・薬学教育6年制と薬剤師国家試験
- 5・23年度薬剤師関連予算
- 6・生涯教育研修事業等その他薬剤師関連事業
- 7・行政処分について
- 8・地域主権改革について

OTC関連では通称「覆面」とか「試買」と言っている調査を「一般用医薬品販売制度定着状況調査」として結果を発表し各自治体の「薬事監視」への活用を求めたと報告された。薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業には3,479薬局から14,364件の報告があったことを発表され、さらに多くの薬局の参加も要望された。新薬剤師国家試験の改善すべき事項として

- 1・試験科目の見直し  
「必須問題」「一般問題（薬学理論問題及び薬学実践問題）」「実務」「複合」
- 2・出題基準の見直し  
薬学教育及び実務実習の「モデル・コアカリキュラム」の項目を基本
- 3・試験出題形式及び回答形式の見直し  
正答肢を選択する問題を基本とし実務に即した技能・態度の確認を積極的に取り入れる。
- 4・試験問題数の見直し  
必須問題90問、一般問題（薬学理論）105問（薬学実践）150問
- 5・合格基準  
全問題への配点の65%  
一般問題については科目得点がそれぞれ配点の35%以上  
必須問題については全問題への配点の70%と各科目の得点が配点の50%以上
- 6・既出問題の取り扱い  
原則、良質の問題は20%程度活用

の6項目について説明いただきました。23年の薬剤師関連予算は「専門薬剤師の研修事業（がん専門薬剤師養成のための研修）」予算の約9千万円カットされた減額予算となっているようです。続いて上野氏が在宅医療関連で発表されました。なかでも「在宅医療における薬剤師業務の課題」として8項目を提言されました。

- 1・薬剤師による在宅訪問業務の医療福祉関係者への周知・理解不足
- 2・在宅訪問業務の応需可能な薬局の情報不足（届出情報と実際の対応可否に乖離）
- 3・在宅訪問業務に対応できる薬局・薬剤師の不足（経験不足、薬局規模、経営上の効率）
- 4・24時間365日体制の構築
- 5・麻薬の供給、無菌調剤が必要な製剤の供給
- 6・医療・衛生材料の供給
- 7・高齢者向け住宅・施設の役割と機能に応じた薬剤管理
- 8・医療保険と介護保険のシームレス連携

23年度の薬剤師関連予算は削減されていますが「在宅医療連携拠点事業」としてじつに108,594千円の計上がなされています。ここで「休憩」となり七海先生の超過時間を鶴崎、上野両氏が短縮されましたが、安部先生は5分遅れの14:35からだったと思います。当日メニューとして「チーム医療・在宅医療に関する動向」「昨年の医薬分業指導者協議会・ダイジェスト」「在宅医療推進アクションプランについて」「日薬・高齢者介護担当からのお願い」の4点を上げられました。「チーム医療推進検討会の報告」「地域包括ケアシステム」「介護保険制度の見直しに関する意見」等について話され「在宅患者訪問薬剤管理指導の実施状況」に入るところが「14時46分18秒」「おっ」と思う揺れが5～10秒だったでしょうか。一瞬の緊張がほぐれたところにまたもや同程度の揺れ。これが暫く続き、気持ち強くなって、「ぼつぼつ机の下?!」と腰を浮かしたところで、司会者が「日比谷公園」への避難勧告。手



荷物を持って通用ドア付近に進んだが再度司会者が「やはり屋内が安全です」とアナウンス。揺れも少し弱まった様子にて、各自着席し協議会「再開」モードで安部先生スタンバイ。しかし揺れは完全には収まらないところに管内放送で「職員は退避」とアナウンスしている。しばらくして司会者が「屋内が安全と思いますが日比谷公園が避難場所となっています。各自の判断において行動してください！」青野先生と岡山、島根に熊本の各先生等と一緒にゾロゾロと公園に向かいました。その間揺れは断続的に続きスーツ姿のOLが白いヘルメットを被り路傍で嘔吐していました。まさに「乗り物酔い」状態だったのだろーと思います。公園周囲には千人を超える群衆となっていて騒然としていました。だれともなく「帰ろう!!」「東京駅はどっちだ!!」となり10数人の薬剤師が動き始めました。あーだ、こーだと言いながら歩いていますと正面に新橋駅。ここで「羽田」を目指す私たち4人と岡山組みが分かれました。新橋駅前にある巨大ビジョンで初めて「津波」の映像を見て驚愕したのが17時頃だったかと。寡黙に「浜松

町」に早足にて進み、帰宅難民としての野宿を覚悟し、ひたすら「モノレール」復帰を待つこととした。22時前に、別の会議で東京に入り、宿泊予定の豊見専務理事と電話が繋がった。聞けば新橋、汐留のホテルでツインのシングルユース。しかも広めで野郎4人は十分のスペースとのこと。浜松町地下から腰を上げて移動するところに地下鉄再開のニュース。

豊見先生チェックイン時はエレベーターストップにて、27階まで徒歩だったとか。

夜露をしのぐどころか暖房の恩典まで授かり、翌朝、再開したモノレールにて羽田に向かい、フライト変更手続きに1時間以上を費やしましたが、キャンセル待ち一発であたり、興奮のうちに土曜の午後13時から薬局に出勤いたしました。その後次々と判明する惨事や放映される津波の映像が脳裏に焼きつき、恐怖は伴いませんが「トラウマ」となり、高いところからのあらゆる景色は二次元三次元を問わず廃墟と見えることがあります。

## JMATに参加して ～ 東日本大震災（後編）～

「あれから16年。東北は遠いな～。」

薬剤師ボランティアの募集が掛ったときの感想でした。もちろん「年齢」も即答出来ない大きな要因になります。傍らにいた息子に「行くか？」と聞いたら「薬局に相談する」と言い、「7日からなら10日間くらいOK」との返事で応募したようだった。その間山口からは九州と一緒に14名ほどの登録と聞き、県薬に問うと「現在3名の登録で内2名は非会員の方です」との寂しい返事。その頃の報道は、ほとんどが震災関連であり、避難所のインタビューでは必ず「医薬品」「薬剤師」の言葉が飛び交っていた。カレンダーとにらめっこすると4月1日から2～3週間ならなんとかなり

そうだったので、思い切った。即座に豊見専務理事から「4月4日からJMATに!」との要請。たしか、広島県医師会から薬剤師会や看護協会に協力要請があり、第1班に広島国際大学薬学部の佐々木先生が出務されると聞いてはいたが、石巻赤十字病院の廊下にも簡易ベッドを並べ、ボランティアチームが治療をしている報道があったので、「開局薬剤師でも大丈夫かな」との不安はあった。ただ、地震直後から「DMAT」(Disaster Medical Assistance Team)として現地に入られ15日に帰還された広島大学病院の畝井先生に、例年の「抗HIV薬研修会」の打合せで16日にお会い出来、話しが聞けた時、「トリアージは緑か黒」

「もはやDMATではなかった」と話されていた。ならば災害時の、一次診療であり、少なくともOTCを初めとした医薬品の多様性には対応できると思いました。さらに、避難所での救護診療が主体であり、流されたり、飲みきった医薬品の特定、確認も重要で、そのニーズは多いとの情報も入ってきていました。4月4日(月)に飛行機を乗り継いで「福島空港」に。そこからレンタカーで一路石巻市を目指します。医師3名看護師1名事務1名と私の所属混成6人の「広島県JMAT第5班」です。縁起は担ぎませんでした。まず、「羽田空港」で着陸態勢からの再上昇。滑走路に「異物」との前着陸機からの情報で管制塔からの指示。はっきりと分かる再上昇は初めての経験でした。乗り継ぎの福島空港行きが「荷物の積み込みミス」で30~40分の遅れ出発。計1時間はロスしたと思います。幸いの快晴で、東北道北上に、まだ雪深いと見える「安達太良山」がここを和ませてくれ、まさに「東北路には空がありました」。一応免許証(運転)は持参していましたが全行程の車両運転は医師会事務局が担ってくれました。当日のミッションは18時からの石巻赤十字病院での「全体ミーティング」「グループミーティング」への出席と「第4班」との引き継ぎで、4班は三原興生病院の単独編成で薬剤師さんは消防服に似たDMATユニホームが良く似合う若い方。他のメンバーがミーティング中に私は地下の薬剤部伴われての伝達事項を伺いました。ただ「処方せん」とか「物品請求」とか「チェック」と言われても現物が何もないところでしたので、内心はチンプンカンプン。ただ、5日の朝は「JA渡波(わたのは)」避難所巡回診で薬剤は広島県医師会持参分を使用します。午後渡波小学校内救護所にての調剤。千葉県薬剤師会の女性ボランティアさんも配属されていると言うことで安心しました。夕・朝と宮城県薬剤師会副会長の丹野先生がメール仲間でしたのでお訪ねしましたがお会いできなかったところ、わざわざJA渡波ま

で追っかけてきていただいて、現状や流れのお話しが聞けました。大忙しの丹野先生に余計な時間をとらせてしまいました。興味あるところでは「メロンぱん」活動。この辺りではさしずめ「ロバぱん」のことで、復興した保険薬局が日赤病院に集中している調剤を分散受託し、避難所に配達もあるシステムのように、今後話題になっていくでしょう。お昼に渡波小学校の駐車場車内で昼食としました。SOYJOY2本と「インスタント味噌ラーメン」。13時から診察が始まりひとつの認識不足に気付きました。避難所救護所なので対象者は避難所内と思いこんでいましたが、小学校周辺で診療再開されてる医療機関はなく、また「2階なら」とかでなんとか自宅生活されていらっしゃる方々が多いのです。高知大、県医師会の医師6名が目前で4レーン診察を始められました。どこに、なにがあるかを確認する間もなく、各々の医師が「あれある?!」「抗アレルギー薬はなにがあるの?!」「せき止めは?!」「●●○ってなんのくすり?!」「はいお願い!」「この薬は明日から飲んだ方がいいと思う」……

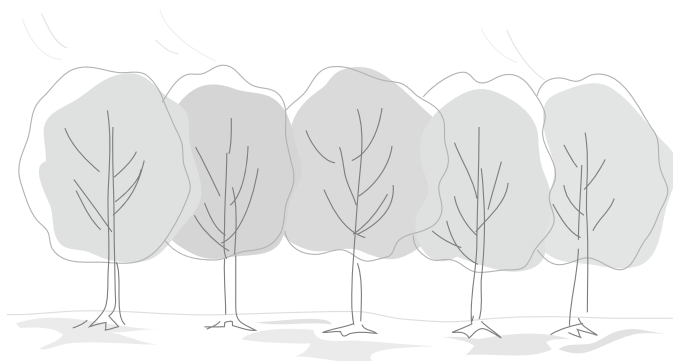
無造作に配置された段ボール箱におぼろげな薬効配備のビニール袋に入ったくすり。アムロジピン関連袋には「アムロジンOD」の2.5と5、「ノルバスクOD」の2.5と5、さらに「ノルバスク」5の5種類が入っていた。情けないですが、人がやっと交わせる狭いスペースの所での立っての調剤は「腰にきて」しまった。千葉県薬剤師会の方はシフトと交通の関係で15時前に帰られた。残りのカルテ&処方せんを処理して、夕刻のミーティングに向かった。翌日は朝から渡波小学校と決まり、新たな合流チームは愛媛大のERチームのように、薬剤師が1名帯同していた。自己紹介の後、地下薬剤部に降りて業務紹介をし、明日には、せめて「薬剤リスト」を作成したいと訴え協力をお願いした。翌日は、救護所の広報があったらしく、さらに受診者が増えていたし、小規模チームが在宅や未訪問避難所を訪れ処方せん

を持って帰ってくる。その合間をぬって「読み上げ」「メモ書き」をしていった。100品目程度とと思っていたが実に170品目。幸い愛媛大の看護師さんに手が空いた方がいらっしゃったので「エクセル」への頭書きを並行してお願いできた。品目名・内外用・薬効・適用器官と備考の5列表が完成した時には少し空が明るくなっていました。後続の荒川先生の出立時間に何とか間に合い、日赤薬剤部にプリントをお願いして、診療医師に配布出来ました。医師の疑義の参考にはあまり役立たなかったようで、患者さんを目の前にしてリストをめくるのに気が引けたのかかもしれません。4月6日（水）現在で「石巻圏」14+1エリアに各県医師会、各大学、各赤十字病院、自衛隊などの「合同救護チーム」が45と本部支援、院内支援に7チーム。全般には閉鎖避難所も出てきたり、復興診療所もあったりで、供給は充足しつつありますが、なんとしても「全て」を失った方々には「充足」に程遠いものです。

「家は残っているので、ぼつぼつ、かたづけようと思うが、我が家にあるのは全てよ様のもの・・・」

ミッションを終え、ミニ慰労会の後、「うとっ」とした瞬間に「M7. 4」。幸いにも、

3.11の東京と同程度の揺れで時間も短く、ホテルの5階にて闇夜に響く防災無線の「津波警報」もさほどの恐怖にはならなかった。安否確認のメール、携帯の対応がひと段落したのが午前2時くらいでしたでしょうか。停電対応の非常灯が期待を裏切って30分くらいで暗くなっていくのは軽い驚きで、ドアロックシステムは「乾電池式」にて停電でも十分に機能していました。福島空港14:55発の飛行機には十分な時間があり、現地視察予定もありましたが、団長の「ミッション終了後の速やかな帰還令」により7:30に石巻を後にしました。年度初めで少し時間が取れたことと、銃後の守りをしてくれたスタッフ。ましてボランティアとして全薬剤師が手を上げてくれたことを含め、この事象を体験でき、少しでも役立てた満足感を持てることに感謝しています。後続の荒川先生を愛媛大ERに紹介した時に、わざわざ脱帽して「今回は薬剤師さんの力を見せつけられました。どうぞよろしく」とおっしゃって頂いたことを胸に一般道から東北道へと車窓の景色を追いました。往路と違った角度の「安達太良山」が「東京には空がないぞよ」と言っているようには・・・・・・・・・・感じませんでした。



## 平成22年度 日本薬剤師会行政薬剤師部会講演会



行政支部 岡田 史恵

日時：平成23年3月11日（金）

場所：大阪府薬剤師会館

平成23年3月11日に大阪府薬剤師会館で行われた、平成22年度行政薬剤師部会講演会に参加しました。

ご承知のとおり、この日は東日本大震災が発生した日です。この地震で亡くなられた方々、ご家族、ご親族を亡くされた方々に哀悼の意を捧げるとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。そして、一日も早い被災地の復興をお祈りいたします。

当日は、大阪でも揺れを感じ、その揺れが長かったことから、地震発生時には会場がざわめいていました。講演会終了後、会館の入口にあった大型テレビに「東北で震度7」と表示されているのを見たときは、これは大変なことになったと驚きましたが、まさかここまでの甚大な被害になるうとは想像もしていませんでした。

一方、講演は予定通り行われました。まず、土屋文人日本薬剤師会副会長から、「チーム医療の中での薬剤師の役割について」と題して、チーム医療のあるべき姿と、その中で求められる薬剤師の役割について、わかりやすく説明がありました。特に先生が強調されたのは、薬剤師はチーム医療の中で専門性を発揮し、他職種といかに独立しかつ連携していくかが重要であるということです。病院内でのチーム医療とともに、病院外でのチーム医療を充実させていくこと、病院薬剤師と薬局薬剤師が連携していくことが患者の治療の向上につながるというお話でした。

また、山本信夫日本薬剤師会副会長からは、「薬剤師をめぐる諸課題の現状と今後」と題して、生涯学習の実施やチーム医療への参画、専門薬剤師の認定など、医療を取り巻く環境の変化の中で、

薬の倫理に基づく薬剤師業務の実践の必要性についての講演がありました。

最後に、厚生労働省医政局経済課の中島宣雅課長補佐から、「後発医薬品の使用促進について」と題して、後発医薬品使用促進の背景と現状、今後の国の取組について説明がありました。

今回の東日本大震災による被害は極めて激甚で、国を挙げての支援が長期間にわたって必要になると考えられます。広島県でも薬剤師会を始め様々な医療関係団体の協力を得て、医療チームを被災地へ派遣し、医療支援を行っています。このたびの講演であった「チーム医療」と同様に、被災地で薬剤師の先生方が専門職能を発揮してチームの一員として活躍されていることは非常に心強いこととあります。今後も先生方の息の長い御協力をお願いするとともに、私自身も行政薬剤師としてできることは何かを考え、実践していきたいと思っています。

# 第10回 NPO法人介護支援専門員協会定期総会報告

常務理事（NPO法人介護支援専門員協会監事） 有村 健二

日時：平成23年3月13日（日）15：30～

場所：広島県健康福祉センター

平成23年3月13日（日）15：30～、広島県健康福祉センター8階大研修室で開催された総会を報告する。

司会を事務局長（稲垣太平氏）で理事長（荒木和美氏）の挨拶で開催された。

先ず、報告事項として、1）平成22年度事業（見込み）報告及び収支決算（見込み）報告があり。続いて議案、1）平成23年度事業計画案、2）平成23年度収支予算案、また役員改選につき説明と議事が進められ、承認された。なお、理事として、何名かの入れ替えが生じ薬剤師岸川映子氏が推薦され承認された。なおその前に、「第10回ケアマネジメント広島大会」が9：30から15：00までであった。基調講演として「今後の地域包括ケア」と題して厚労省老健局老人保健課課長補佐の日野原友佳子氏が講演予定であったが、折から

の3月11日東北地方太平洋沖地震により、来広できず急遽落久保裕之医師（当協会副理事長）が代行された。

その他「今、求められる地域包括ケア～みんなで育てる豊かな地域～」医師、社協、大学教授等によるシンポジウムがあり。また「地域包括ケアの在り方」「ケアマネジメントの原点に戻る」として分科会が開かれた。次回診療報酬改定と介護報酬改定が同時にあることや介護保険の継続には制度の見直しが必要であること、その方向性として地域包括ケアシステムが進められる。

なお、日本介護支援専門員協会の会長は日本薬剤師会の常務理事木村隆次氏である。

また、厚労省日野原友佳子氏は医師日野原重明先生の縁の方である。

※キーワード「地域包括ケアシステム」

## 平成23年度広島県介護支援専門員実務研修受講試験概要

試験日時	平成23年10月23日（日）10：00～12：00（120分） ・所定の法定資格を有する人は、解答が一部免除され、試験時間が短縮されます。 ・身体障害者等に対する特別措置に該当する人については、試験時間が延長される場合があります。
試験会場	広島大学（東広島市鏡山一丁目）
実施機関	（社福）広島県社会福祉協議会（広島県知事指定）
「受験の手引」の配布	「受験の手引」は、平成23年6月17日（金）から、各市区町（介護保険窓口）、広島県健康福祉局介護保険課、（社福）広島県社会福祉協議会で配布します。 ◆郵送を希望する場合（6月1日（水）から6月30日（木）まで） （1）返信用封筒（角型2号）の準備 ・「郵便番号」・「住所」・「名前」・「連絡先の電話番号」をはっきりと記入 ・540円分（簡易書留300円を含む）の切手貼付 （2）（1）の送付先：（社福）広島県社会福祉協議会 介護支援専門員実務研修受講試験窓口 （3）2部以上請求する場合は、事前に必ず電話で問合せください。 （4）7月6日（水）までに「受験の手引」が届かない場合は、必ず連絡してください。
受付期間	平成23年6月17日（金）～7月12日（火） 郵送の場合：期間中消印有効 持参の場合：9：00～12：00、13：00～17：00 ただし、土曜日、日曜日、祝日を除きます。
お問合せ及び申込書の提出先	（社福）広島県社会福祉協議会 介護支援専門員実務研修受講試験窓口 〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2 TEL（082）505-2070
合格発表	平成23年12月9日（金）に受験申込者全員に通知を郵送します。
受験資格の概要	保健・医療・福祉分野で通算5年以上かつ従事日数900日以上の実務経験を有する人。ただし、介護などの業務の従事者で一部の人は通算10年以上かつ従事日数1,800日以上必要です。※詳細は、「受験の手引」を参照してください。

# 広島県地域保健対策協議会 研修会報告

## 「在宅医療と薬剤師 ～他職種が本音で語る薬剤師への要望～」

日時：平成23年3月14日（月）

場所：広島県薬剤師会館



広島支部 坂本 徹

広島県地域保健対策協議会主催の研修会に発言者として出席しましたので報告します。

研修会の1週間前に市薬会長より依頼があり、在宅訪問を行っている薬剤師として思っていることを発言して良いということでしたので発言者として出席しました。研修会は薬剤師の発言の機会は少なく、昨年11月に行われた在宅患者の薬物療法における現状と課題を把握するためのアンケート結果について、医師・歯科医師・訪問看護師・ケアマネージャーから薬剤師に要望するという内容でした。

アンケート結果は、薬剤師による訪問薬剤管理指導実施状況（18.3%）から始まり「ノンコンプライアンス」「副作用」「訪問薬剤管理指導は知られているか?」「なぜ在宅に行けないのか?」「薬剤師への期待」という5つのテーマに分けて報告がありました。

「ノンコンプライアンス」：薬を指示通り飲んでいるかとの設問に患者さんの76.5%が指示通り飲んでいる。しかし看護師・ケアマネの85%以上が薬の使用管理について問題だと思うと回答されていました。

「副作用」：副作用の発現の経緯（医師）について、薬剤師を介してという回答が一番少ない結果でした。

「訪問薬剤管理指導の認知度」：薬剤師の70%以上が訪問薬剤管理指導の出来る薬局であることを広報していない為、患者の認知度（17.6%）で

したが看護師・ケアマネは80%以上が認知されていました。

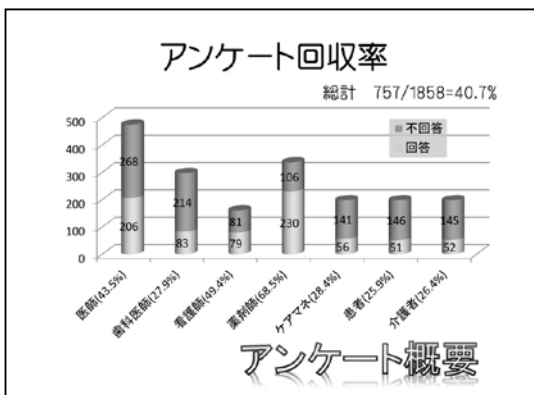
「なぜ在宅に行けない?」：是非参画したい（39%）、参画したいが人員の余裕がない、届け出を出していない等の理由で参画できない（47%）

「薬剤師への期待」：看護師（91.1%）、ケアマネ（82.1%）がもっと在宅患者の薬剤管理に関わってほしいと回答されていました。

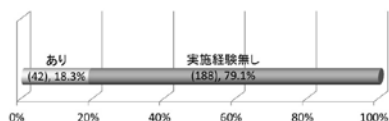
このアンケート結果を通して、在宅患者のいちゃん身近な存在である訪問看護師・ケアマネの方々が薬剤師にもっと在宅に関わってもらいたいと要望されていることを心強く思いました。

在宅訪問薬剤管理指導料の自己負担金と宅配料金を天秤にかけられ、薬の配達人としてしか思ってもらえなかったところからこの業務を始めた一薬剤師として

「患者さんはもちろん看護師・ケアマネの方々に薬剤師が出来ることをアピールし、思い切って「はじめの一步」を踏み出すことで真の在宅チームの一員になれるよう願っています。」

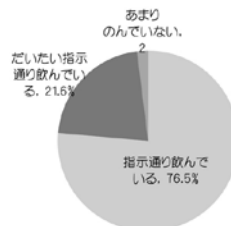


## 訪問薬剤管理指導実施状況(薬剤師)



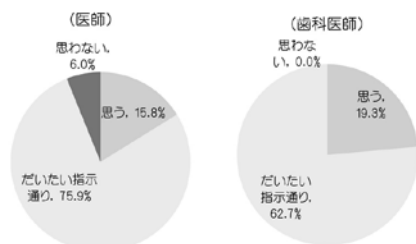
## アンケート概要

## 薬は指示通り飲んでいますか(患者)



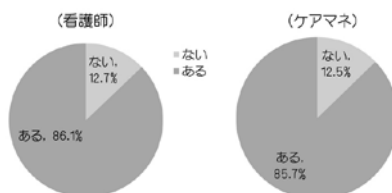
## ノンコンプライアンス

## 患者は指示通り薬を飲んでいると思いますか



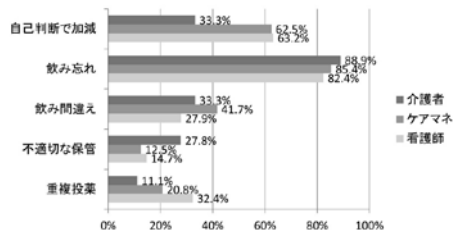
## ノンコンプライアンス

## 患者の薬の使用・管理の状況について問題だと思いませんか？



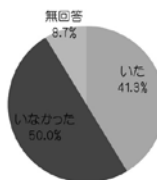
## ノンコンプライアンス

## 患者の薬の使用状況について問題だと思ふこと



## ノンコンプライアンス

## 今までに在宅への訪問が必要だと感じた患者がいましたか？(薬剤師)



## どのような問題があるか？



## ノンコンプライアンス



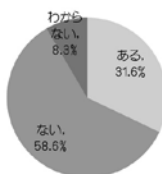
平成23年2月16日  
中国協同会資料

潜在的な飲み忘れなどの  
年間薬剤費の粗推計  
= 500億円

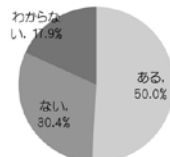
薬剤師が在宅に行くことで400億円の改善効果

## ノンコンプライアンス

## 在宅患者の薬物療法で副作用が起きたことがありますか(医師)



## 利用者の薬物療法で副作用と思われる症状を発見したことがありますか(ケアマネ)

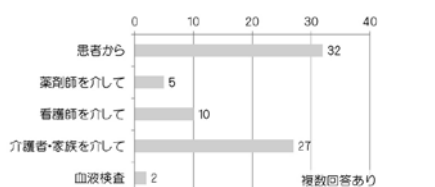


## 副作用



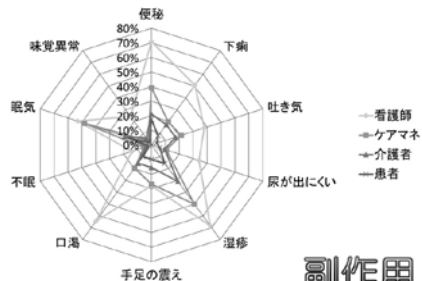
## 副作用発見の経緯(医師)

在宅患者の薬物療法上、副作用の経験ありとした医師 42名中の回答数



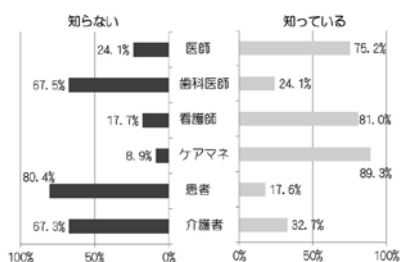
副作用

## どのような症状で薬の副作用を疑うか



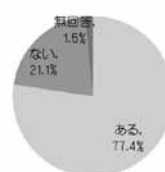
副作用

## 薬剤師の訪問薬剤管理指導を

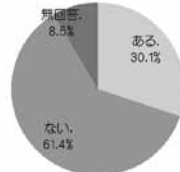


訪問薬剤管理指導は知られているか?

## 他職種と連携はありますか? (医師)

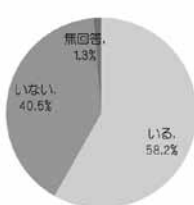


## 他職種と連携はありますか? (歯科医師)

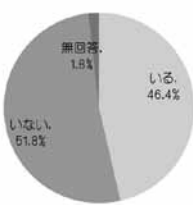


訪問薬剤管理指導は知られているか?

## 相談できる薬剤師がいますか? (看護師)

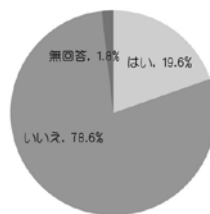


## 相談できる薬剤師がいますか? (ケアマネ)



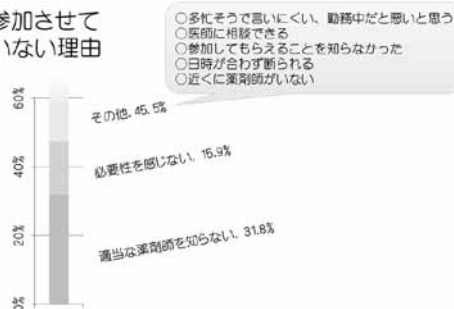
訪問薬剤管理指導は知られているか?

## 薬剤管理に問題がある利用者のサービス担当者会議に薬剤師を参加させていますか? (ケアマネ)



訪問薬剤管理指導は知られているか?

## 参加させていない理由

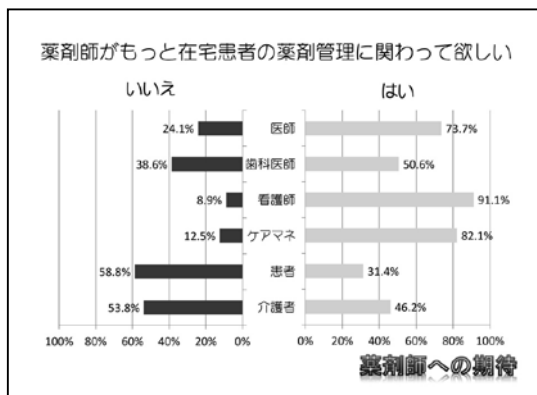
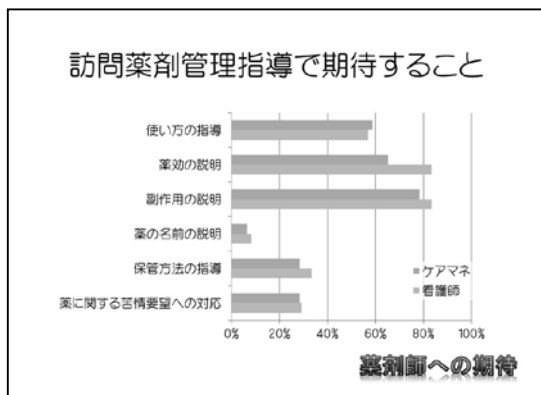
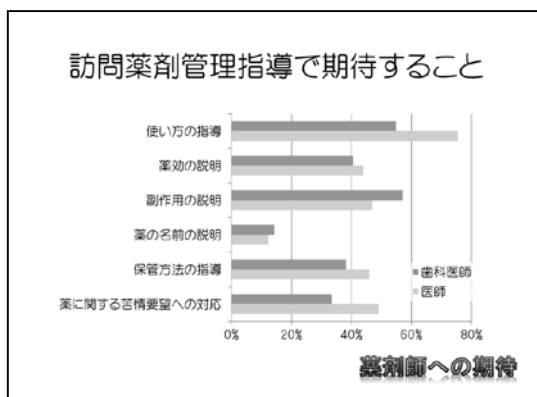
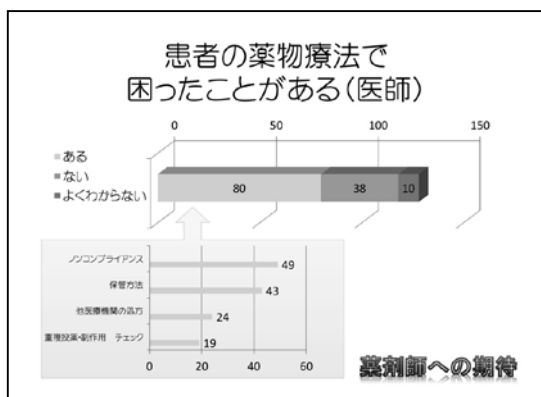
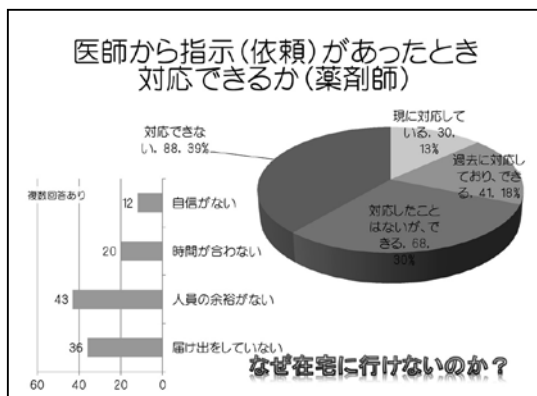
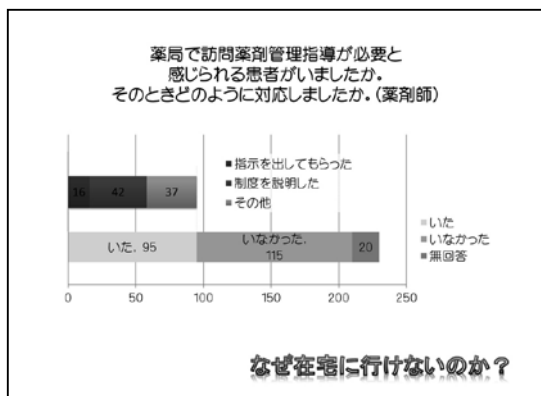
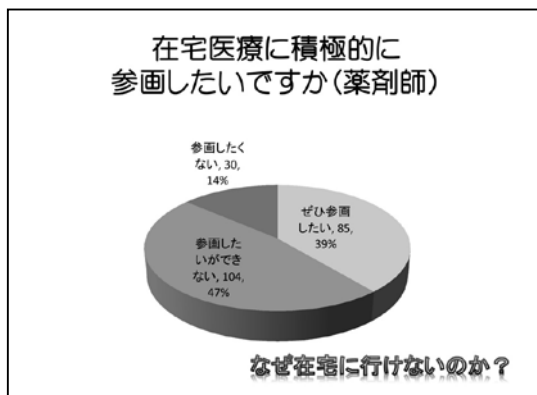
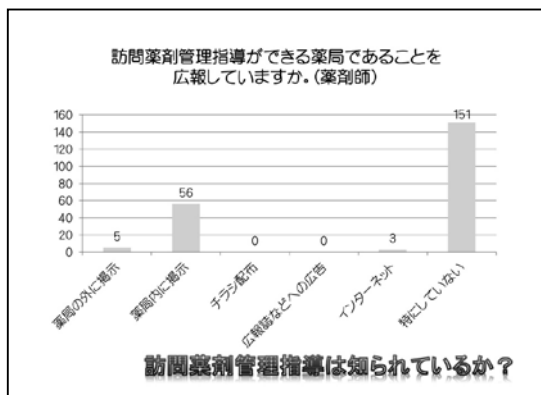


訪問薬剤管理指導は知られているか?

## 薬剤師がケアカンファレンスに参加しない理由 (参加したことがない薬剤師111名)



訪問薬剤管理指導は知られているか?



## 第3回 広島県乳幼児事故防止等検討専門委員会報告



薬事情報センター 原田 修江

日時：平成23年3月17日（木）19：00～21：00

場所：広島県庁本館1階 102会議室

本委員会は、広島県における平成22年度の補正予算により、「平成22年度安全な子育てスタート応援事業」が実施されることになったことを受けて設置されました。

広島県では、平成18年以降、不慮の事故による乳幼児の死亡数が増加傾向にあり、特に0歳児では、死因に占める不慮の事故の割合が全国平均に比べて高い状況です。その多くは保護者等の注意により防ぐことができたものであることから、第1回および第2回委員会において、効果的な事故防止の対策と、周知・啓発の方法について検討を行いました。また、ひろしまこども夢財団を通じて、保護者への乳幼児の事故に関するアンケート調査を行いました。これらの結果をもとに、ハンドブック・マグネットシート等の作成、保護者や関係者への周知・啓発のための研修・講演会、イベントが開催されました。

本委員会の最終回となる今回の会議では、各事業の実施状況について報告を受けたのち、報告書（案）および今後の課題について協議を行いました。

### 企画の実施状況

#### 1 パンフレット等の作成

- (1) 0歳児向けリーフレット：8,000部
- (2) 0～3歳児向けパンフレット：100,000部
- (3) 4～6歳児向けパンフレット：85,000部
- (4) マグネットシート：100,000部
- (5) ステッカー：乗合バス県内全車（約3,000台）広島県バス協会と連携、車内に掲出

#### 2 講習会・研修会

- (1) 乳幼児事故防止にかかる心肺蘇生法講習

会（平成23年1月23日 広島大学病院）  
「2010年度版ガイドライン案による新しい心肺蘇生法について」

- 広島大学大学院医歯薬学総合研究科（救急医学）教授 谷川 功一 先生
- (2) 乳幼児事故予防担当者研修会（平成23年1月26日～2月23日）  
東広島市・広島市・呉市・廿日市市・三原市・竹原市・庄原市・三次市・尾道市・福山市（全10会場）

#### 3 講演会

- (1) 子育て応援特別講演会（平成23年3月12日 広島県健康福祉センター）  
「子どもの事故は予防できる」

#### 4 その他

- (1) 大型商業施設でのイベント（平成23年2月27日～3月6日）  
広島市（ゆめタウン広島）・福山市（フジグラン神辺）・東広島市（フジグラン東広島）

※パンフレット等の資料は各100部ずつ県薬事務局にご提供いただいています。

今後は、保護者や子どもへの事故防止活動を継続・浸透させるため、作成した資料の効果的な活用や、事故防止に関する情報発信の更なる工夫が課題としてあげられました。

## 平成23年度 6年制薬局実務実習受け入れ説明会

常務理事 谷川 正之

日時：平成23年4月14日（木）19：00～

場所：広島県薬剤師会館

今回の受け入れ説明会は、平成22年度の認定実務実習指導薬剤師養成フォローアップ研修会として企画していたが、開催時期がずれ込んだため平成23年度の受け入れ説明と合わせた内容で行った。

まず、村上信行副会長の開会挨拶に続いて、中国四国地区調整機構第三者委員会の片山博和先生（福山大学）より、「中国四国地区における2010年度実務実習におけるトラブル事例」についての報告があった。平成23年4月14日現在で、病院34件、薬局45件、病院・薬局共通1件の80件のトラブル事例が挙げられているとのことで、これらについて、12の要因に分類された内容について細かく紹介された。また、追加のトラブル事例があれば早めに、薬剤師会などの窓口を通して、報告して欲しいとのことであった。

次に、平成23年度の薬局実習については、最初に松尾裕彰先生（広島大学）より、参加型実習に向けて、受け入れについての基本的な実習スケジュール作成のお願いや広島県共通の実習日誌の

変更点などの説明があった。

続いて、三宅勝志先生（広島国際大学）より、平成22年度の実習終了時における学生の意識調査に関するアンケート調査の結果報告や平成23年度実習施設との連携体制についてなどの説明があった。

新井茂昭先生（安田女子大学）からは、今年から実習が始まることもあり、安田女子大学薬学部実務実習概要に基づいて説明があった。

この後の質疑では、実習日誌を書くタイミングについて、施設外での講演会などへ参加させた場合の扱い、第3期に起こる就職活動への対応などの質問があり、調整機構として考え方や各大学の方針について説明された。

最後に木平健治副会長の閉会挨拶の中で、東日本大震災で実習不可能となった学生の受け入れ再調整が始まり、場合によっては、広島県出身者についてこれから要請されるケースもあるとのことであった。



## 広島県薬剤師研修協議会のページ

広島県薬剤師研修協議会が事業として実施した、厚生労働省補助事業新カリキュラム対応ビデオ研修会と医薬品関連施設（株）エバルス広島物流センター）の見学についての報告です。

### 新カリキュラム対応ビデオ研修会

日時：平成23年2月27日（日） 13：00～16：10

場所：広島県薬剤師会館

### 医薬品関連施設の見学会

日時：平成23年3月17日（木） 17：00～19：00

場所：株式会社エバルス 広島物流センター

### 厚生労働省補助事業

#### 新カリキュラム対応ビデオ研修会

常務理事 谷川 正之

この研修は、新カリキュラム対応研修（大規模生涯研修）として、薬学教育6年制の新カリキュラムで強化された医療薬学や長期実務実習の教育内容を、既に4年制課程を卒業した薬剤師に体験してもらい、個々の知識、技能、態度のスキルアップを図ることを目的として、厚生労働省の補助に基づいて日本薬剤師研修センターが平成19年度から①自己研修（教材のCD-ROMにて自己のパソコンで勉強する）②講義研修（病態生理シリーズと同様、講師による講義を受講する）③実務研修（平成18年度まで実施した実務研修と同様、受入施設（病院や薬局）で実務研修（期間は10日間程度に短縮）を受ける）として始めた事業のうち、②講義研修に当たります。

広島県薬剤師研修協議会では事業として取り組む準備はしていましたが、今まで実施できていなかった為、テストケースとして9領域（各領域のビデオ撮影は、平成19年10月から平成20年3月頃にされている）のうち、腎・泌尿器領域（腎疾患）のビデオを選んで実施しました。

まず、「腎疾患の病態と治療」について、国家公務員共済組合連合会虎の門病院腎センター部長の高市憲明先生の約100分の講義では、腎臓の機能とその異常や疾患と治療について詳しく説明さ

れた内容でした。

続いて、「腎疾患患者への薬学的ケアの実際」については、京都大学医学部附属病院薬剤部麻薬掛長の若杉博子先生の約90分の講義であり、腎不全患者の薬学的管理を行うために必要とされる情報や薬物治療と服薬指導についてでした。

ビデオ聴講後は、「出席証明書」を受け取り帰宅後、各自が日本薬剤師研修センターのホームページ上から、記載されている終了パスワードを入力し研修受講シールをプリントアウトして終了となりました。

#### 医薬品関連施設の見学会



広島国際大学薬学部  
実習生 細川 彩加



福山大学薬学部  
実習生 章 勇気

広島県薬剤師研修協議会主催による、エバルスの広島物流センターに指導薬剤師の先生方と見学に参加させていただきました。

最初に、企業説明と施設説明を簡単に受けた後、施設内を見学しました。

施設内の見学では、ピッキングと検品作業を見

学しました。出荷頻度の多い製品をピッキングする際、ランプの付いた棚に必要個数が表示され、そこから必要個数を取り、ランプを消してペーパーレスで製品をピッキングしていました。

棚に置いてある製品は、製品名ごとに配置されているのではなく、製造年月日とロット番号ごとに配置されており全てコンピュータが管理（ロケーション管理）、補充していました。補充の際は、モノレールにより自動で行われていました。また、出荷頻度の少ない製品は、ハンディ・バーコードリーダーを使用してピッキングしていました。

ピッキングされた製品は検品ステーションに運ばれ、バーコード検品されます。ここでも、製品名ではなく、製造年月日とロット番号を確認していました。

毒・劇薬はピッキングと検品を一人の人が行っていました。このエリアでは、作業の様子を複数の監視カメラが常に監視をしていました。また、麻薬に関しては、岡山御津物流センターでのみ扱っており、そこから各支店に出荷しているそうです。

輸液などの製品は、フォークリフトを使用してケース単位でピッキングされていました。ここでも、バーコードにより製造年月日とロット番号が管理されていました。

冷蔵保存の必要な製品は、大きな保冷庫の中で厳重な温度管理のもと保管されていました。また、広島物流センターには、1階から3階までを貫通する高速ケース自動倉庫というクレーン8台、棚数27,334の倉庫があり、効率物流の要として機能していました。

こうして、ピッキングされ検品を受けた製品は、支店ごとに集められ出荷されていきます。

また、災害などで広島と岡山の物流センターどちらか一方が機能しなくなった時、どちらか一方が機能をしていれば中国地方に対する医薬品の供給は問題ないそうです。

今回、自分達が普段扱っている医薬品がどのようにして薬局に届いているのかを、勉強することができ、とても貴重な体験をさせていただくことができました。またこのような機会があれば、積極的に参加していきたいと思いました。

（財）日本薬剤師研修センター

## 認定期間に関わる災害特別措置について （お知らせ）

この度の東北地方太平洋沖地震の影響により、3月11日以降開催予定の研修会主催者より研修会を中止・延期するとの連絡が少しずつ寄せられています。このことに伴い、更新のための受講単位取得が困難な方がおられると拝察されます。

当センターでは、災害特別措置として9月末日までに認定期限を迎える方全員を対象に、更新申請を今年末まで猶予致しますので、必要単位を取得次第ご申請ください。

なお、その他の災害特別措置関連情報については必要に応じて今後ホームページでお知らせ致します。（ホームページアドレス <http://www.jpec.or.jp>）

**成人の鎮痛領域に1回300～1000mg、  
1日4000mgまで投与可能となりました。**  
(投与間隔：4～6時間以上)

※【効能・効果】(1)、「用法・用量」効能・効果(1)の場合。  
※【効能・効果】(2)・(3)、「用法・用量」効能・効果(2)・(3)の場合の変更はございません。

**カロナール®**

アサトアミノフェン製剤

### 効能追加



## 「変形性関節症」にも!

(1) 本剤により重篤な肝障害が発現するおそれがあることに注意し、1日総量1500mgを超す高用量で長期投与する場合には、定期的に肝機能等を確実とするなど慎重に投与すること。(「2.重要な基本的注意」(8)の項参照)

(2) 本剤とアセトアミノフェンを含む他の薬剤(一般用医薬品を含む)との併用により、アセトアミノフェンの過量投与による重篤な肝障害が発現するおそれがあることから、これらの薬剤との併用を避けること。(「8.過量投与」の項参照)

- (1) 消化性潰瘍のある患者〔症状が悪化するおそれがある。〕
- (2) 重篤な血液の異常のある患者〔重篤な転帰をとるおそれがある。〕
- (3) 重篤な肝障害のある患者〔重篤な転帰をとるおそれがある。〕
- (4) 重篤な腎障害のある患者〔重篤な転帰をとるおそれがある。〕
- (5) 重篤な心機能不全のある患者〔循環系のバランスが損なわれ、心不全が増悪するおそれがある。〕
- (6) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- (7) アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者〔アスピリン喘息の発症にプロstaglandin合成阻害作用が関与していると考えられる。〕

(1) 下記の疾患並びに症状の鎮痛  
頭痛、耳痛、症候性神経痛、腰痛症、筋肉痛、打撲痛、捻挫痛、月経痛、分娩後痛、がんによる疼痛、歯痛、歯科治療後の疼痛、変形性関節症

(2) 下記疾患の解熱・鎮痛  
急性上気道炎(急性気管支炎を伴う急性上気道炎を含む)

(3) 小児科領域における解熱・鎮痛

**効能・効果(1)の場合**  
通常、成人にはアセトアミノフェンとして、1回300-1000mgを経口投与し、投与間隔は4-6時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日総量として4000mgを超過しない。

通常、成人にはアセトアミノフェンとして、1回300-500mgを頓用する。なお、年齢、症状により適宜増減する。ただし、原則として1日2回までとし、1日最大1500mgを限度とする。また、空腹時の投与は避けさせることが望ましい。

通常、乳児<sup>1)</sup>、幼児<sup>2)</sup>の小児にはアセトアミノフェンとして、体重1kgあたり1回10-15mgを経口投与し、投与間隔は4-6時間以上とする。なお、年齢、症状により適宜増減するが、1日総量として60mg/kgを限度とする。ただし、成人の用量を超えない。また、空腹時の投与は避けることが望ましい。

(1) 乳児<sup>※1</sup>、幼児及び小児の1回投与量の目安は右記のとおり。  
 (2) 「小児科領域における解熱・鎮痛」の効能・効果に対する1回あたりの最大用量はアセトアミノフェンとして500mg、1日あたりの最大用量はアセトアミノフェンとして1500mgである。

体重	1回用量
	アセトアミノフェンとして
5kg <sup>(1)</sup>	50 - 75mg
10kg	100 - 150mg
20kg	200 - 300mg
30kg	300 - 450mg

【使用上の注意】

(1) アルコ  
維他命

[illegible][illegible]

●リチウム製剤(炭酸リチウム) ●アシアド系利尿剤(ヒドロクロロチアシド等) ●アルコール(飲酒) ●タリウム系抗凝血剤(フルフラシナリウム) ●カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン、プロミドン、リファンピシン、イソニアジド ●抗生物質、抗菌剤

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。  
**重大な副作用**

①シヨック(循環不全)、アフラニキニキニシヨック(循環不全):シヨック、アフラニキニシヨック(呼吸困難、全身発汗、血圧浮腫、麻痺等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。  
②急性肝臓死(肝臓死):Toxic Epidermal Necrolysis (TEN)、皮膚剥離症候群(Stevens-Johnson症候群) (シヨック) 中等症表皮剥離症候群、皮膚剥離症候群があらわれることがあるので、観察を十分に行い、以下のシヨックがあらわれた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。  
③4.肝機能障害(循環不全):シヨック(循環不全):シヨック、アフラニキニシヨック(呼吸困難、全身発汗、血圧浮腫、麻痺等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。  
④腎臓障害(循環不全):シヨック(循環不全):シヨック、アフラニキニシヨック(呼吸困難、全身発汗、血圧浮腫、麻痺等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

上記以外の使用上の注意等につきましては「製品添付文書」をご参照ください。


 「患者様が本当に満足する疼痛管理」を先生とともに考える  
**医療従事者向け会員サイト**  
 詳細はウェブサイトへ <http://www.e-paincontrol.com/>

■ カロナール®の学術情報に関するお問い合わせ先: 0120-050-763 ■ その他に関するお問い合わせ先: 0120-369-873

〈受付時間〉月～金曜日 9:00～17:30（祝祭日・当社休日を除く）

製造販売元(資料請求先)



**昭和薬品化工株式会社**

〒104-0031 東京都中央区京橋2-17-11  
http://www.showayakuhinkako.co.jp

2011年3月(AC)





薬事情報事業の一環として、講演などの資料を掲載することとなりました。会員の皆様の講演資料作成等に役立てていただければと思います。無料でお貸し出しできる物を掲載していますので、各資料に興味のある方は県薬事務局にご連絡ください。又、新しく入手した資料につきましては、順次掲載します。

## 【CD】

	題 名	提供者・管理者	形 式
1	スモーキングベイビー（禁煙）	村上信行	（メディアプレーヤー）
2	肺癌（禁煙）	村上信行	（メディアプレーヤー）
3	みみず（禁煙）	村上信行	（メディアプレーヤー）
4	Everycigaretteisdoingyoudamage ♂（禁煙）	村上信行	（メディアプレーヤー）
5	Everycigaretteisdoingyoudamage ♀（禁煙）	村上信行	（メディアプレーヤー）
6	小学生向けスライド1（禁煙）	村上信行	（パワーポイント）
7	小学生向けスライド2（禁煙）	村上信行	（パワーポイント）
8	小学生向けスライド3（禁煙）	村上信行	（パワーポイント）
9	キラキラ10／4（禁煙）	村上信行	（パワーポイント）
10	青少年に（禁煙）	村上信行	（パワーポイント）
11	「どこまで知ってる？」薬物乱用（中学生用）	村上信行	（パワーポイント）
12	「薬について」（小学生用）	村上信行	（パワーポイント）
13	錯乱	村上信行	ムービーファイル（mpeg）
14	破壊	村上信行	ムービーファイル（mpeg）
15	脳のイメージ1	村上信行	ムービーファイル（mpeg）
16	脳のイメージ2	村上信行	ムービーファイル（mpeg）
17	脳のイメージ3	村上信行	ムービーファイル（mpeg）
18	タバコを吸うと肺がどうなるか？（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
19	受動喫煙で血管収縮（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
20	オーストラリアの禁煙CM（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
21	喫煙で動脈硬化が加速（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
22	軽いタバコの嘘（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
23	手遅れ（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
24	1年分のタール（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
25	ニコチン依存ネズミ（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
26	副流煙の方が危険！実験映像（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
27	脳出血（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
28	デイブ・ゲーリッツ氏の告発（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
29	レイン（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
30	smoker'sface（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
31	コロンビア・ライト（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
32	デビ・オースチン（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
33	ユル・プリンナー（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
34	悪魔のacademy（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
35	眼底出血（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）

36	喫煙サル（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
37	喫煙で能率低下（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
38	低体重ネズミ（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
39	副流煙とウェイトレス（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
40	好奇心（禁煙）	増田和彦	（メディアプレーヤー）
41	禁煙指導用スライド	増田和彦	（パワーポイント）
42	分煙	増田和彦	（パワーポイント）
43	ニコチン依存症	増田和彦	（パワーポイント）
44	薬の基礎知識（一般消費者啓発用）	三次	（パワーポイント）
45	薬物乱用はダメ。ゼッタイ。スタディショップⅡ（指導者用）	県薬事務局	
46	薬物乱用はダメ。ゼッタイ。スタディショップⅢ（指導者用）	県薬事務局	
47	薬物乱用はダメ。ゼッタイ。スタディショップⅣ（指導者用）	県薬事務局	
48	薬局薬剤師の接遇マニュアル研修用平成16年9月（（社）日本薬剤師会）	呉	（パワーポイント）
49	健康くれ21「健康くれ体操」	呉	
50	薬剤師のための「ヒューマンエラー自己分析システム」	呉	
51	褥瘡に使われる医薬品について	情報センター	（パワーポイント）
52	The 臨床 薬剤師第9号－明日から使える病態生理と診療講座－ （（財）日本薬剤師研修センター）	情報センター	（DVD）
53	ドーピング検査手順（ForAthlete）	情報センター	（DVD）

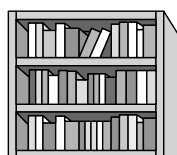
## 【書籍・冊子・資料】

	題 名	提供者・管理者	形 式
1	薬から高齢者の健康を考える	安佐	テキスト 15ページ
2	薬から高齢者の健康を考えるⅡ	安佐	テキスト 19ページ
3	漢方入門	安佐	テキスト 20ページ
4	薬草と親しむ	安佐	テキスト 31ページ

## 【ビデオ】

	題 名	提供者 管理者	形 式
1	くすりを正しく使って健康ファミリー “お年寄りとその家族のみなさんへ” (1993)	呉	24分
2	あなたの街の保険薬局“処方せんをもらったら”（（社）日本薬剤師会）	呉	
3	「薬の飲み合せ」	呉	
4	日常生活と成人病シリーズ	呉	133分
5	お年寄りが薬と上手に付合う方法	呉	15分
6	薬剤師との上手なつきあい方（NHKきょうの健康） (2002. 10)	呉	
7	薬と上手につき合う（NHKきょうの健康） (1998. 11)	呉	
8	訪問薬剤管理指導の実践（（財）日本薬剤師研修センター）	呉	
9	健康くれ21「健康くれ体操」	呉	

資料を提供していただいた支部担当役員の方、個人の方、感謝の意を込めて掲載させていただきます。  
引き続きよろしく願いいたします。（個人名以外は支部名を表示しています。）



- ★これは!!と思われる資料がありましたら県薬事情報センターまでご連絡ください。無料で貸し出します。
- ★また、提供したい資料や、“これ、もっといて”という資料がありましたらご連絡ください。お預かりします。
- ★会員の皆様からの、こんな資料を作って…というご意見にもお答えします。

**まずはご連絡を!!!**

**広島県薬剤師会薬事情報センター 電話 (082) 243-6660**

# ◎広島県薬剤師会会員証(会員カード)◎

新規受付は平成21年8月末をもって  
終了しました。

## 会員カードでWポイントがつきます。

Wポイントカードに  
関するお問い合わせは

(株)和多利広島本社

Wポイントカード事務局

☎ 082-830-0230 平日10:00~18:00

Wポイントカードホームページ <http://www.watari.biz/>

Wポイントカードシステムでは、2000ポイント貯まると翌月2000円分のWポイント金券がお手元に届きます。



### 広島県Wポイントカード加盟店

平成23年4月1日現在

店舗名	TEL	店舗名	TEL	店舗名	TEL
<b>広島市安芸区</b>		<b>広島市中区</b>		<b>広島市西区</b>	
COOL INN. 船越本店	082-822-6667	住吉屋 楽々園店	082-943-4960	広島第一交通(株)江波営業所	082-233-5871
ちから 船越店	082-824-0301	ちから 五日市店	082-922-8661	広島風お好み焼・鉄板居食家 徳兵衛 紙屋町店	082-247-2260
ちから 矢野店	082-888-5246	ちから 楽々園店	082-921-6693	福助タクシー(株)本社営業所	082-232-3333
ちから 矢野西店	082-889-5188	徳川 五日市店	082-929-7771	ボウル国際	082-244-4151
マダムジョイ 矢野店 直営食品売場	082-889-2441	マダムジョイ 楽々園店 直営食品売場	082-943-8211	星ビル2F 知育玩具とオルゴール	082-249-3592
<b>広島市安佐北区</b>		<b>英国式足健康法 リフレックス</b>		星ビル3F ベビーワールド	082-249-6181
大野石油店 可部バイパスSS	082-819-0210	えびすの宴	082-248-7722	星ビル4F アンティークドール	082-246-0026
大野石油店 高陽町SS	082-842-1890	えひめでいあ	082-243-6166	星ビル5F オルゴールティーサロン	082-249-1942
キャン・ドゥ 可部店	082-814-7008	大野石油店 牛田大橋SS	082-221-1511	星ビルB1F メディカルフィットネス	082-242-0011
山陽礦油 かめ山SS	082-815-6211	大野石油店 大手町SS	082-243-8351	マダムジョイ 江波店 直営食品売場	082-532-2001
ちから 高陽店	082-841-4377	大野石油店 西白鳥SS	082-221-8834	マダムジョイ 千田店 直営食品売場	082-545-5151
徳川 高陽店	082-840-0300	大野石油店 八丁堀SS	082-221-3643	焼肉達人の店 寅	082-234-8929
徳川 サンリブ可部店	082-815-2775	okashimo	082-231-3221	横田印房	082-221-0320
<b>広島市安佐南区</b>		釜飯酔心 本店	082-247-4411	リビング事業社 リビングコミュニティカレッジ	082-511-7706
エコール古市ショールーム	082-830-6161	寿司道場酔心 支店	082-247-2331		
エコール本部	082-877-1079	惣菜酔心 立町店	082-247-9581		
大野石油店 高取SS	082-872-7272	COOL INN. サンモール店	082-248-2112		
大野石油店 緑井SS	082-877-2008	芸州 胡店	082-243-6165		
釜飯酔心 毘沙門店	082-879-2211	桜井花店 本店	082-247-1808		
カメラのアート写夢 高取店	082-830-3588	山陽礦油 相生橋SS	082-232-0145		
COOL INN. 大町店	082-831-6760	しなとら パセーラ店	082-502-3382		
住吉屋 イオンモール広島祇園店	082-962-1121	体育社 本店	082-246-1212		
ちから 祇園店	082-875-5003	ちから 本店	082-221-7050		
ちから 西原店	082-832-5520	ちから 上八丁堀店	082-211-0122		
ちから 緑井駅店	082-831-2620	ちから 京口通店	082-502-6008		
ちから 八木店	082-830-0235	ちから そごう店	082-512-7854		
徳川 安古市店	082-879-9996	ちから タカノ橋店	082-544-0002		
広島第一交通(株)上安営業所	082-872-5410	ちから 十日市店	082-503-1089		
広島風お好み焼き・鉄板居食家		ちから 中の棚店	082-545-6880		
徳兵衛 毘沙門台店	082-879-0141	ちから 舟入店	082-294-7503		
福助タクシー(株)古市営業所	082-877-0004	ちから 堀川店	082-241-8230		
HOBBY TOWN 広島店	082-831-6577	ちから 本通4丁目店	082-245-0118		
<b>広島市佐伯区</b>		徳川 総本店	082-241-7100		
AUTO GARAGE うえるかむ	082-927-2510	のん太鮎 パセーラ店	082-502-3383		
大野石油店 五日市インターSS	082-941-5020	バー・サード・ウェーブ	082-247-7753		
大野石油店 造幣局前SS	082-923-6029	ピカソ画房 本店	082-241-3934		
釜飯酔心 五日市店	082-922-8663	ひろしま国際ホテル カフェ58	082-240-7556		
サイクルショップカナガキ 五日市店	082-924-5525	ひろしま国際ホテル 芸州 本店	082-248-2558		
		ひろしま国際ホテル スペインバルミカーサー	082-248-6796		
		ひろしま国際ホテル 東風	082-240-0558		

店舗名	TEL	店舗名	TEL	店舗名	TEL
<b>広島市西区(続き)</b>		広島風お好み焼・鉄板居食家 徳兵衛 広島新幹線店	082-263-0200	徳川 西条プラザ店	082-424-0300
ちから 井口店	082-278-3666	ホテルセンチュリー21広島 京もみじ	082-263-5531	八本松タクシー	082-428-0023
ちから 観音店	082-232-5686			<b>福山市</b>	
ちから 己斐店	082-507-0505	ホテルセンチュリー21広島 フィレンツェ	082-568-5270	一心太助 福山本店	084-922-5611
ちから 商工センター店 準備中				エコール福山 ショールーム	084-981-3733
ちから 中広店 (4/22～)	082-532-4004	<b>安芸郡海田町</b>		山陽石油 住吉町SS	084-922-0939
徳川 南観音店	082-503-3039	ちから 海田店	082-822-1711	山陽石油 セルフ神辺SS	084-962-0693
広島第一交通(株) (第1)	082-278-5511	徳川 海田店	082-824-0111	山陽石油 セルフ福山平成大学前SS	084-972-7940
広島第一交通(株) (平和)	082-278-5522	<b>安芸郡府中町</b>		山陽石油 多治米町SS	084-957-2601
ホテルプロヴァンス21広島 スパラザ広島	082-235-3930	ちから サンリブ府中店	082-890-2510	山陽石油 深津SS	084-922-5750
マダムジョイ アルパーク店 直営食品売場	082-501-1112	ちから 府中店	082-287-0933	山陽石油 福山東インターSS	084-923-7835
マダムジョイ 己斐店 直営食品売場	082-271-3211	ちから 向洋店	082-581-4321	山陽石油 南本庄SS	084-922-3181
横川 ちから	082-292-5822	広島第一交通(株)府中営業所	082-281-1191	徳川 福山東深津店	084-929-2015
<b>広島市東区</b>				とんかつ徳 イトーヨーカドー福山店	084-971-0050
アリモト 本店	082-264-2929	<b>大竹市</b>		HOBBY TOWN 福山店	084-927-1129
大野石油店 広島東インターSS	082-508-5030	カメラのアート写夢 本店	0827-57-7700	<b>三原市</b>	
サイクルショップカナガキ 戸坂店	082-220-2031	カメラのアート写夢 油見店	0827-53-5911	ごはんや 広島空港店	084-860-8215
ちから 尾長店	082-506-3505	<b>尾道市</b>		徳川 三原店	0848-62-8824
ちから 光町店	082-568-6855	瀬戸田すいぐん丸	08452-7-3003	<b>三次市</b>	
徳川 戸坂店	082-220-1818	<b>呉市</b>		困炉り茶屋 やまぼうし	0824-69-2299
<b>広島市南区</b>		大野石油店 熊野団地SS	0823-30-1042	さざん亭 三次店	0824-64-0375
大野石油店 エコステーション出島	082-254-1015	大野石油店 呉SS	0823-21-4974	平田観光農園	0824-69-2346
大野石油店 東雲SS	082-282-3993	体育社 呉店	0823-22-8880	広島三次ワイナリー 喫茶ヴァイン	0824-64-7727
大野石油店 皆実町SS	082-251-9108	ちから 呉駅店	0823-32-5532	広島三次ワイナリー パーベキューガーデン	0824-64-0202
金飯酔心 新幹線店	082-568-2251	徳川 呉中通り店	0823-23-8889	広島三次ワイナリー ワイン物産館	0824-64-0200
金飯酔心 広島駅ビル店	082-568-1120	徳川 広店	0823-70-0600	フルーツレストラン まるめろ	0824-69-2288
惣菜酔心 アッセ店	082-264-6585	広島風お好み焼・鉄板居食家 徳兵衛 呉駅ビル店	0823-24-0222	<b>その他</b>	
銀河(えひめでいあ)	082-253-1212	<b>庄原市</b>		Heart Leap Up HIROSHIMA	082-545-5277
ごはんや 広島店	082-253-0300	総商さとう ウィー東城店	08477-2-1188	※会員登録で100ポイント、メールマガジン受信ごとに1ポイント、メールマガジンアンケートに回答すると30ポイント以上(各号によって異なります)。	
サイクルショップカナガキ 東雲店	082-288-9101	<b>神石郡神石高原町</b>		リースキン 家庭用事業部	
山陽礦油 大州SS	082-282-4478	総商さとう 本店	08478-2-2011	広島支店	082-233-1141
車検の速太郎 向洋店	082-890-9500	<b>廿日市市</b>		広島北営業所	082-845-2882
ちから 旭町店	082-254-6678	大野石油店 廿日市インターSS	0829-20-1189	広島西営業所	0829-31-6161
ちから 宇品店	082-505-0003	キャン・ドゥ 廿日市店	0829-32-3387	広島東営業所	082-824-1411
ちから 出汐店	082-254-2455	ジョイ薬局	0829-32-3077		
ちから 広島駅店	082-568-9121	徳川 廿日市店	0829-32-1111		
ちから 福屋駅前店	082-568-2330	<b>東広島市</b>			
ちから 本浦店	082-286-1119	大野石油店 西条インターSS	082-423-3701		
ちから 的場店	082-262-6594	大野石油店 高屋ニュータウンSS	082-434-4411		
ちから 皆実4丁目店	082-250-0804	大野石油店 東広島SS	082-423-9197		
ちから 皆実町店	082-253-3363	カギのひゃくとう番	082-424-3110		
ちから ゆめタウンみゆき店	082-250-2125	髪処 ふくろう	082-497-3337		
中国トラック	082-251-0110	住吉屋 西条プラザ店	082-423-7878		
豆匠 広島本店	082-506-1028	体育社 東広島店	082-422-5050		
徳川 ジャスコ宇品店	082-250-0480				
徳川 ビックカメラ・ベスト店	082-567-2388				
徳川 南区民センター店	082-505-1620				

※ご利用金額100円に対するポイント値は、加盟店により異なります。 ※換算率は、1ポイント＝1円となります。

※次のお取り扱いにつきましては、予め、ご利用加盟店へ直接お問い合わせ下さい。

1. クレジットカード支払のお取り扱い
2. クレジットカードご利用時のポイント付加の有無
3. ポイント付加対象外商品の有無
4. 団体・パーティーご利用時のポイント付加の有無

## 指 定 店 一 覧

平成23年4月1日現在

部 門	指 定 店	会 員 価 格	営業日時	定 休 日	所 在 地	電 話 番 号
ゴム印・ 印鑑	㈱入江明正堂	現金25%引、クレジット20%引	9:30～19:00	日曜、祝日、(8 月の土曜)	広島市中区新天地1-1	(082)244-1623
ホテル	㈱呉阪急ホテル	宿泊20%引、宴会5%引、婚礼 5%引、料飲10%引 外優待有	年中無休		呉市中央1-1-1	(0823)20-1111
	ANAクラウンプラザ ホテル広島	宿泊23%引、料飲5%引、婚礼 5%引、宴会5%引	年中無休		広島市中区中町7-20	(082)241-1111
	広島東急イン	宿泊シングル1,500円引・ツイン 3,000円引、婚礼10%引、レス トラン5%引	年中無休		広島市中区三川町10-1	(082)244-0109
	福山ニューキャッ スルホテル	宿泊17%引、レストラン5%引、 宴会料理5%引、婚礼、料飲 5%引	年中無休		福山市三之丸町8-16	(084)922-2121
リース 会社	日立キャピタル㈱	オートローン3.6%、リフォーム ローン3.9% 外	年中無休	年末年始、夏期 休暇等当社指定 定休日を除く	広島市中区国泰寺町1-8-13 あいおい損保広島TYビル 6F	(082)249-8011
家具	㈱河野家具店	店頭表示価格から5～20%引	9:00～19:00	毎週火曜 (火曜日が祝日 の時は営業)	呉市中通4-10-17	(0823)22-2250
	森本木工 西部	25～60%引き 赤札より10～ 15%	平日 8:30～18:00 年中無休	8/13～15、 12/29～1/4	広島市安佐南区中須2-18-9	(082)879-0131
看板	㈱サインサービス	見積額の10%割引		毎週土・日曜日、 祝日	安芸郡府中町柳ヶ丘77-37	(082)281-4331
警備	ユニオンフォレスト㈱	機械警備10,000円/月～、ホーム セキュリティ4,000円/月～、 保証金免除	平日 9:00～18:00	無休	呉市中央2-5-15	(0823)32-7171
	㈱全日警広島支店	月額警備料金10,000～15,000円 (別途相談)、機器取付工事代 20,000～30,000円、保証金免除	(土・日曜及び 祝祭日を除く)	土・日・祝日	広島市中区鞆町3-1 第3山県ビル5F	(082)222-7780
建物	㈱北川鉄工所 広島支店	特別価格	平日 8:45～17:30	毎週土・日曜日、 祝日	広島市南区東雲本町 2-13-21	(082)283-5133
時計・宝石 ・メガネ ・カメラ	㈱ナカオカ	15～20%引(企画品、相場価格商 品は除く)		毎週水曜日、夏 期年末年始	広島市中区堀川町5-10	(082)246-7788
	㈱下村時計店	現金のみ店頭表示価格から10～ 20%引(一部除外品あり)	9:00～19:00	月曜日	広島市中区本通9-33	(082)248-1331
自動車	広島トヨペット㈱ Volkswagen南広島	特別価格			広島市中区吉島西2-2-35	(082)541-3911
自動車部 品	㈱モンテカルロ (店舗名) 吉島店・安古市店 五日市店・可部店 高陽店 府中店・三次店 呉店・西条店 蔵王店・駅家店 尾道東店・三原店	専用カード(GOLDカード申 込者のみ) モンテカルロ各店にて、通常価 格より10%引き、エンジンオイ ル等交換工賃無料、8項目点検 無料、車検・钣金・アウトレッ ト割引有、ポイント有100円で1 ポイント、※従来のコーポレート カードは廃止になります。	10:00～ 19:00・20:00 閉店時間は曜 日により変更 となります。	年中無休	本社 広島市西区商工センター 4-8-1	本社 (082)501-3447
書籍	㈱フタバ図書	現金のみ定価5%引(直営店のみ)		定休日不定	広島市西区観音本町2-8-22	(082)294-0187
	㈱紀伊国屋書店 広島店 ゆめタウン広島店	現金のみ定価の5%引			広島市中区基町6-27 広島バスセンター6F 広島市南区皆実町2-8-17 ゆめタウン広島3F	(082)225-3232 (082)250-6100
食事・ 食品	お好み共和国 ひろしま村	全店全商品5%引			広島市中区新天地5-23	(082)246-2131
	㈱平安堂梅坪 対象店舗(デパート を除く直営店)	5%引	対象店舗(デパート を除く直営店)年中 無休9:30～19:00	日・お盆・年末 年始休業	広島市西区商工センター 7-1-19	(082)277-8181

部 門	指 定 店	会 員 価 格	営業日時	定 休 日	所 在 地	電 話 番 号
レジャー	國富(株)広島営業所	Cカード取得コース45,000円、商品購入：店頭価格より5%off、器材オーバーホール：通常価格より5%off	8:30～20:00	なし	広島市西区観音町13-9	(082)293-4125
	Diving Service海蔵	スキューバダイビング体験講習¥8,400 Cカード取得講習会¥5,000引き・器材修理店頭価格より5%引き	11:00～20:00	なし	広島市中区南千田西町1-8-101	(082)209-7422
進物	株進物の大信	5～20%割引(但し弊社特約ホテル式場にての結婚記念品の場合を除く)(個別配送費 広島県内無料(2,000以上の商品))	6～9月 10:00～18:30 10～5月 9:30～18:00 年中無休・24時間営業	毎週火曜	広島市中区堀川町4-14	(082)245-0106
	南中山南天堂	5～25%(但し一部ブランド品食品を除く)	年中無休・24時間営業		広島市中区猫屋町8-17	(082)231-9495
総合葬祭	セルモ玉泉院 長束会館	祭壇金額定価2割引、 葬具(柩外)1割引	年中無休		広島市安佐南区長束2-4-9	(082)239-0948
	株玉屋	葬儀・花輪20%引、 生花5%引	年中無休		広島市南区段原南1-20-11	(082)261-4949
百貨店・ 婦人服・ 複写機・ ファックス	ひつじやサロン	店頭表示価格より10%引(一部除外品有)	平日 9:00～17:30	不定休	広島市中区本通9-26	(082)248-0516
	ミノルタ販売(株)	特別会員価格	年中無休		広島市中区小町3-25 (ショールーム)	(082)248-4361
仏壇・ 仏具	株三村松本社	仏壇平常店頭価格より30～40% 引、仏具平常店頭価格より10～ 20%引(但し、修理費・工事費等 店頭販売品以外は除外する。)			広島市中区堀川町2-16	(082)243-5321
旅行	株JTB 広島支店 (JTB紙屋町チャレオ 店・JTB広島駅前支店)	ルック J T B 3%引(ルック J T B スリムを除く)、エース J T B 3%引 本人とその家族対象		日祭休	広島市中区紙屋町2-2-2	(082)542-5020
	ひろでん中国新聞 旅行株本社・呉営 業所・三次営業 所・福山営業所	本人のみ 現金のみメープル・トピック 自社主催商品3%引	平日 10:00～19:00 土・日・祝 10:00～17:00		広島市中区八丁堀16-14 第二広電ビル1F	(082)512-1020
	株日本旅行 広島支店 (県内各支店)	赤い風船3%引、マッハ5%引、 ベスト3%引			広島市中区基町13-7 朝日ビル2F	(082)222-7002
装飾	青山装飾(株)	特別価格	8:30～17:30	日・祝日、第2・ 4土曜日	広島市西区商工センター 5-11-1	(082)278-2323
介護用品	坂本製作所(株) 介護事業部 福山営業所	車いす(アルミ製55%・スチール 製60%)、歩行補助ステッキ40% 引き	9:30～18:00	日曜・祝日休業	福山市卸町11-1	(084)920-3950
家電	株デオデオ外商部	デオデオ店頭価格より家電製品 10%引、パソコン関連5%引	9:30～18:30	土・日・祝日	廿日市市木材港南8-22	(0829)34-2508
保険	アリコジャパン 広島第一エージェ ンシーオフィス	無料保険診断サービス実施中	9:00～18:00 (平日)	土・日・祝日	広島市中区紙屋町2-1-22 広島興銀ビル9F	(082)247-3473 担当：小原(オハラ) 丸本(マルモト)
引越	株サカイ引越セン ター	通常価格より15%割引	年中無休(但し 11～13は休み)		広島市西区福島町2丁目36-1	0120-06-0747
会員制福 利厚生 サービス (中小企 業向け)	株福利厚生倶楽部 中国(中国電力グ ループ会社)	入会金(一法人)31,500円→無料、 月会費1,050円/人 サービス内容(一例)全10,000アイ テムが会員特別料金◆宿泊施設： 約4,000ヶ所 2,000円～、◆公共の 宿：1泊2,500円/人補助◆バックッ アー：10%OFF、◆フィットネス：1 回500円～、◆映画：1,300円等	9:00～18:00 (平日)		広島市中区国泰寺町1-3-22 E R E 国泰寺ビル6階	(082)543-5855
設備	株式会社クラタ コーポレーション	特別価格	サービスにつ いては24時間 365日受付対応	土日祭休	広島市中区橋本町7-27	(082)511-1110 (代)担当：桑田昭正

ご利用の際は、広島県薬剤師会**会員証**をご提示ください。

## ◆ 県薬だより ◆



### 県薬より支部長への発簡

- |       |   |       |   |
|-------|---|-------|---|
| 2月18日 | 支部会則等の提出について（依頼）<br>（各支部長）                        |       | いて（通知）（各支部長）  |
| 2月18日 | 支部長・理事合同会議の議題について<br>（各支部長）                       | 3月30日 | 平成23年度広島県薬剤師会賞及び同功<br>労賞並びに同有功賞授賞候補者の推薦<br>について（依頼）（各支部長） |
| 2月21日 | 支部長・理事合同会議資料の送付につ<br>いて（各支部長）                     | 4月1日  | 平成23年度県薬会費の納入について<br>（依頼）（各支部長）                           |
| 2月23日 | 毒物劇物譲受書及び毒薬劇薬譲受書の<br>販売について（通知）（各支部長）             | 4月1日  | 応需薬局のゴールデンウィーク休業期<br>間調査について（依頼）（各支部長）                    |
| 3月1日  | 医療事故情報収集等事業「医療安全情<br>報No.51」の提供について（通知）<br>（各支部長） | 4月1日  | 平成23年度保険薬局部会会費の賦課納<br>入について（各支部長）                         |
| 3月2日  | 広島県自立支援医療費（精神通院）支<br>給認定実施要綱の改正について（通<br>知）（各支部長） | 4月4日  | 第44回日本薬剤師会学術大会（宮城大<br>会）の開催中止について（通知）（各<br>支部長）           |
| 3月15日 | 東北地方太平洋沖地震への義捐金につ<br>いて（依頼）（各支部長）                 | 4月8日  | 薬学生実務実習受け入れ支部担当責任<br>者会議の開催について（依頼）（各支<br>部長）             |
| 3月22日 | 一般社団法人〇〇薬剤師会標準モデル<br>定款（案）の送付について（通知）<br>（各支部長）   | 4月11日 | 医療事故情報収集等事業第24回報告書<br>について（通知）（各支部長）                      |
| 3月24日 | 東北地方太平洋沖地震への義捐金専用<br>払込取扱票について（各支部長）              | 4月11日 | 薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事<br>業第4回集計報告について（通知）<br>（各支部長）           |
| 3月25日 | 平成23年度検査センター利用契約証明<br>書の送付について（各支部長）              |       |   |
| 3月28日 | 平成22年度「くすりと健康の相談窓<br>口」啓発事業の助成について（通知）<br>（各支部長）  |       |   |
| 3月28日 | 平成22年度薬事衛生指導員活動費の助<br>成について（通知）（各支部長）             |       |   |
| 3月29日 | 認定基準薬局手数料の支部還付金につ                                 |       |   |



## ◆平成23年1月定例常務理事会議事要旨

日 時：平成23年1月27日（木）

午後5時30分～午後7時5分

場 所：広島県薬剤師会館

議事要旨作製責任者：重森友幸

出席者：前田会長、大塚・野村・村上各副会長、  
豊見専務理事、  
青野・有村・小林・重森・田口・谷川・  
平田・藤山・二川・政岡各常務理事

欠席者：木平・松下各副会長

## 1. 報告事項

(1) 12月定例常務理事会議事要旨（別紙1）

(2) 諸通知

ア. 来・発簡報告（別紙2）

イ. 会 務 報 告（ 〃 3）

ウ. 会員異動報告（ 〃 4）

(3) 委員会等報告

(前田会長)

ア. 佐々木広島県健康福祉局長来会

12月24日（金）

県医師会が高度治療がんセンター（二葉の里）の上に移転することを決めているが、歯科医師会と薬剤師会にも打診があった。歯科医師会も立て替え等を検討中であったので、歯科医師会と連携をとりながら、協議している。広島県薬剤師会館の老朽化により、耐震補強等にも莫大な費用がかかるので、前向きにかつ慎重に検討することになっている。あくまでも、歯科医師会と歩調をあわせることを基本としている。内容については、まだまだ流動的であり、進捗状況は、随時報告する予定である。

移転がなるかは別として、再度、会員のため県民のための組織作りを考えていきたいと報告された。

イ. 広島県地域医療再生計画説明会（広島県保健医療部医療政策課来会）

12月28日（火）

ウ. 正・副会長会議

1月8日（土）

エ. 山科広島県歯科医師会会長等との会談

1月10日（月） 於 ANAクラウンプラザホテル広島

オ. 平成23年広島県医師会新年互礼会

1月10日（月） 於 ANAクラウンプラザホテル広島

カ. 臨時正・副会長会議

1月10日（月） 於 さかい

キ. 日本薬剤師会平成22年度第4回都道府県会長協議会（会長会）

1月12日（水） 於 東京・日薬

ク. 日本薬剤師会新年賀詞交歓会

1月12日（水） 於 グランドプリンスホテル赤坂

ケ. 新会館移転説明等

1月13日（木） 於 岡田己斐薬局

コ. 日本薬剤師会薬局製剤・漢方委員会

1月19日（水） 於 東京・日薬

サ. 日本薬剤師会医薬品試験委員会

1月21日（金） 於 東京・日薬

シ. 広島県歯科医師会との打合せ

1月21日（金） 於 さかい

(前田会長、豊見専務理事)

ア. 二葉の里地区医療福祉ゾーン説明会

1月17日（月） 於 県庁

(大塚副会長)

ア. 福利厚生特別委員会

1月20日（木）ライフとの契約の打ち切りに伴い、今後の会員証についての検討を行った。研修会や他地区でも使えるように検討中であると報告された。

イ. 業務分担④担当役員打合せ

1月26日（水）公益性を重視する事業内容を協議したと報告された。

(野村副会長)

ア. 平成23年事業関係者新年互礼会

1月6日（木） 於 広島県薬剤師会館

イ. 平成22年度第2回広島県医療費適正化計画中間評価検討委員会

1月12日（水）県庁・北館で開催され、平成20年からの5カ年計画の中間発表をする予定であると報告された。

ウ. 業務分担①担当理事打合せ

1月12日（水）事業執行状況及び事業計画（案）について協議したと報告された。

(村上副会長)

ア. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導

12月15日（水） 於 広島合同庁舎

イ. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導

1月13日（木） 於 広島合同庁舎

広域門前薬局が多く参加しておおり、ビタミン剤について、薬歴の一部、一包化加算が認められないなどの指摘があったと報告された。

ウ. 業務分担③担当役員打合せ

1月18日（火）

今年度の事業の精査と来年度事業の計画について協議したと報告された。特に、次年度は新薬剤師研修会は中止とすることが報告された。

エ. 業務分担2担当理事及び支部担当者会議

1月19日（水）2月6日（日）開催の職能対策実務担当者会議に向けて、「医薬分業の意義と現状のギャップ」について意見交換を行った。23年度の保険薬局部会事業は、本年度と同等と考えていると報告された。

オ. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の個別指導

1月20日（木） 於 広島合同庁舎

カ. 朝日新聞取材

1月27日（木）

記者が、「高齢者における薬物治療」として高齢者に取材した際、薬を理解をしていないので、多剤を理解する取り組みとして、県薬



が行った「ブラウンバック運動」についてと、一般向けへの薬剤師の仕事内容についての広報、多科受診の現況等についてに意見交換を行ったと報告された。

キ. 中国電力健康保険組合との面談

1月27日（木）

中国電力けんぽより、基金を通さずに薬局から直接請求を受けたいとの相談があった。

支払いのサイトが短くなることや、返戻分が組合内で訂正できるなどのメリットがあるが、費用負担のデメリットがあるとのことであったと報告された。

（豊見専務理事）

ア. 日本薬剤師会平成22年度第7回理事会

1月12日（水） 於 東京・日薬

厚労省の保険調剤に係るポイント提供の見解について、当初、「ポイントで調剤をしてはいけない」から、「ことさら高いポイントをつけてはいけない」となり、よって解禁と誤解を招いているところである。日薬としては、会員に対し認めないので、県薬会員に対して指導することとした。

イ. 「研修シールに代わる研修ポイント集計システム」について（メーカーとの面談）

1月21日（金）

会員証をフェリカカードで作り（1枚あたり700円）、研修会に出席すると、参加ポイントが集計され、県薬で研修会の参加証明ができるようになる。そのシステムを検討中で、研修センターとも今後協議して行く予定であると報告された。

（青野常務理事）

ア. 広報委員会

1月7日（金）

イ. 第20回 I P P N W 世界大会実行委員会（第1回）（資料1）

1月21日（金） 於 広島医師会館

（重森常務理事）

ア. 平成22年度第2回中国・四国ブロックエイズ治療拠点病院等連絡協議会

1月13日（木） 於 八丁堀シャンテ

（田口常務理事）

ア. 平成22年度公認スポーツファーマシスト実務講習会WG（資料2）

12月21日（水）

来年度、広島県で山口国体の2種目が開催されるので、協力依頼があれば受ける準備をしておく必要があると報告された。

イ. 日本薬剤師会薬学教育に関する特別委員会実習受入体制整備検討会・実習指導体制整備検討会（合同）

12月27日（月） 於 東京・日薬

1月26日（月） 於 東京・日薬

ウ. 日本薬剤師会議事運営委員会

1月13日（木） 於 東京・日薬

エ. 日薬代議員中国ブロック会議

1月22日（土）・23日（日） 於 島根・玉造温泉

（谷川常務理事）

ア. 第2回広島国際大学O S C E

1月23日（日） 於 広島国際大学

（二川常務理事）

ア. 平成22年度第9回公益社団法人化特別委員会

1月27日（木）

（政岡常務理事）

ア. 中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の集団的個別指導

1月27日（木） 於 広島合同庁舎

（石原事務局長）

ア. 広島県庁訪問

12月22日（水） 於 県庁

イ. 広島県保健医療部訪問

12月27日（月） 於 県庁

ウ. 広島県保健医療部薬務課訪問

1月11日（火） 於 県庁

エ. 広島県地域医療再生計画ヒアリング

1月21日（金） 於 県庁

オ. 二葉の里地区中国財務局ヒアリング及び県庁訪問（資料3）

1月25日（火） 於 中国財務局、県庁  
への提出資料作成等について、担当窓口は公益法人化特別委員会を担当することとする。

## 2. 審議事項

（1）平成23年度事業計画（案）及び収支予算（案）について（資料4）（野村副会長）

2月10日の会計委員会までにそれぞれ内容を確認しておくこととされた。

豊見専務理事より、二葉の里の移転問題に関して、検討委員会を作るなり、事業計画（案）や予算（案）を計上しておく必要があるのではないかと提案され、県薬の7. その他の事業と会館運営事業計画に、移転についての項目を追加することとした。

（2）臨時支部長・理事合同会議の開催について（野村副会長）

2月5日（土）午後3時から、メインは二葉の里移転について開催とすることとされた。

（3）支部長・理事合同会議の提出議題について（野村副会長）

2月19日（土） 午後1時30分から開催、議題については、2月15日（火）までに提出のこととされた。

（4）全体理事会の提出議題について（野村副会長）

2月24日（木） 午後7時から開催、議題については、2月15日（火）までに提出のこととされた。

（5）後発医薬品の使用促進に関する啓発用資材等の作成について（資料5）（野村副会長）

啓発資材・資料を県が調査中であり、制作について県薬に協力依頼がある予定であると説明があった。担当は部会担当とするが、費用負担はしないこととされた。

（6）平成22年度第2回広島県保険者協議会の開催について（資料6）（野村副会長）

日 時：2月9日（水） 午後1時30分～

- 場 所：国保会館  
石原事務局長が出席することとされた。

(7) 広島県輸血療法委員会情報交換会の開催について（資料7）（野村副会長）  
日 時：2月26日（土） 午後3時～5時  
場 所：ホテルグランヴィア広島  
谷川常務理事が出席することとされた。

(8) 広島県トレーナー協会平成22年度「ドーピング防止活動」講習会の講師派遣について（資料8）（野村副会長）  
日 時：2月20日（日）  
午後3時～4時30分  
場 所：広島大学医学部保健学研究科棟（予定）  
講演時間：90分（予定）  
原田情報センター長を派遣することとした。

(9) 広島県薬物乱用防止指導員の推薦について（資料9）（野村副会長）  
推薦希望人数：広島市地区8名（各区1名）  
他の地区（計43名）  
推薦期限：平成23年3月31日（木）  
指導員任期：平成23年8月1日～平成26年7月31日（3年間）  
支部長宛に推薦依頼をすることとした。

(10) 後援、助成及び協力依頼等について（野村副会長）  
ア. 広島交響楽団東京公演への寄付のお願いについて（資料10）（野村副会長）  
一口1万円を寄付することとされた。

4. その他

(1) 次回常務理事会の開催について（野村副会長）  
2月17日（木） 午後6時（議事要旨作製責任者【予定】 田口勝英常務理事）

(2) 第20回I P P N W世界大会実行委員会委員の委嘱について（資料11）（野村副会長）  
期 間：平成24年8月24日～26日  
場 所：広島市  
役員への協力依頼があり、了承した旨を報告された。

(3) 第22回広島県プライマリ・ケア研究会の開催について（資料12）  
日 時：3月10日（木） 午後7時～  
場 所：広島医師会館  
例年どおりの広報とするとされた。

(4) 日本薬剤師会雑誌「温故知新」の連載記事について（資料13）（野村副会長）  
推薦薬局：赤松薬局（広島支部）に変更になったことが報告された。

(5) 日本政策金融公庫国民生活事業の広報について（資料14）（野村副会長）  
広報委員会が協議することとされた。

(6) その他行事予定  
ア. 第2回広島県地域医療再生計画推進委員会  
1月27日（木） 於 県庁  
イ. 日本薬剤師会平成22年度薬剤師会業事情報センター実務担当者等研修会  
1月28日（金） 於 東京・日薬  
ウ. ㈱洋光来会  
1月28日（金）  
エ. R C C フロンティア来会  
1月28日（金）  
オ. 大分薬剤師会新検査センター落成・検査センター創立30周年記念式典・祝賀会  
1月29日（土） 於 大分東洋ホテル  
カ. 2011年ドーピング防止活動研修会  
1月30日（日） 於 広島県薬剤師会館  
キ. 認定スポーツファーマシスト実務講習会  
1月30日（日） 於 広島県薬剤師会館  
ク. 日本薬剤師会常務理事打合せ  
2月1日（火） 於 東京・日薬  
ケ. 第27回北方領土返還要求広島県民大会  
2月3日（木） 於 広島県民文化センター  
→野村副会長の代理は欠席とする  
コ. 平成22年度日本薬剤師会農林水産事業薬剤師部会  
2月4日（金） 於 東京・長井記念ホール  
サ. 広島県薬務課長来会  
2月4日（金）  
シ. 広島県社会保険診療報酬支払基金理事長来会  
2月4日（金）  
ス. 広報委員会  
2月4日（金）  
セ. 臨時支部長・理事合同会議  
2月5日（土）  
ソ. 平成22年度圏域地对協研修会  
2月6日（日） 於 三原リージョンプラザ  
タ. 認定基準薬局新規申請及び更新薬局、保険薬局指定申請薬局との共同研修会  
2月6日（日） 於 広島県薬剤師会館  
チ. 日本薬剤師会平成22年度全国職能対策実務担当者会議  
2月6日（日） 於 東京・弘済会館  
ツ. 平成22年度第2回広島県医療審議会  
2月7日（月） 於 県庁・北館  
テ. 日本薬剤師会常務理事打合せ  
2月8日（火） 於 東京・日薬  
ト. 日本薬剤師会学校薬剤師部会幹事会（第2回）  
2月9日（水） 於 東京・日薬  
ナ. 平成22年度第2回広島県保険者協議会  
2月9日（水） 於 国保会館  
ニ. 予算等打合せ  
2月10日（木）  
ヌ. 平成22年度厚生労働省免疫アレルギー疾患等予備・治療研究推進事業「アレルギーシンボジウム広島」2  
2月11日（金） 於 J Aビル  
ネ. 平成22年度日本薬剤師会実務実習担当者全国会議  
2月11日（金） 於 慶應義塾大学共立キャンパス  
ノ. 認定実務実習指導薬剤師養成のためのワークショップ「第31回薬剤師のためのワークショップ中国・四国in岡山」  
2月12日（土）・13日（日） 於 就実大学  
ハ. 第39回日本東洋医学会中国四国支部広島県部会  
2月13日（日） 於 広島医師会館

- ヒ. 日本薬剤師会製薬薬剤師部会全体幹事会（平成22年度第3回）  
2月15日（火） 於 東京・日薬
- フ. 日本薬剤師会常務理事打合せ  
2月15日（火） 於 東京・日薬
- ヘ. 常務理事会  
2月17日（木）
- ホ. 西区ケアマネジメント勉強会  
2月17日（木） 於 西区総合福祉センター
- マ. 平成22年度日本薬剤師会農林水産薬事業薬剤師部会  
2月18日（金） 於 大阪・大阪府薬剤師会館
- ミ. 広報委員会  
2月18日（金）
- ム. 支部長・理事合同会議  
2月19日（土）
- メ. 宇川英二氏の受章を祝う会  
2月19日（土） 於 全日空ホテルクレメント高松
- モ. 広島県トレーナー協会平成22年度「ドーピング防止活動」講習会  
2月20日（日） 於 広島大学医学部保健学研究科棟（予定）
- ヤ. 日本薬剤師会常務理事打合せ  
2月22日（火） 於 東京・日薬
- ユ. 広島県緩和ケア支援センター平成22年度緩和ケア人材育成検討会  
2月23日（水） 於 広島県緩和ケア支援センター
- ヨ. 全体理事会  
2月24日（木）
- ラ. 日本薬剤師会平成22年度第8回理事会  
2月25日（金） 於 東京・日薬
- リ. 広島県輸血療法委員会情報交換会  
2月26日（土） 於 ホテルグランヴィア広島
- ル. 第76回日本薬剤師会臨時総会  
2月26日（土）・27日（日） 於 ホテルイースト21
- レ. 広島県薬剤師研修協議会新カリキュラム対応ビデオ研修会  
2月27日（日） 於 広島県薬剤師会館
- ロ. 平成22年度日本薬剤師会行政薬剤師部会講演会  
3月4日（金） 於 東京・長井記念ホール
- ワ. 日本薬剤師会平成22年度介護保険・在宅医療等担当者全国会議（仮称）  
3月5日（土） 於 東京
- ン. 中国・四国地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関評議員会・運営委員会合同会議  
3月5日（土） 於 岡山
- A. 平成22年度日本薬剤師会製薬薬剤師部会研修会  
3月7日（月） 於 都市センターホテル
- B. 日本薬剤師会常務理事打合せ  
3月8日（火） 於 東京・日薬
- C. 広島大学4年生並びに大学院修士卒業・修了記念パーティー

- 3月9日（水） 於 グランドプリンスホテル広島
- D. 第22回広島県プライマリ・ケア研究会  
3月10日（木） 於 広島医師会館
- E. 平成22年度日本薬剤師会行政薬剤師部会講演会  
3月11日（金） 於 大阪・大阪府薬剤師会館
- F. 平成22年度医薬分業指導者協議会  
3月11日（金） 於 厚生労働省講堂
- G. 第6回広島胃腸と経腸栄養療法研究会  
3月12日（土） 於 広島国際会議場
- H. 広島県地域保健対策協議会研修会  
3月14日（月） 於 広島県薬剤師会館
- I. 日本薬剤師会常務理事打合せ  
3月15日（火） 於 東京・日薬
- J. 常務理事会  
3月17日（木）
- K. 日本予防医学リスクマネジメント学会  
3月17日（木）・18日（金） 於 九州大学医学部百年記念講堂
- L. 第40回広島県通常代議員会  
3月20日（日）
- M. 日本薬剤師会常務理事打合せ  
3月22日（火） 於 東京・日薬
- N. ピンクリボンde広響  
3月25日（金）
- O. 広島県地域保健対策協議会平成22年度第2回定例理事会  
3月28日（月） 於 リーガロイヤルホテル広島
- P. 日本薬剤師会常務理事打合せ  
3月29日（火） 於 東京・日薬
- Q. 日本薬剤師会職能対策委員会医薬分業検討会（第3回）  
1月19日（水） 於 東京・日薬
- (7) 用紙部より、毒物劇物譲渡書の在庫切れに伴う新規制作について  
需要はあるため、100冊印刷、売価は200円／冊とされた。

## ◆平成23年2月定例常務理事会議事要旨

日 時：平成23年2月17日（木）18：00～20：30

場 所：広島県薬剤師会館 2F 研修室

出席者：前田会長、木平、大塚、野村、村上各副会長、  
豊見専務理事、  
青野、有村、小林、田口、谷川、平田、藤山、  
二川、政岡各常務理事

欠席者：松下副会長、重森常務理事

議事要旨作製責任者：田口勝英常務理事

### 1. 報告事項

(1) 1月定例常務理事会議事要旨（別紙1）

(2) 諸通知

ア. 来・発簡報告（別紙2）

イ. 会 務 報 告（ 〃 3）

ウ. 会員異動報告（ 〃 4）

(3) 委員会等報告

(前田会長)

- ア. 第2回広島県地域医療再生計画推進委員会  
1月27日(木) 於 県庁  
この会議の前に、佐々木局長から二葉の里移転の状況説明等を受けたこと、その後、委員会で、広島県全域の地域医療の見直しについて話し合いがあったと報告された。
- イ. 大分県薬剤師会新検査センター落成・検査センター創立30周年記念式典・祝賀会  
1月29日(土) 於 大分東洋ホテル  
城崎検査センター長と出席したこと。大分県薬の検査センターは、温泉事業が活発で規模が大きく、年間の事業収入が5億円あり、立派な建物だったと報告された。
- ウ. 広島県薬務課長来会  
2月4日(金) 於 広島県薬剤師会館  
広島県薬務課長から、次年度の予算説明を受けたと報告された。
- エ. 広島県社会保険診療報酬支払基金理事長来会  
2月4日(金) 於 広島県薬剤師会館  
公募で選ばれた理事長が、挨拶に来られたと報告された。
- オ. 臨時支部長・理事合同会議  
2月5日(土) 於 広島県薬剤師会館  
二葉の里地区新会館移転計画の状況説明及び公益法人制度改革に対する県薬・各支部の進捗状況等について話し合ったと報告された。
- カ. 平成22年度圏域地对協研修会  
2月6日(日) 於 三原リージョンプラザ  
医師や関係者が一堂に会し、「希望を叶える安楽な在宅緩和ケアに向けて」をテーマに、基調講演、シンポジウムがあったと報告された。
- キ. 日本薬剤師会製薬薬剤師部会全体幹事会(平成22年度第3回)  
2月15日(火) 於 東京・日薬  
製薬会社の統括責任者が集まり、3月7日(月)に開催予定の部会研修会の取り纏めをしたと報告された。
- ク. 日本薬剤師会学校薬剤師部会幹事会(第2回)  
2月16日(水) 於 東京・日薬  
本会議の開催日が、9日(水)から16日(水)に変更になったこと。部会の事業内容の説明があったと報告された。  
3月23日(水)に全国学校薬剤師担当者会議が、東京・日薬で開催予定であり、大塚副会長が出席することが決定した。

(村上副会長)

- ア. 協会けんぽ来会  
2月17日(木) 於 広島県薬剤師会館  
来年度、協会けんぽ広島支部と合同で進めるブラウンバック運動について、スケジュール等打ち合わせを行い、9月実施予定であると報告された。

(青野常務理事)

- ア. 広報委員会  
2月4日(金) 於 広島県薬剤師会館  
3月号の入稿チェックと、原稿の内容を

チェックを行ったと報告された。

- イ. 認定基準薬局新規申請及び更新薬局、保険薬局指定申請薬局との共同研修会  
2月6日(日) 於 広島県薬剤師会館  
参加者63名  
例年どおり、薬事法、認定基準薬局、保険等の指導を3名の講師で行ったと報告された。
  - ウ. 西区ケアマネジメント勉強会  
2月17日(木) 於 西区総合福祉センター  
西区介護支援専門員85名を対象に、高齢者と薬、薬の正しい使い方、アルツハイマー病の新薬等、講演をしたと報告された。
- (田口常務理事)
- ア. 2011年ドーピング防止活動研修会  
1月30日(日) 於 広島県薬剤師会館  
午前10時から正午まで開催し、ドーピング防止活動の啓発・基礎講習等の内容で行い、会員・非会員合わせて66名の参加があったと報告された。
  - イ. 認定スポーツファーマシスト実務講習会  
1月30日(日) 於 広島県薬剤師会館  
引き続き、午後1時から開催し、認定スポーツファーマシスト45名の出席があったと報告された。
  - ウ. 平成22年度日本薬剤師会実務実習担当者全国会議  
2月11日(金) 於 慶應義塾大学共立キャンパス  
この全国会議の内容を、県薬で伝達研修してほしいと要望があった。今後、指導薬剤師の人数は増やすことが課題だと報告された。

(谷川常務理事)

- ア. 予算等打合せ  
2月10日(木) 於 広島県薬剤師会館  
会長、各副会長、専務理事、会計担当役員が出席し、平成23年度予算案について検討し、予算書を作成したと報告された。

(平田常務理事)

- ア. 平成22年度第2回広島県医療審議会  
2月7日(月) 於 県庁・北館  
広島県医療審議会会長に、松浦雄一郎委員が選任されたこと、基準病床数の見直し、病院の増床、広島県地域医療再生計画の推進等について検討したと報告された。

(二川常務理事)

- ア. 平成22年度第10回公益社団法人化特別委員会  
2月17日(木) 於 広島県薬剤師会館  
今後のスケジュール確認、各支部から支部会則等を提出してもらうことが決まったと報告された。

(石原事務局長)

- ア. 第27回北方領土返還要求広島県民大会  
2月3日(水) 於 広島県民文化センター  
大会終了後、中区本通でチラシ等を配布したと報告された。
- イ. 中国財務局及び県庁訪問  
2月7日(金) 於 中国財務局、県庁  
中国財務局へ公益随意契約の適格性に係る書

類を提出し、ヒアリングを受けたこと、詳細は、別途指示があると報告された。広島県職員労働組合で、職給料表を受け取ったと報告された。

- ウ. 平成22年度第2回広島県保険者協議会  
2月9日(水) 於 国保会館  
来年度の事業計画、予算等について検討し、本会のジェネリック推進事業を紹介したと報告された。
- エ. 広島県地域医療再生計画ヒアリング  
2月14日(月) 於 県庁・保健医療部長室  
新地域医療再生計画策定スケジュールについて説明を受け、計画提出の締切が5月16日に延期になったこと、チーム医療ワーキング委員の推薦依頼があったと報告された。
- オ. 検査業務について  
2月15日(火) 於 県庁・食品生活衛生課外  
2月16日(水) 於 広島県保健環境センター  
検査センターの検査業務を見直すため話を聞きに行ったと報告された。  
また、会長が、早々に、検査センター委員会を開催するよう指示された。

## 2. その他の委員会等報告事項

- (1) 日本薬剤師会平成22年度薬剤師会薬事情報センター実務担当者等研修会  
1月28日(金) 於 東京・日薬  
豊見専務理事から、都道府県薬事情報センターは、情報の共有化を目的とし、全国5グループに分け、プロジェクトを推進していること、今回、その代表者から活動報告があったこと、このうち、D I 最強リンク集及びD I 図書館が、今後、日薬会員ホームページで公開予定であると報告された。

## 3. 審議事項

- (1) 平成22年度会務及び事業報告、収支計算書について(別冊)(野村副会長)
- (2) 平成22年度収支補正予算書(案)について(別冊)(野村副会長)
- (3) 平成23年度事業計画(案)、収支予算書(案)について(別冊)(野村副会長)  
別冊の配布資料の内容を確認の上、事務局へ報告することとされた。
- (4) 会員証の発行について(豊見専務理事)  
現在の会員証は、約200名持っているが、新規に所持することができないこと、非接触ICカードを新しい会員証として、研修受講シールの代わりに、カードで研修参加の読み込みができる機能を兼ねるものを作成しようと考えていることなどを説明された。
- (5) 支部長・理事合同会議について(野村副会長)  
2月19日(土) 午後1時30分～  
各提出議案について、了承された。
- (6) 全体理事会について(野村副会長)  
2月24日(木) 午後7時～  
各提出議案について、了承された。
- (7) 第40回広島県薬剤師会通常代議員会について

(野村副会長)

3月20日(日) 午後1時～

次第について、各報告・各議案の担当者の確認、司会を平田常務理事、開会の辞を木平副会長、閉会の辞を大塚副会長と決定された。

- (8) 第40回広島県薬剤師会通常総会の開催について(野村副会長)  
5月21日(土) 午後3時30分から開催することが決定された。また、総会前の午後2時から支部長・理事合同会議を開催することが決定された。
- (9) 地域医療再生計画に係る「チーム医療ワーキング」委員の推薦について(野村副会長)  
木平副会長を推薦することとされた。
- (10) 健康ひろしま21推進協議会委員の推薦について(野村副会長)  
日 時: 3月17日(木)  
午後1時30分～3時30分  
会 場: 県庁  
推薦委員: 平井紀美恵(現在)  
野村副会長を推薦すること、3月17日(木)の同協議会へ出席することとされた。

## 4. その他

- (1) 次回常務理事会の開催について(野村副会長)  
3月17日(木) 午後6時(議事要旨作製責任者 藤山りさ常務理事)
- (2) 平成23年度「看護の日」広島県大会にかかる後援について(野村副会長)  
日 時: 5月14日(土) 午後1時15分～  
会 場: 広島県民文化センター  
回答が2月15日となっていたため、会長決裁にて後援承諾したと報告された。
- (3) 職員給与の改定について  
広島県職員給与の改定に準じ、俸給と地域手当及び期末・勤勉手当の支給率を改定すると報告された。また、2月24日(木)に開催する全体理事会で承認を得ること、期末手当及び勤勉手当の引き下げは、平成23年度から適用すると報告された。
- (4) 食育フォーラムin広島の開催について(野村副会長)  
日 時: 3月5日(土)  
午後1時30分～3時45分  
場 所: アステールプラザ  
開催が紹介された。
- (5) 第22回広島県プライマリ・ケア研究会について(野村副会長)  
日 時: 3月10日(木) 午後7時～  
場 所: 広島医師会館  
開催が紹介された。
- (6) 乳幼児事故防止担当者研修会について(野村副会長)  
日 時: 3月12日(土) 午前10時～  
場 所: 広島県健康福祉センター  
開催が紹介された。
- (7) 平成22年度在宅緩和ケア講演会について(野村副会長)

- 期 時：3月17日（木） 午後2時～4時  
場 所：広島国際会議場  
開催が紹介された。
- (8) がん検診へ行こうよ推進会議がん講演会について（野村副会長）  
日 時：3月21日（月） 午後2時～4時  
場 所：広島国際会議場  
開催が紹介された。
- (9) 第14回日本医薬品情報学会総会・学術大会について（野村副会長）  
期 間：7月23日（土）・24日（日）  
場 所：タワーホール船堀  
開催が紹介された。
- (10) 広島県薬剤師研修協議会新カリキュラム対応ビデオ研修会について  
谷川常務理事から、追加として、2月27日（日）午後1時から広島県薬剤師会館において、広島県薬剤師研修協議会新カリキュラム対応ビデオ研修会を開催すること、役員の参加要望があり、参加希望の方は、日本薬剤師研修センターのHPから受講申込をしてくださいと補足された。
- (11) その他行事予定  
ア. 辻・本郷税理士事務所公益法人制度改革公開セミナー  
2月18日（金） 於 広島国際会議場  
イ. 平成22年度広島県地域保健対策協議会事業WG  
2月18日（金）  
ウ. 平成22年度日本薬剤師会農林水産薬事薬剤師部会  
2月18日（金） 於 大阪・大阪府薬剤師会館  
エ. 広報委員会  
2月18日（金）  
オ. 支部長・理事合同会議  
2月19日（土）  
カ. 宇川英二氏の受章を祝う会  
2月19日（土） 於 全日空ホテルクレメント高松  
キ. 広島県トレーナー協会平成22年度「ドーピング防止活動」講習会  
2月20日（日） 於 広島大学医学部保健学研究科棟（予定）  
ク. 日本薬剤師会常務理事打合せ  
2月22日（火） 於 東京・日薬  
ケ. 広島県緩和ケア支援センター平成22年度緩和ケア人材育成検討会  
2月23日（水） 於 広島県緩和ケア支援センター  
コ. 全体理事会  
2月24日（木）  
サ. 広島県地域医療対策協議会第3回委員会  
2月25日（金） 於 広島医師会館  
シ. 日本薬剤師会平成22年度第8回理事会  
2月25日（金） 於 東京・日薬  
ス. 広島県輸血療法委員会情報交換会  
2月26日（土） 於 ホテルグランヴィア広島
- セ. 第76回日本薬剤師会臨時総会  
2月26日（土）・27日（日） 於 ホテルイースト21  
ソ. 広島県薬剤師研修協議会新カリキュラム対応ビデオ研修会  
2月27日（日） 於 広島県薬剤師会館  
タ. 平成22年度日本薬剤師会行政薬剤師部会講演会  
3月4日（金） 於 東京・長井記念ホール  
チ. 平成22年度第2回ひろしま食育・健康づくり実行委員会ワーキング会議  
3月4日（金） 於 国保会館  
ツ. 日本薬剤師会平成22年度介護保険・在宅医療等担当者全国会議  
3月5日（土） 於 東京  
テ. 中国・四国地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関評議員会・運営委員会合同会議  
3月5日（土） 於 サン・ビーチ岡山  
ト. 食育フォーラムin広島  
3月5日（土） 於 アステールプラザ  
ナ. 平成22年度橋渡し研究支援推進プログラム成果報告会  
3月5日（土） 於 神戸・先端医療振興財団臨床研究情報センター  
ニ. 第96回薬剤師国家試験  
3月5日（土）・6日（日）  
ヌ. 平成22年度日本薬剤師会製薬薬剤師部会研修会  
3月7日（月） 於 都市センターホテル  
ネ. 広報委員会  
3月8日（火）  
ノ. 日本薬剤師会常務理事打合せ  
3月8日（火） 於 東京・日薬  
ハ. 日本薬剤師会ドーピング防止に関する特別委員会  
3月9日（水） 於 東京・日薬  
ヒ. 広島大学4年生並びに大学院修了生卒業・修了記念パーティー  
3月9日（水） 於 グランドプリンスホテル広島  
フ. 第29回病院・薬局実務実習中国・四国地区調整機構会議  
3月10日（木） 於 就実大学  
ヘ. 平成22年度第2回ひろしま食育・健康づくり実行委員会  
3月10日（木） 於 国保会館  
ホ. 第22回広島県プライマリ・ケア研究会  
3月10日（木） 於 広島医師会館  
マ. 日本薬剤師会職能対策委員会医薬分業検討会（第4回）  
3月11日（金） 於 東京・日薬  
ミ. 平成22年度日本薬剤師会行政薬剤師部会講演会  
3月11日（金） 於 大阪・大阪府薬剤師会館  
ム. 平成22年度医薬分業指導者協議会  
3月11日（金） 於 厚生労働省講堂  
メ. 乳幼児事故防止担当者研修会

- 3月12日（土） 於 広島県健康福祉センター
- モ. 第6回広島胃腸と経腸栄養療法研究会  
3月12日（土） 於 広島国際会議場
- ヤ. 広島県地域保健対策協議会研修会  
3月14日（月） 於 広島県薬剤師会館
- ユ. 日本薬剤師会常務理事打合会  
3月15日（火） 於 東京・日薬
- ヨ. 第2回広島県新地域医療再生計画推進委員会  
3月16日（水） 於 県庁
- ラ. 平成22年度在宅緩和ケア講演会  
3月17日（木） 於 広島国際会議場
- リ. 常務理事会  
3月17日（木）
- ル. 第3回広島県乳幼児事故防止等検討専門委員会  
3月17日（木） 於 県庁
- レ. 日本予防医学リスクマネジメント学会  
3月17日（木）・18日（金） 於 九州大学  
医学部百年記念講堂
- ロ. 第40回広島県通常代議員会  
3月20日（日）
- ワ. がん検診へ行こうよ推進会議がん講演会  
3月21日（月） 於 広島国際会議場
- ン. 安佐医師会夜間急病センター開所式  
3月21日（月） 於 安佐医師会夜間急病センター
- A. 日本薬剤師会常務理事打合会  
3月22日（火） 於 東京・日薬
- B. 認定基準薬局制度運営協議会  
3月24日（木）
- C. ピンクリボンde広響  
3月25日（金）
- D. 広島県地域保健対策協議会平成22年度第2回  
定例理事会  
3月28日（月） 於 リーガロイヤルホテル  
広島
- E. 日本薬剤師会常務理事打合会  
3月29日（火） 於 東京・日薬
- F. 日本薬剤師会常務理事打合会  
4月5日（火） 於 東京・日薬
- G. 日本薬剤師会常務理事打合会  
4月12日（火） 於 東京・日薬
- H. 日本薬剤師会平成23年度第1回理事会  
4月12日（火） 於 東京・日薬
- I. 日本薬剤師会平成23年度第1回都道府県会長  
協議会（会長会）  
4月13日（水） 於 東京・日薬
- J. 日本薬剤師会常務理事打合会  
4月19日（火） 於 東京・日薬
- K. 日本薬剤師会常務理事打合会  
4月26日（火） 於 東京・日薬
- L. 広島大学霞室内管弦楽団2011SpringConcert  
4月30日（土） 於 広島市南区民文化センター



# 県薬日誌

日 付	行 事 内 容
2月22日 火	・三原支部松尾事務局長来会 ・日本薬剤師会常務理事打合会 (東京)
23日 水	広島県緩和ケア支援センター平成22年度緩和ケア人材育成検討会 (広島県緩和ケア支援センター)
24日 木	・三原支部松尾事務局長来会→県庁訪問 (県庁) ・中国・四国厚生局指導監査課長来会 ・全体理事会
25日 金	・日本薬剤師会平成22年度第8回理事会 (東京) ・広島県地域医療対策協議会第3回委員会 (広島医師会館)
26日 土	・広島県輸血療法委員会情報交換会 (ホテルグランヴィア広島)
26・27日	・第76回日本薬剤師会臨時総会 (東京)
27日 日	・広島県薬剤師研修協議会新カリキュラム対応ビデオ研修会
3/1～3/8	女性の健康週間
3/1～3/31	平成22年度自殺対策強化月間
3月1日 火	三原支部松尾事務局長来会→県庁訪問 (県庁)
3日 木	検査センター委員会
4日 金	・三原医薬分業支援センター業務 (中国四国厚生局・県庁) ・平成22年度第2回ひろしま食育・健康づくり実行委員会ワーキング会議 (国保会館) ・平成22年度日本薬剤師会行政薬剤師部会講演会 (東京)
5日 土	・日本薬剤師会平成22年度介護保険・在宅医療等担当者全国会議 (東京) ・中国・四国地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関評議員会・運営委員会合同会議 (岡山) ・第96回薬剤師国家試験

日 付	行 事 内 容
6日 日	・第96回薬剤師国家試験 ・事業打合せ
7日 月	・平成22年度日本薬剤師会製薬薬剤師部会研修会 (都市センターホテル) ・平成22年度広島県地域保健対策協議会事業WG
8日 火	・日本薬剤師会常務理事打合会 (東京) ・広報委員会
9日 水	・日本薬剤師会ドーピング防止に関する特別委員会 (東京) ・広島県医療安全推進協議会 (県庁・北館) ・広島大学4年生並びに大学院修了生卒業・修了記念パーティー (グランドプリンスホテル広島)
10日 木	・第29回病院・薬局実務実習中国・四国地区調整機構会議 (就実大学) ・平成22年度第2回ひろしま食育・健康づくり実行委員会 (国保会館) ・第22回広島プライマリ・ケア研究会 (広島医師会館)
11日 金	・平成22年度日本薬剤師会行政薬剤師部会講演会 (大阪) ・日本薬剤師会職能対策員会医薬分業検討会 (第4回) (東京) ・平成22年度医薬分業指導者協議会 (厚生労働省講堂) ・広島県総務局総合特区プロジェクトチーム来会 ・平成22年度第11回公益社団法人化特別委員会
12日 土	第6回広島胃腸と経腸栄養療法研究会 (広島国際会議場)
13日 日	NPO法人広島県介護支援専門員協会平成22年度定期総会 (広島県健康福祉センター)
14日 月	・県庁訪問 (県庁) ・広島県健康福祉センター来会 ・正・副会長会議 ・常務理事会打合会 ・広島県地域保健対策協議会研修会
15日 火	・日本薬剤師会常務理事打合会 (東京) ・平成22年度第3回広島県医療費適正化計画中間評価検討委員会 (県庁・北館) ・広島エフエム放送株来会 ・中国新聞社義援金持参 (中国新聞社)



日 付		行 事 内 容
16日	水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度H I V研修会打合会</li> <li>・第2回広島県新地域医療再生計画推進委員会（県庁）</li> </ul>
17日	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常務理事会</li> <li>・広島県社会保険診療報酬支払基金来会</li> <li>・広島県歯科医師会訪問（広島県歯科医師会館）</li> <li>・検査センター活性化検討会</li> <li>・医薬品関連施設見学会（株）エバルス広島物流センター）</li> <li>・広島県乳幼児事故防止等検討専門委員会（県庁）</li> </ul>
18日	金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本薬剤師会薬局製剤・漢方委員会（東京）</li> <li>・DMA T等活動報告及び医療救護班の編成に向けた検討会議（県庁・本館）</li> </ul>
20日	日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国四国厚生局及び広島県による社会保険医療担当者の集団指導（広島市東区民文化センター）</li> <li>・業務分担③担当理事打合会</li> <li>・第40回広島県薬剤師会通常代議員会</li> </ul>
22日	火	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本薬剤師会常務理事打合会（東京）</li> </ul>
24日	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J M A T 出発見送り（広島駅新幹線口）</li> <li>・R C C フロンティア来会</li> <li>・広島県保健医療部医療保険課来会</li> <li>・認定基準薬局制度運営協議会</li> <li>・6年制薬局実務実習受け入れ説明会（福山まなびの館ローズコム）</li> <li>・日本薬剤師会環境衛生委員会（東京）</li> </ul>
25日	金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国新聞社取材（健伸薬局よこた店）</li> <li>・日本薬剤師会東北地方太平洋沖地震災害担当者会議（東京）</li> </ul>
29日	火	<ul style="list-style-type: none"> <li>・J M A T 帰広記者会見立会（県庁・記者クラブ）</li> <li>・日本薬剤師会常務理事打合会（東京）</li> </ul>
31日	木	福山支部総会 （広島県民文化センターふくやま）

日 付		行 事 内 容
4月1日	金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島県健康福祉局長訪問（県庁）</li> <li>・広島県保健医療部医療保険課来会</li> <li>・広島県社会保険診療報酬支払基金来会</li> </ul>
2日	土	J M A T 伝達事項打合会
5日	火	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島県総務管理部文化芸術課来会</li> <li>・日本薬剤師会常務理事打合会（東京）</li> </ul>
6日	水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（株）エバルス社長来会</li> <li>・広島県歯科医師会長等との協議（旬魚きっ川）</li> <li>・広報委員会</li> </ul>
7日	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島県後期高齢者医療広域連合来会</li> <li>・二葉の里地区まちづくり計画情報交換会（県庁）</li> </ul>
8日	金	中国四国厚生局来会
11日	月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公益社団法人化特別委員会打合会</li> <li>・日本薬剤師会製薬薬剤師部会全体幹事会（平成23年度第1回）（東京）</li> </ul>
12日	火	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本薬剤師会平成23年度第1回理事会（東京）</li> <li>・日本薬剤師会東日本大震災災害対策本部会議（東京）</li> </ul>
13日	水	広島県後期高齢者医療広域連合来会
14日	木	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島県健康福祉局健康対策課来会</li> <li>・広島県総務局総合特区プロジェクトチーム来会</li> <li>・6年制薬局実務実習受け入れ説明会</li> </ul>
15日	金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島県保健医療部業務課訪問（県庁）</li> <li>・災害派遣に係る協議（県庁）</li> <li>・広島県立総合精神保健福祉センター（新担当者）来会</li> <li>・劇団四季来会</li> </ul>
18日	月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・常務理事会打合会</li> <li>・業務分担③担当理事打合会・薬局実習受け入れ実行委員会合同会議</li> </ul>
19日	火	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本薬剤師会常務理事打合会（東京）</li> <li>・ジェネリック先進事例調査</li> <li>・平成23年度第1回公益社団法人化特別委員会</li> </ul>
20日	水	広報委員会

## 行事予定（平成23年5～6月）

5/1(日)～6/30(木) 平成23年度不正大麻・けし撲滅運動

5月10日(火) 日本薬剤師会常務理事打合会(東京)

5月11日(水) 日本薬剤師会平成23年度第1回都道府県会長協議会(会長会)(東京)

5月13日(月) 全国公益法人協会中国地区5月期公益法人定例講座(KKRホテル広島)

5月14日(土) 平成23年度「看護の日」広島県大会(広島県民文化センター)

// 広島県病院薬剤師会総会(エソール広島)

5月17日(火) 日本薬剤師会常務理事打合会(東京)

// 日本薬剤師会平成23年度第2回理事会(東京)

// 広報委員会

5月19日(木) 常務理事会

5月21日(土) 支部長・理事合同会議

// 第40回広島県薬剤師会通常総会

5月21日(土) } 子育て応援団すこやか2011(広島グリーンアリーナ)  
5月22日(日) }

5月22日(日) 第96回全国禁煙アドバイザー育成講習会 in 尾道(尾道市総合福祉センター)

5月24日(火) 日本薬剤師会常務理事打合会(東京)

5月28日(土) 呉支部総会(呉阪急ホテル)

5月29日(日) 安芸支部総会(サンピア・アキ)

5月31日(火) 日本薬剤師会常務理事打合会(東京)

6月4日(土) IPPNW 日本支部(JPPNW) 理事会・総会、広島県支部総会(広島医師会館)

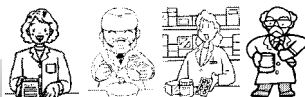
// ピンクリボン de カーブ(オリックス戦)(MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島)

// 中国・四国薬剤師会会長会議(祖谷温泉(秘境の湯))

## 行事予定（平成23年6～7月）

- 6月5日(日) 認定基準薬局新規申請及び更新薬局、保険薬局指定申請薬局との共同研修会  
// 第52回原子爆弾後障害研究会(ホテル八丁堀シャンテ)
- 6月7日(火) 日本薬剤師会常務理事打合会(東京)
- 6月10日(金) 平成23年度広島県四師会役員連絡協議会(ANA クラウンプラザホテル)
- 6月11日(土) 認知症の人と家族の会広島県支部第30回記念大会(広島県民文化センター)
- 6月14日(火) 日本薬剤師会常務理事打合会(東京)
- 6月16日(木) 常務理事会
- 6月18日(土) 尾道支部総会(総会終了後、懇親会：レストラン ロセア)(ナカタ・マツ  
クコーポレーション)
- 6月18日(土) } 第28回日本TDM学会・学術大会(広島国際会議場)  
6月19日(日) }
- 6月21日(火) 日本薬剤師会常務理事打合会(東京)
- 6月22日(水) 日本薬剤師会日薬賞等選考委員会(東京)
- // 日本薬剤師会平成23年度第3回理事会(東京)
- 6月26日(日) 平成22年度抗 HIV 薬服薬指導研修会
- 6月28日(火) 日本薬剤師会常務理事打合会(東京)
- 7月2日(土) } 平成23年度病院診療所薬剤師研修会(広島国際会議場)  
7月3日(日) }
- 7/2(土)～8/31(水) ひろしま夏の芸術祭2011
- 7月5日(火) 日本薬剤師会常務理事打合会(東京)
- 7月12日(火) 日本薬剤師会常務理事打合会(東京)

## 会員紹介 ⑥⑥



安芸支部

く ぼ ひろ こ  
久 保 裕 子

今年はスノーボードとバドミントンを始めました。日々勉強に励み、薬剤師として社会に貢献することはもちろん、プライベートでも色々な事にチャレンジして公私共に充実させていきたいと思います。よろしくお願い致します。



安芸支部

やま かわ り え  
山 川 理 恵

昨年8月に、3週間派遣で地元の倉敷市から広島市へ参りました。そして、その時お世話になった薬局の方々と御縁があり、引き続き広島に居座ることになりました。今迄は、内科、小児科メインの薬局だったので現在の精神科という分野は私にとって新しく、大変勉強になります。

趣味は海外旅行、英語の勉強で、今は英語で書かれた本を読むことが流行っています。まだまだ難しい物は読めませんが、将来英語の話せる薬剤師を目指しております。宜しくお願い致します。



安佐支部

ふじ い ただ ゆき  
藤 井 薫 之

名城大学卒業後名古屋で勤務と薬局経営で32年を過ごし昨年8月に勇退を決意し帰郷しました。自局で1期の実務実習生を送り出せた事は誇りです。これからは同期の妻と広島での生活を楽しんで行こうと考えております。



安佐支部

か とう ひろ き  
加 藤 広 毅

東日本大震災で被災された方々にお見舞申し上げます。被災された方の服用中の薬を確認できない事が多いようです。お薬手帳があれば、服用中の薬もわかり、薬の支給も速やかになるのではないかと感じています。



呉支部

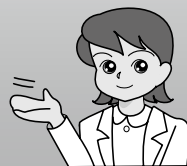
か がわ しょう  
加 川 翔

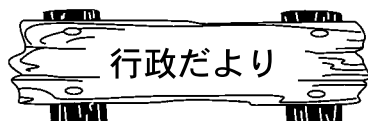
今年の1月から調剤薬局で働いています。以前営業職だったので立場が逆になり新鮮な日々を送っています。まだまだ薬局の皆様の足をひっぱってばかりですが、早く仕事になれるように頑張っていきたいと思います。

## 会員紹介

原稿募集中

「会員紹介」へ投稿をお待ちしております。





## 薬務課の人事異動

平成23年4月1日

現 職	転 出	
	氏 名	異 動 先
健康福祉局保健医療部 業務課長	仲本 典正	健康福祉局業務課長
健康福祉局保健医療部 業務課主任主査	難波 利元	西部厚生環境事務所呉 支所主幹
健康福祉局保健医療部 業務課主任主査	應和 卓治	健康福祉局業務課主幹
健康福祉局保健医療部 業務課主任主査	賀藤 寛喜	健康福祉局業務課主幹
健康福祉局保健医療部 業務課主任専門員	廣 實 浩一	東部厚生環境事務所生活衛生 課主幹（兼）東部厚生環境事 務所生活衛生課環境薬事係長
健康福祉局保健医療部 業務課専門員	根間 直之	健康福祉局障害者支援 課専門員
健康福祉局保健医療部 業務課主任技師	町 一希	健康福祉局業務課主任
健康福祉局保健医療部 業務課技師	小川 加代	退職

新 職	転 入	
	氏 名	現 職
健康福祉局業務課長	仲本 典正	健康福祉局保健医療部 業務課長
健康福祉局業務課主幹	角田 静香	健康福祉局保健医療部 食品生活衛生課主任専 門員
健康福祉局業務課主幹	海嶋 照美	健康福祉局保健医療部 健康対策課主任主査
健康福祉局業務課主幹	應和 卓治	健康福祉局保健医療部 業務課主任主査
健康福祉局業務課主幹	賀藤 寛喜	健康福祉局保健医療部 業務課主任主査
健康福祉局業務課専門員	佐々木稔浩	健康福祉局保健医療部 健康対策課専門員
健康福祉局業務課専門員	種本 康成	健康福祉局保健医療部健 康対策課専門員
健康福祉局業務課主任	児玉 博臣	健康福祉局総務管理部 健康福祉総務課主任技 師
健康福祉局業務課主任	町 一希	健康福祉局保健医療部 業務課主任技師
健康福祉局業務課主任 （エルダースタッフ）	中村 能治	採 用

## 支部だより

広島佐伯支部



### 〈広島佐伯支部〉

樽谷 嘉久

平成23年3月17日（木）19：00～佐伯区文化センターに於いて、広島市佐伯区医師会主催のMRM（Medical Risk Management）講演会が

開催され、薬剤師の立場から話をさせていただきました。医師21名、コメディカル65名、学生1名、計87名の出席がありました。演題は「院外薬局からの医療安全への提言」です。①お薬手帳②ヒヤリ・ハット③薬剤師ノート④デジタルカメラ監査

と分けて講演を進めました。

お薬手帳に関して、お薬の自己管理のみでなく、救急時、災害時等の有用性及び必要性を出席者の方々に説明してまいりました。お薬手帳の起源は、必要に迫られ能動的に薬剤師が始めたことや、阪神淡路大震災の災害時に必要性を再確認されたことなど、現在完了進行形（have been～ing）での必要性を伝えて参りました。

また、薬剤師（薬局）手帳でなく、お薬手帳であるとの認識を持って頂く為、今まで以上に、医師には処置剤（点滴剤や吸入剤等）の記入や検査結果等の記載をして頂ければ、スムーズな投薬指導が可能な事や、更なるムンテラ上手な薬剤師が育つとも伝えました。医師のみならずコメディカルによる書き込みの推奨も伝え、情報の共有の必要性を訴えました。実際患者さん自身による体調変化の記入も投薬指導時の説明に大きく役立つ旨を伝えました。

公益財団法人 日本医療機能評価機構の薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業の報告画面保存による薬局内での有効利用を伝えました。薬局内での申し合わせ時の既歴調剤過誤報告を示した未然注意や、新任者への注意勧告の材料になり得ると、入力画面や確認画面を示しながら説明致しました。

広島佐伯薬剤師会で立ち上げたウィキペディア・薬剤師ノートによる薬剤師間での情報の共有として授乳婦の薬剤選別に利用する画面を辿りながら説明致しました。今回東北地方震災に於いて利用しやすいであろう、症状別に用いられる薬剤写真の一覧が登録者の有志により作成、UPされ、実際に被災地に届けられました。これからも有用なHPとなるよう協力をお願いをいたしました。

千田町急病センターにも採用されているデジタルカメラとPCのネットワーク共有を利用した監査システムに関しても講演致しました。リアルタイムに、視点を変えての監査方法にとってもご興味を持たれました。

その他、作法化した散剤監査の手順や薬剤取り違い防止の色線分け（家族間・使途別）についても述べ、駆け足でしたが、1時間強の講演をご静聴頂きました。



## 諸団体だより

### 広島県青年薬剤師会

副会長 辻 哲也



広島県青年薬剤師会3月の「知っペン月イチ勉強会」は、講師に広島大学病院の山中和子先生をお迎えして、「眼科疾患」をテーマにお話いただきました。

た。実際に眼科病棟で活躍されている山中先生の実例を交えた講義は、点眼補助器具「らくらく点眼」の紹介や、「なぜ多くの点眼薬の点眼間隔は5分なのか」、「手術前における抗凝固薬・抗血小板薬の中止は必要か」、「点眼容器本体にゴムを巻いて薬剤を区別する」等、明日からでも使える知識やテクニックが満載でした。またいつも以上に質問コーナーが白熱し、15分近くやりとりが



行われました。やはり参加された皆さんにとって、目薬や眼科疾患は身近なものでありながら、講義形式で知識を整理する機会が少なかったのではないかと思います。これからも広島県青年薬剤師会では、「頭の中を整理し・明日から使える知識を・いざという時にピンと来る形で」参加される皆さまに提供できるような勉強会を行う所存です。

さてここからは告知を2本。まずは昨年大好評をいただきました大澤光司先生の「コミュニケーションスキル」第2弾です！第1弾では、コミュニケーションスキルを磨くために役立つコーチングの考え方を学び、実際に隣の席の方とロールプレイ形式で練習しながら感覚をつかんでいくという方法で基礎を学んだと思います。今回はその続きをお話いただく予定です。もちろん、前回参加できなかった方も、大澤ワールドへの入場はバリアフリーですから、どうぞお気軽にご参加ください。最初の15分、いやもっと短い時間でとりこになるはずです。明日から使いたくなる情報満載ですから。開催は7月31日（日）です。皆さまのご参加をお待ちしております。

そしてもう1本の告知は「知っピン月イチ勉強会」です。今回は「骨粗鬆症&高尿酸血症」と題して八幡アゼリア薬局の池田和彦先生と、私こと辻（哲）でお送りします。90分で2つの疾患と薬剤を一気に整理しましょう。開催は5月12日（木）と、いつもの第2水曜日ではございませんのでお間違えのないようご注意ください。

最後になりましたが、この度の東北関東大震災で被災された皆さまにおかれましては、謹んでお見舞い申し上げます。広島県青年薬剤師会では、必要経費を除いた4月の「知っピン月イチ勉強会」の収益を、日本赤十字社を通じて送らせていただきました。また、この震災の翌日には、長野県栄村でも最大震度6強の地震が3回も立て続けに起こりました。人口2,500人の高齢の村は、住宅の多くが全壊または半壊という状況です。さら

に霧島連山新燃岳周辺では、いまだに噴煙や土石流、火砕流への不安とともに暮らしている人たちがたくさんいます。広島からできること、自分一人でできることは数少ないかもしれませんが、皆さん「ここをひとつに！」の思いを持ち続けていただければと思います。



## 広島県女性薬剤師会

会長 松村 智子



この度の東日本大震災の被害を受けられた皆様、ご関係の皆様には心よりお見舞い申し上げます。テレビでその様子を見ると本当に心が痛みます。またボランティアとして、現地でご活躍された薬剤師さんのご報告には感銘を受け、ただただ頭の下がる思いです。

さて、女性薬剤師会は2月19日第14回研修会を開催しました。ハイリスク薬「抗うつ剤について」を勉強しました。うつは心の風邪ともいわれ、他人からみると本当にちょっとしたことで発症することがあります。また、さまざまな症状としてあらわれることもあるので、神経科だけでなく他

科からの処方でその薬物治療に携わる機会があります。留意しなければならないポイントや相互作用などを詳しく学びました。

3月19日すずめ勉強会をしました。これはエソール2Fで行なっている小グループの勉強会です。今回は食品の裏側の警告を発信しているある講演会内容の読み合わせをしました。食品添加物は必要なものではありませんが、少し多すぎる懸念があります。現在の国が認めているものとはいえ、詳しく知ると怖くなります。食事は生命の基本です。もう少し大切にしたいなりました。すずめ勉強会は非定期ですが、様々なテーマで勉強する会です。自分たちで調べたことや、最近気になることを話しあっています。次回は5月21日です。どなたでも無料で参加できますので興味あるかたは女性薬剤師会までお問い合わせ下さい。

5月29日（日）9時～救命救急講習会を開催します。消防署の救命士の講義のあと、人形を使って実習をします。女性薬剤師会では毎年開催していますが、同じことを実習して頭では理解しているつもりでもスムーズな行動はなかなかできません。ましてや、もしもの現場で役立つかどうか不安です。実習の関係で30名と限らせていただきますが、参加申し込み方法はまたご連絡します。ぜひご参加ください。

## 広島漢方研究会

### 副理事長 菊一 環子



広島漢方研究会が加盟している全国組織・社団法人日本漢方交流会では、2月27日企画部主催で、“一般公開特別講座・初学者のための漢方運用講座in関西”をチサンホテル新大阪で開催しました。9月に東京で、2月最終日曜日に大阪でと毎年開催、12回目となり全国より65名余りの参加者で有意義な勉強会となりました。

午前10時より漢方基礎理論「氣病と氣剤」を岐阜漢方研究会・太田順康先生の講演。漢方医学独特の言葉は現代用語にない使い方が多く、初学者の戸惑いの基になっています。特に漢方独特の考え方である、氣・血・水の「氣」について基本的な考え方、望診・問診上の留意的・繁用される薬味（生薬）や漢方処方の店頭での応用について解説がありました。つづいて「小児の病に対する漢方処方の店頭応用」に入り、小児に特有の病気への対応も含めて、漢方処方の応用を問診・望診・問診上の留意点を中心にお客様に満足していただける漢方処方の選び方を、平易な言葉で判り易く解説いただきました。初心者も“なるほど、これなら”と元氣とやる氣を得たのではないのでしょうか。

3講座目は「氣に関わる生薬についての最近の話題」と題して、名古屋市立大学准教授・本会理事の牧野利明先生の講演。氣に関わる生薬としては日本漢方における氣剤すなわち「理氣剤」に属する蘇葉・香附子・厚朴・陳皮・枳実のグループと、「氣虚」に対して氣を補う「補氣薬」に属する人參・黃耆・白朮・甘草・大棗などを挙げ、それらに関わる最近の話題と演者自身の研究について紹介がありました。理論に終らず実際の臨床でどうするかがとても興味深く話されました。

西洋医学と背景を異にする東洋医学を修得する入口として、又病名漢方では成し得ない疾患の改善をどう考えるか、服薬指導の時に漢方的な考え方がどう生かせるか等々の模索が参加者の熱心な姿勢から窺えました。

日本漢方交流会では他に5月慢性・難病フォーラム・10月学術総会・11月漢方薬剤師育成研修会・1月冬期合宿講習会等開催しております。参加なさってみては如何でしょうか。

なお広島漢方研究会では、本年7月10日・総会には東京女子医大・東洋医学研究所 所長 佐藤弘先生、9月11日・東洞祭には埼玉県秩父市の内科医院 院長 大友一夫先生の特別講演を予定しております。是非参加され漢方の話を聞いてください。



## 広島県学校薬剤師会

会長 永野 孝夫



平成23年3月11日に発生した東日本大震災については、会員の皆様にも大変ご心配、色々なご配慮を頂き感謝致しております。

私も当日は、日薬の8階で7分間揺れに揺すられ生涯初めての経験を致しました。

数千の学校がなんらかの被害を受けた状況の中、被災地の学校環境衛生活動復興支援を目的として日学薬が義援金窓口を開設しました。

本会としても正副会長先決で開設後直ちに10万円を振り込みました。募金される方々は、下記の窓口へお願い致します。

義援金窓口

◆郵便振替（郵便局での振り込み）

口座記号番号 10160 96989411

◆郵貯銀行（他金融機関からの振り込み）

店番018普通口座 口座番号9698941

◆口座加入者名 ニホンガッコウヤクザイシカイ

◆取扱期間平成23年5月30日迄

又、会議、講習会、大会等が災害によって中止変更されておりますが決定次第お知らせ致します。

なお3月23日に予定されていた日本薬剤師会全国学校薬剤師担当者会議の演題については次の通りでした。

- 1、「学校給食等大量調理施設の衛生管理について」
- 2、「スポーツファーマシストについて」
- 3、「平成22年度学校薬剤師部会活動報告」
- 4、「学校薬剤師の諸課題等について」

被災した学校の適切な学校環境及び学校給食の衛生管理の確保については、4月5日発の文部科学省の通知文をホームページなどでご覧下さい。

## 広島医薬品卸協同組合

〈日本医薬品卸勤務薬剤師会広島県支部〉

MRを卒業して卸勤務薬剤師へ

(株)アステム 広島支店 井上 勉



08年秋に37年間勤めた武田薬品を退職して、翌年1月から(株)アステム 岩国支店に勤めることになりました。

そして、昨年4月より前任の棚田先生と入れ替わって広島支店で勤務しています。

メーカーから卸に、初めての経験ばかりで、瞬く間に過ぎた2年間ですが、医薬品の流通は薬事法や、JGSP（Japanese Good Supplying Practice・医薬品の安定供給と品質管理に関する自主規範）に基づいて行われているのが良く分かりました。

管理薬剤師業務ですが、麻薬や覚醒剤原料の譲渡・譲受証の作成や在庫管理は慎重にやっていますが、幸いに大きな間違いは起こしていません。

又、毎日、得意先やMSからありとあらゆる問い合わせがあり、初めて聞く薬や疾病の名前も多いですが、先輩の薬剤師さんに調べ方を聞いて、社内資料やインターネットで調べたり、時には古巣の武田薬品に問い合わせたりして対応しています。MRのときの経験から出来るだけ速く回答し、あとで持参できるものを用意するように心掛けています。

勉強会への参加や新人MSの研修・テスト等もしていますが、MRの時に生活習慣病や感染症から麻薬まで、比較的幅広い基礎知識を教え込まれているので助かっていると思います。今も、頼られる管理薬剤師を目指して日々勉強中です。

とは言うものの、ハードだったMR時代と比べると、時間的には余裕があり、休日勤務は皆無で、時間外勤務も殆どないのはとても有難いです。最近、週末毎に前の会社を退職の年に光市の実家の跡に建てた別宅で野菜を作ったり、昔なじみの友達と旧交を温めたりして楽しんでいます。

## ◆◆◆◆ 研 修 だ よ り ◆◆◆◆

薬剤師を対象とした各種研修会の開催情報をまとめました。大学、同窓会が主催する研修会等で公開で開催されるものについても掲載いたしますので、事務局までご連絡下さい。

なお、他支部や他団体、薬事情報センターの研修会については、準備の都合もありますので事前にお問い合わせください。

### 広島県の研修認定薬剤師申請状況

平成23年3月末現在1,160名（内更新570名）

開催日時 研修内容・講 師	開催場所	主催者 問い合わせ先	認定	その他 (参加費等)
5月8日（日）9：30～16：30 広島漢方研究会月例会 9：30～11：00 漢方薬局の店頭症例 鉄村努先生 11：00～12：30 大塚敬節著・漢方診療30年解説 吉本悟先生 13：30～15：00 勿誤薬室方函口訣解説 山崎正寿先生 15：00～16：30 漢方調剤実習 佐々木伸忠先生『理中丸』の処方解説と製剤実習	広島薬剤師会館2階	広島漢方研究会 テツムラ漢方薬局 082-232-7756	3	当日参加費：3,000円 予約不要
5月11日（水）19：20～21：00 第128回 広島佐伯薬剤師会集合研修会 1. 19：20～19：30 薬剤師会から報告事項 会長 樽谷 嘉久 2. 19：30～21：00 演題未定 広島睡眠クリニック 岡先生	佐伯区民文化センター	広島佐伯薬剤師会 (TEL/FAX 082-924-5957)	1	
5月13日（金）19：30～21：00 福山大学宮地茂記念館9階プレゼンテーションルーム 福山大学漢方研究会 一明日の治療に役立つ分かり易い漢方一漢方医学による便秘の治療（大黃剤） 講 師：小林宏先生（福山大学薬学部非常勤講師） テキスト：病態からみた漢方薬物ガイドライン（京都廣川書店）		福山大学薬学部 084-936-2112（5165）	1	受講料：500円（事前予約不要） アクセス：福山駅北口徒歩1分（駐車場はありません） どの時期から参加しても非常に分かり易いと評判の研修会です。
5月14日（土）15：00～17：00 第436回 薬事情報センター定例研修会 1) 薬事情報センターだより 2) 製品紹介末梢性神経障害性疼痛治療薬「リリカ」 ファイザー株式会社 3) 特別講演「脊椎疾患と痛みについて」 広島大学大学院 脊椎・脊髄外科 診療准教授 田中 信弘先生	広島県薬剤師会館 4F	(社) 広島県薬剤師会 薬事情報センター 082-243-6660	1	参加費：1,000円 できれば事前申し込みをお願いいたします。
5月14日（土）14：00 エソール広島 第55回県病薬総会 第55回広島県病院薬剤師会総会詳細は以下のページをご参照ください。 <a href="http://www.hshp.jp/modules/member_i/details.php?bid=157&amp;cid=10">http://www.hshp.jp/modules/member_i/details.php?bid=157&amp;cid=10</a>	エソール広島	広島県病院薬剤師会 広島県病院薬剤師会事務局	1	
5月17日（火）19：30～21：00 福山大学社会連携研究推進センター 福山支部シリーズ研修会 演題：「QOLの改善・DDSの最前線」 要旨：薬物送達システムdrug delivery system（DDS）の究極の目標は、患者さんの生活の質quality of life（QOL）を守ること。最終回は、PEGylation（ポリエチレングリコール修飾製剤）や分子標的薬など最先端のDDSについて解説致します。		(社) 福山市薬剤師会 084-926-0588	1	研修費：一般1,000円
5月18日（水）19：00～21：00 三原薬剤師会館 三原医薬分業支援センター 平成23年度第2回三原支部研修会 水・電解質輸液、静脈・経腸栄養について 株式会社大塚製薬担当 北岡 貴志氏		三原薬剤師会 0848-61-5571	1	会費：非会員1,000円
5月19日（木）19：00～21：00 サンピア・アキ 4F 実践！薬剤師による吸入指導講座 テーマ：高齢者に対する吸入指導 座 長：広島大学病院 呼吸器内科講師 春田 吉則先生 講演1（19：00～19：15）「喘息を理解してもらうために（仮）」 安芸市民病院 呼吸器科 香河 和義 先生 講演2（19：15～19：30）「吸入指導のポイント」 マツタ病院 薬剤部部長 西原 昌幸先生 実技講習会（19：30～21：00） 喘息・COPDディバスの吸入指導の実践～吸入が上手いかわからない高齢者への指導～		安芸薬剤師会 082-282-4440  共催：アストラゼネカ(株)、グラクソ・スミスクライン(株)、日本ベーリンガーインゲルハイム(株)	1	会費：無料 当日は軽食をご用意させていただきます。

開催日時 研修内容・講 師	開催場所	主催者 問い合わせ先	認定	その他 (参加費等)
5月20日(金) 19:00~20:30 エソール広島 2F 多目的ホール 第29回 広島感染症研究会 特別講演Ⅰ(19:00~19:30) 座長: 県立広島病院 院長 桑原 正雄先生 演題: 「感染症診断に役立つ臨床検査技師 ～細菌検査から微生物検査～」 講師: 広島国際大学臨床工学科 准教授 板羽 秀之先生 特別講演Ⅱ(19:30~20:30) 座長: 広島大学病院感染症科 教授 大毛 宏喜先生 演題: 「肝切除術における周術期感染管理対策」 講師: 大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵外科学 准教授 久保 正二先生		広島感染症研究会・Meiji Seika ファルマ株式会社  Meiji Seika ファルマ株 式会社 中村暁浩 082-261-3221	1	参加費: 500円 事前登録はありません。 どなたでも 参加できます。
5月22日(日) 10:00~16:30 尾道市総合福祉センター 第96回 全国禁煙アドバイザー育成講習会in尾道 困難が余裕に変わる!! 新しい禁煙支援 10:00~12:00 1) 現場で役立つ禁煙ノウハウ① 2) アドバンスコース 12:00~13:00 ランチョンセミナー (ファイザー) 13:00~15:00 1) 現場で役立つ禁煙ノウハウ② 2) 薬剤師が進める禁煙支援 15:00~16:00 Q&Aタイム 禁煙支援 その一言へはこの対応 16:00~16:30 日本禁煙学会禁煙支援者認定試験 筆記試験 ※希望者のみ		日本禁煙科学会 禁煙健 康ネット広島 禁煙マラ ソン  広島県薬剤師会 (担当職員: 吉田) (082) 246-4317	4	対象: 禁煙支援に携わる職 種のみならず、医療従事者 行政職等メールにて事前申 込みが必要です。申込みの フォーマットがありますの で、担当職員(吉田)まで お問い合わせください。参 加申込先: 96adk-onomichi@ kinen-marathon.jp 参加費: 5,000円(当日、主催 者へお支払いください。)
5月29日(日) 10:00~12:00 サンピア・アキ 薬事講習会 演題: 「最近の薬事行政について」講師: 徳永 克志先生 広島県西部保健所薬事担当		安芸薬剤師会 082-282-4440 山中	1	会費: 無料 講習会後、安芸薬 剤師総会を予定し ています。
6月9日(木) 18:00~20:00 広島県薬剤師会館 4F 第437回 薬事情報センター定例研修会 1) 薬事情報センターだより 2) 特別講演「居宅療養管理指導・在宅患者訪問薬剤管理指導について」 広島県薬剤師会常務理事 有村 健二先生		(社) 広島県薬剤師会 薬事情報センター 082-243-6660	1	参加費: 1,000円 できれば事前申し 込みをお願いいた します。
6月10日(金) 19:30~21:00 福山大学宮地茂記念館9階プレゼンテーションルーム 福山大学漢方研究会 一明日の治療に役立つ分かり易い漢方一柴胡湯をめぐる諸問題(柴胡剤) 講 師: 小林宏先生(福山大学薬学部非常勤講師) テキスト: 病態からみた漢方薬物ガイドライン(京都廣川書店)		福山大学薬学部 084-936-2112 (5165)	1	受講料: 500円 (事前予約不要) アクセス: 福山駅北口 徒歩1分(駐車場はあ りません) どの時期から参加して も非常に分かり易いと 評判の研修会です。
6月12日(日) 13:00~16:00 広島県薬剤師会館 ひろしま桔梗研修会 テーマ: 「薬剤師が知っておきたい糖尿病～インスリン自己注 射指導と自己血糖測定指導～」 講 師: 水島協同病院薬剤師 糖尿病療養指導士 大西 順子先生		神戸薬科大学エクステン ション事業 広島生涯研 修企画委員会 090-7507-3902 (倉田)	2	参加費: 1000円(学 生: 無料) 定員: 100名 参加申込みは、お名 前、出身大学、勤務 先、連絡先を下記メ ールアドレスにお願 いします。尚、今回 はグループ学習のた め、勤務先(病院、 調剤薬局等)を必ず 記載して下さい。
6月12日(日) 9:30~15:30 広島県薬剤師会館2階 広島漢方研究会月例会 9:30~11:00 「血の道症について」川中武司先生 11:00~12:30 大塚敬節著・漢方診療30年 解説 吉本悟先生 13:30~15:00 勿誤薬室方函口訣解説 山崎正寿先生 15:00~16:30 漢方医学十講 第七講 菊一環子先生		広島漢方研究会  テツムラ漢方薬局 232-7756	3	当日参加: 3,000円 予約の必要はあり ません。
7月8日(金) 19:30~21:00 福山大学宮地茂記念館9階プレゼンテーションルーム 福山大学漢方研究会 一明日の治療に役立つ分かり易い漢方一人参剤が適応する胃腸 症状(人参剤) 講 師: 小林宏先生(福山大学薬学部非常勤講師) テキスト: 病態からみた漢方薬物ガイドライン(京都廣川書店)		福山大学薬学部 084-936-2112 (5165)	1	受講料: 500円 (事前予約不要) アクセス: 福山駅北口 徒歩1分(駐車場はあ りません) どの時期から参加して も非常に分かり易いと 評判の研修会です。

## 第44回 日本薬剤師会学術大会（宮城大会）の 開催中止について

平成23年4月1日

本年10月9日（日）・10日（月）の両日にかけて宮城県仙台市で開催を予定しておりました第44回学術大会（宮城大会）は、去る3月11日（金）午後2時46分に発生した東北地方太平洋沖地震の影響により、やむなく中止することといたしました。

3年以上の年月をかけて準備にあたってこられた宮城県薬剤師会の関係各位におかれては苦渋の決断でございましたが（3月27日開催の宮城県薬剤師会緊急理事会にて正式決定）、今般の地震による被害は過去に例のない大規模かつ広範囲におよんでおり、開催地である宮城県も、仙台市内の開催予定施設が大きな損傷を受けた他、周辺市町村においても甚大な被害を受けており、その都市機能を回復するには相当の年月がかかるものと推測されます。何よりも、宮城県薬剤師会会員の多くの皆さまが被害にあわれており、そのような状況の中、学術大会の開催という過大なご負担をおかけするわけにはまいりません。まずは、お一人おひとりの生活再建を最優先にお考えいただきたいと存じます。

以上のような理由から、本年10月に開催を予定しておりました宮城大会は、中止させていただくことといたしました。会員並びに関係各位におかれましては、何卒ご理解の程、お願い申し上げます。

なお、日本薬剤師会では、代替地での開催を模索・検討してまいりましたが、近年の学術大会は1万人規模の大会に成長してきており、簡単に代替地・代替施設がみつからない状況にございます。つきましては、本年度は学術大会の開催自体を中止とさせていただきます。会員並びに関係各位におかれましては、併せてご理解・ご了承いただければ幸いです。

末筆ながら、今般の東北地方太平洋沖地震はマグニチュード9という未曾有の災害でありました。お亡くなりになられた皆様、ご遺族様には心よりお悔やみ申し上げますと共に、被災されましたすべての方々に衷心よりお見舞い申し上げます。また、被災地の一日も早い復興と生活再建を、心よりご祈念申し上げます。

## 平成23年度 ヒロシマ薬剤師研修会

本年度の「ヒロシマ薬剤師研修会」は平成23年6月26日（日曜日）、広島大学霞キャンパス内の薬学部講義室にて下記要領で開催致します。どうか御参加ください。

### プ ロ グ ラ ム （ 予 定 ）

日時：平成23年6月26日（日）13:30～16:30

場所：広島大学霞キャンパス内 薬学部2F 講義室

主催 広島県薬剤師研修協議会

共催 広島大学薬学部、広島県薬剤師会、広島県病院薬剤師会

#### 13：30～「東日本大震災地への薬剤師ボランティア活動報告」

講師：未定

#### 15：00～「医療関係者の知っておきたい痒みの種類と対処法」

講師：広島大学大学院医歯薬学総合研究科・教授

秀 道広 先生

☆ 日本薬剤師研修センター研修認定薬剤師制度による認定研修会（2単位）

☆ （今回は講演時間を3時間ですので、2単位研修会です）

☆ 広島県病院薬剤師会の認定研修会です。

☆ 参加費：1,000円（当日戴きます）ただし学生は無料と致します。

なお、自家用車を御利用の場合は、霞構内の臨時駐車券（400円／当日のみ有効）をご利用戴けます。当日、受け付けでお受け取りいただき、出口でお支払いください。

問い合わせ先：広島大学病院薬剤部 木平 健治

〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号

電話082-257-5570

ファックス082-257-5598

## 平成23年度 病院診療所薬剤師研修会実施要領

1. 主 催：（社）日本薬剤師会、（社）日本病院薬剤師会

共 催：（財）日本薬剤師研修センター

2. 対 象：主に病院、診療所に勤務する薬剤師

3. 主テーマ：「チーム医療と実践」

4. 演題及び講師（予定）：

### 第1日

①. 「薬剤師が取り組むバイタルサイン～その意義と実際」

ファルメディコ株式会社 代表取締役社長 狭間 研至 氏

②. 「チーム医療を支える医療情報システム～薬剤師も医療情報システムを知ろう！～」

奈良県立医科大学附属病院薬剤部係長 池田 和之 氏

### 第2日

③. 「今、薬剤師に求められる感染制御への関与」 長崎大学病院薬剤部長 佐々木 均 氏

長崎大学病院副薬剤部長 北原 隆志 氏

④. 「（仮題）糖尿病のプライマリ・ケアにおける医薬・薬業・地域連携」

よつ葉薬局 笠原 徳子 氏

5. 会場及び開催日時等（全国6カ所）：

#### [広島会場]

会場名：広島国際会議場 国際会議ホール・ヒマワリ

住 所：〒730-0811 広島市中区中島町1-5 平和記念公園内 TEL 082-242-7777

定 員：500名

日 時：7月2日（土） ①13：35～15：35 狭間 研至 氏

②15：45～17：45 池田 和之 氏

3日（日） ③09：00～11：00 北原 隆志 氏

④11：10～13：10 笠原 徳子 氏

問い合わせ先：広島県病院薬剤師会研修会係

〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 広島大学病院薬剤部内

TEL 082-257-5574

申込み受付期間：5月9日（月）～6月24日（金）

申込み方法：参加申込みはFAXにて受付けます。

**広島県病院薬剤師会ウェブサイト** URL:<http://www.hshp.jp/>（会員向け情報→研修会案内）の告知から申込み用紙をダウンロード後、必要事項をご記入の上、FAX 082-257-5598まで送信して下さい（会員以外の方でも閲覧可能です）。申込み状況によっては当日参加を受け付けない場合がありますので、この場合には御了承ください。

※定員（500名）に達した場合は締め切らせて頂きます。（広島県病院薬剤師会ウェブサイト上で告知致します）

※参加証などの発行は行いませんので、当日は直接会場へお越し頂き、受付にて参加費をお支払い下さい。

6. 受講料：

日本薬剤師会会員、日本病院薬剤師会会員、研修センター賛助会員……7,000円〔消費税込〕

非会員……8,000円〔消費税込〕

※いずれの受講料にもテキスト代が含まれています。

**東日本大震災においてお亡くなりになられた方々にお悔やみを申し上げます。**

**被災され、ご不自由な生活を続けられておられる皆様におかれましては、心よりお見舞いを申し上げます。**

去る3月11日（金）に発生した東日本大震災について、広島県薬剤師会では、下記のとおり支援活動を行っておりますのでお知らせいたします。

①平成23年3月15日（火）、中国新聞社会事業団へ東日本大震災義援金100万円を募金させて頂きました。

②義援金募金活動（平成23年4月20日（水）現在で 4,671,439円）

＊日薬へ送金し、被災された県薬剤師会を通じ、被災会員にお送りいたします。

③被災地への薬剤師ボランティアの派遣

#### 〈 ボランティア派遣状況 〉

佐々木順一（呉 支 部）	派遣期間：3月24日（木）～27日（日）
兼保 美穂	派遣期間：3月25日（金）～30日（水）
有村 典謙（東広島支部）	派遣期間：3月30日（水）～4月4日（月）
村上 信行（福山支部）	派遣期間：4月4日（月）～8日（金）
荒川 隆之（広島佐伯支部）	派遣期間：4月7日（木）～11日（月）
村上 範行（福山支部）	派遣期間：4月9日（土）～14日（木）
奥濱 玉穂（福山支部）	派遣期間：4月9日（土）～14日（木）
佐伯 朋美	派遣期間：4月13日（水）～17日（日）
石本晃一郎（廿日市支部）	派遣期間：4月14日（木）～19日（火）
宮原 宏明（福山支部）	派遣期間：4月14日（木）～19日（火）

## 支援活動報告

〈広島県薬剤師会ホームページ・災害派遣報告ページ〉

<http://www.hiroyaku.or.jp/saiga/report.htm>

### 報告 I

#### 広島 JMAT（第一班）報告

広島国際大学 薬学部 講師  
佐々木 順一

平成23年3月25日（金）より3月27日（日）の3日間の宮城県石巻市での医療支援活動を行いました。その活動報告をいたします。

本医療チームは、医師3名・薬剤師1名・看護師2名・事務職2名の8名のチーム（団長：広島県医師会理事 松村誠）で任務につきました。現地本部は石巻赤十字病院で、本部を拠点に約70チームの一員として医療支援を行いました。石巻市医療圏域を14エリアに分け、避難所を中心に巡回診療を行います。当チームは石川県の2チーム、陸上自衛隊第14施設中隊とともに石巻市雄勝（おがつ）町の約10ヶ所の避難所（10～500人）に対する医療活動を行いました。（第2班の活動地域は変更になる予定です。）

3日間に診療した患者は延べ87名です。亜急性期から慢性期に移行する時期と考えられ、避難所生活や医薬品不足による慢性疾患の悪化、がれき撤去作業などによる外傷が懸念される時期です。診療を行った被災者のうち約半数が高血圧や不整脈等の循環器疾患でした。家族を失ったり、家が津波で流されたり、また避難所生活によるストレスが続いており、不眠症や体調不良を訴える方も多くみられました。また、誤嚥性肺炎による心不全の1名を救急搬送しました。避難者の中には、震災での肉親との死別や食糧不足、寒冷、不自由な避難所生活等で睡眠不足とストレスが続き、最高血圧が200mmHgを超える方が少なからずいらっしゃいました。常用薬の紛失や受診できないことによる医薬品の不足が深刻でした。脳卒中や心筋梗塞、PTSDや肺塞栓症のリスクも高まって

おり、まずはストレスの緩和と慢性疾患に対する処方が最重要課題と考えられました。医療は徐々に落ち着きつつありますが、この地域は開業医、病院とも全て津波に流されたため、通常診療に戻るまでには相当長い期間が必要と考えられます。

生活環境が依然として劣悪な避難所も多く存在します。仮設トイレは設置されたものの、汲み取りも見込めず、衛生状態の改善は早急の課題であると考えられます。衛生状態の改善には行政の関与が必要不可欠であるとの認識から、災害対策本部で毎日朝夕に実施している救護チームの代表者会議に石巻市職員に出席してもらうことを提案し、3月27日よりそれが実現しました。今回自治体との協働を提案し実現しましたが、病院の医療チームや自治体だけでなく、避難所を把握している保健師や避難所で活動している看護師や医療従事者、地元三師会が協調して活動していくことが衛生状態の改善、医療システムの復帰には必要不可欠であると考えます。

薬剤師の業務は、服用していた薬の調査、巡回診療における調剤、医薬品の管理など多岐にわたります。服用薬剤の特定には薬剤師が必要ですが、全くわからない被災者の方も存在しました。こういった場合、医師と相談しながら緊急的に処方を組み立てる必要もあります。普段使い慣れていない医薬品の処方へのアドバイス、お薬手帳を見ながら処方薬の重複・相互作用をチェックするのは薬剤師でなければできない業務です。広島県医師会では、引き続き継続支援を行う予定ですので、広島県薬剤師会としてもこの活動に継続的に協力していく必要があると考えます。

以上、簡単ではありますが、取り急ぎご報告いたします。



## 報告Ⅱ

平成23年3月25日（金）～30日（水）

兼保 美穂

石巻日赤病院の院内調剤に従事させていただきましたが、この忙しさを2週間持ちこたえた事への驚きを禁じ得ませんでした。大変な時期ではありますが、逆境だからこそ職能を生かすという面も見ていただきました。

今回は日赤のみの従事で、調剤薬局への従事、避難所への従事はありませんでした。避難所の調剤を一手に引き受けていた日赤への負担が減る一方、保険薬局の負担を考えると、まだまだ薬剤師班の人員が足りないと思いました。

折から、帰還してから「薬剤師ボランティアが不足している」というニュースがありました。今回は所属病院の尽力にて参加できましたが、多くの薬剤師は自分の職場の日常業務を最低限の人員で回しているケースが多く（1人薬剤師等）、希望があっても動けないケースがあります。今後は、その点も含めて改善していく必要があると思います。

薬剤師会自体の動きが出遅れた感も否めません。改めて薬剤師職務間の連携についても考えさせられました。「患者のより近くにいる薬剤師」を考える時でもあるかもしれません。モバイルファーマシーの動きを期待すると共に、啓発活動にも努めたいです。そして、もう一度は参加せねば、と思う次第です。

### ＜要望のあった薬品等＞

患者より直接の聞き取りは出来ませんでした。現状では食料や水への優先度が高く感じましたが、必要とされている事も感じ取りました。

救急体制から一般へ移行しています。通常はストックに困らない薬が無いというのは、度々見ました。

現状では、ノロウイルス、ロタウイルスもあり、衛生用品へのニーズが高いです。

## 報告Ⅲ

宮城県ボランティア報告

平成23年3月30日（水）～4月4日（月）

かなえ薬局 有村 典謙

### 〈1日目〉

14：25 広島空港より東京へ出発  
17：50 J A L ホテル四谷に到着  
19：00 日本薬剤師会に到着  
明日はとりあえず宮城県薬剤師会に向かうように指示を受ける  
業務内容は病院における調剤・医薬品仕分け・避難所巡りだろうとのこと  
派遣先など詳しい内容は不明とのこと  
レンタカー（ナビ付き）、高速代、ガソリン代は日本薬剤師会がもつとのこと  
ガソリンは福島県安達太良付近までは空いているらしい  
宮城県では入れられない様子（緊急車両だとOKかも？）

20：00 夕食

23：00 就寝

### 〈2日目〉

07：00 起床  
朝食  
08：00 宮城県に向け出発（仙台宮城 I C）  
09：50 鹿沼 I C（宮城県薬剤師会まで250km）  
車は少ない  
10：23 宮城県薬剤師会まで200km  
12：40 国見 S A 到着（宮城県薬剤師会まで48km）  
昼食  
ガソリンメーターが半分近くとなったためスタンドに入ろうとしたが、混んでいたので次の S A まで行ってみることにした  
12：55 菅生 P A（宮城県薬剤師会まで17km）  
ガソリン満タンに（混んでいた）東北自動車道においては最後の給油所。  
高速ではガソリン問題なく満タンにでき

- ます。
- 13:10 仙台宮城 I C 到着  
緊急車両の張り紙してあったため高速代  
(7800円) 免除
- 13:40 宮城県薬剤師会到着 (出発してから計5  
時間40分)  
石巻高校に行き指示を受けるようにとの  
こと (丹野先生が担当とのこと)  
宮城県薬剤師会の医療班派遣リストに登録  
薬剤師会の方よりボランティアに関して  
説明あり
- 15:20 石巻高校到着  
斉藤先生 (所沢チーム) から説明  
主な業務は石巻高校診療所の調剤と避難  
所のサポートとのこと  
状況は刻々と変わるので状況に合わせて  
業務内容を考えていかないといけないと  
のこと  
現時点での参加者は千葉チーム (5名)、  
所沢チーム (2名)、山形 (1名)、東  
北チーム (5名)  
黒板に名前、出身地、携帯番号、期間を  
書く  
ノートにも保存用として記入  
石巻高校診療室を見学  
石巻高校…電気、水共に○、トイレは水  
洗、薬剤師の教室ストーブあり、配給も  
もらえる (ただし各薬剤師が持ってきて  
置いて行った食料が沢山あるので人数の  
半分の数だけもらっている) 水も在庫か  
なりある  
睡眠は床に寝袋で (ストーブも切るため  
寝袋必須)  
入浴はできません
- 16:00 石巻市の状況を見るため石巻神社へ向かう  
海岸線は壊滅状態
- 17:00 ミーティング  
ガソリンスタンドは給油待ちの列 (緊急  
車両優先のGSあり)  
給油できる量に制限ありとの連絡あり
- 18:00 避難所からの聞き取りにより、OTCを  
箱詰め  
段ボールに必要なOTCをつめ、薬品名、  
避難所名、日付、内容を貼付
- 18:30 夕食
- 19:00 九州、山口チーム到着  
ミーティング
- 20:00 掃除
- 21:00 丹野先生来られる  
ミーティング
- 24:30 就寝
- 〈3日目〉
- 06:00 起床
- 06:30 ミーティング  
ゴミ捨て
- 07:00 OTC配達、まだ行っていない避難所へ  
のサポートへ出発 (女川方面)  
千葉チーム (2名) と共に  
湊小、保耕寺幼稚園へOTC配達。  
女川方面に向かう (2日ほど前より車入  
れるとのこと)  
女川方面は壊滅状態。話によると石巻市  
の2週間前の状態  
総合体育館を見つけまだ行っていない避  
難所のリストと手に入れ向かう  
女川第三小学校、保福寺、女川公民館御  
前分校、鈴木様宅を周り必要OTC確  
認、状況確認し石巻高校の連絡先を渡す。  
(鈴木様宅情報より指ヶ浜避難所の位置  
確認)  
花粉症・喉の痛みの訴え多い  
ハンドクリーム、リップクリームなど求  
める方多い  
他の方の業務は石巻高校調剤 (中国1  
名)、渡波小調剤 (山形1名)、避難所の  
サポート (所沢1名、千葉2名) でした

- 12:30 石巻高校に帰る  
報告書を作成し黒板に貼る  
千葉チームボランティア終了
- 13:30 石巻高校診察室において調剤  
聞き取りによるOTC箱詰め
- 17:00 石川チーム到着（3名）
- 18:00 ミーティング  
山形チームの車パンクとのこと。路面に  
釘（路面の状態は悪いです）  
夕食
- 19:00 福井チーム到着（2名）
- 20:00 丹野先生こられる  
ミーティング（1時間ほど）
- 21:00 子供が3回ほど吐き体温は36度切ってい  
るという女性来られる  
日本赤十字病院へ送る
- 23:00 就寝
- 〈4日目〉**
- 06:30 起床
- 06:50 ミーティング
- 07:00 掃除
- 07:30 女川方面へ避難所サポートに出発  
第三小学校→保福寺→女川公民館御前分  
校→鈴木様宅→指ヶ浜→総合体育館（自  
衛隊診療所所有）、女川町立病院、渡波  
中学校訪問  
自衛隊診療所の医師によると急性期から  
慢性期に移ってきているので薬剤師が必要と話す  
鈴木様宅の話によるとこの先避難所無し  
とのこと。  
他の方の業務として石川（3名）・福井  
（2名）チームは総合体育館・女川町立  
病院の調剤・避難所のサポート、中国  
チーム（1名）専修大で調剤、山形（1  
名）渡波中で調剤、中国チーム（1名）  
石巻高校調剤
- 12:30 石巻高校に帰る
- 千葉前陣の方より連絡あり（明日の朝千  
葉チーム2名合流しますとのこと）  
昼食
- 13:20 メロンパンBチームより電話あり。  
「ビッグバン、中津山第一小、稲井公民館  
よりOTCの要求あり、届けてほしい」
- 13:30 OTCを箱詰め。（ビッグバン、中津山  
第一小、稲井公民館）
- 14:30 所沢チームボランティア終了  
新潟チーム合流
- 14:40 避難所（荻浜中）より電話あり。「必要  
なOTCのリストを作ったがどのように  
したらよいか？」→東北チーム（3名）  
が近くにいるので取りに行ってもら
- 15:00 明日の人材配置についてミーティング  
石川チーム（3名）・福井チーム（2  
名）は総合体育館・女川町立病院調剤へ  
山形チーム（1名）は渡波小の調剤へ  
東北チームは避難所（ビッグバン、中津  
山第一小、稲井公民館）へのOTC配達  
新潟チーム（1名）は専修大の調剤へ  
千葉チーム（1名）は石巻高校診療所調  
剤へ  
中国チーム（3名）・千葉チーム（1  
名）は避難所のサポートへ  
宮城（古川）から1名日帰りでボラン  
ティア参加予定（連絡あり）
- 17:30 お腹が痛くて吐いたというお年寄り来ら  
れる。  
現在の状態は良好とのことからOTCで  
対応
- 18:00 四国チーム合流（5名）
- 19:00 喉の痛み（風邪の様な症状）で女性来ら  
れる。  
OTCで対応
- 20:30 丹野先生来られる。  
ミーティング
- 21:30 OTC箱詰め（荻浜中、小積浜避難所）

23:00 就寝

#### 〈5日目〉

06:00 起床

06:50 ミーティング

07:30 掃除

08:00 千葉チームの到着を待つが来られないので宮城（1名）・中国チーム（3名）で避難所へのサポートへ出発  
萩浜中より「のどぬーるスプレー」要求（砂ぼこりなどで喉痛めている方多い）

11:00 石巻高校へ帰る途中にタイヤがパンク。スペアタイヤに交換（これで2台目）

11:30 石巻高校に帰る  
リーダーに報告  
ノートに今回参加して感じたことを書く

12:00 ボランティア終了し東京に出発  
高速交通量多い

15:00 那須高原SAで昼食、ガソリン満タンに

18:00 首都高渋滞

18:30 日本薬剤師会に到着（石巻高校を出てから計6時間30分）  
帰りは車が多く時間がかかる

19:00 JALホテル四谷に到着

20:00 夕食

24:00 就寝

#### 〈6日目〉

09:00 起床

朝食

10:00 広島に向け出発

以上

## 報告Ⅳ

### 東日本大震災ボランティア

福山支部 村上 範行

（4／9（1日目） 19:00～19:30）

日薬会館にてミーティング

- 滞在地→石巻高校
- 入浴は引き続き難しい
- ガソリン→ほぼ通常営業だが200円/L（後日精算）
- 高速料金も後日精算あるが支払いあり
- 土日は避難者のお見舞い等で仙台＝石巻の道路で混雑が予測される
- 7日夜の地震後→高速は通行可能だが多少段差ができています箇所あり

以上

#### 4／10（2日目）

- 石巻高校にはごく一般的な食料、水分は十分在庫あるので、持っていくなら自分の嗜好品ぐらいで良いかと思います。
- 仕事内容はその時の人数、状況で変わりますし、人の入れ替わりも激しいので、積極的に仕事を覚える→次の方への引き継ぎが必要かと思っています。
- 部屋内は暖かくて毛布ありますが、床に寝るので寝袋はやっぱり必要です。風呂は無し。夜は照明ない為仕事は基本夕方まで、夜はゆっくり出来ます。
- 宿泊費、ガソリン代、高速代は仮払いするので準備を。
- 土日は山形県からスタッフ入るので人数に余裕あり
- 人の入れ替わり激しい為かシステム化が出来ていない箇所あり。

#### 【提案】

- 避難所に入るのは夕方（17時以降）で、次の朝から仕事とした方が良いかと思っています。

## 報告Ⅴ

平成23年4月9日（金）～14日（木）

福山支部 奥濱 玉穂

活動期間 4/9～4/14

実際に活動できた期間 4/11～4/13am

拠点 石巻高等学校

活動場所 女川総合体育館

- ・ 先ず活動期間ですが、現地入りするのに2日間も移動に取られてしまって、もったいなかった。朝のミーティングに間に合う時間に現地入りできれば活動できる日にちが増やせると思います。
- ・ 初日、石巻高校に到着した後高台に歩いて行き、眼下に広がる津波にさらわれた跡の石巻の町を呆然と見る。
- ・ 石巻高校ではam6:00頃起床、各自持ってきたもので朝食を摂り、am7:00少し前に朝のミーティング、写真撮影会後女川地区で活動を行う人はすぐ出発、その他の方は掃除の後各活動場所に移動。
- ・ 活動が終わったら日暮れまでには石巻高校に帰ってくる（日が暮れると、道路の冠水、障害物などが見え辛くなるので危険）夜のミーティングまでに各自夕食を摂ったり、業務報告を書いたりして過ごす。
- ・ ミーティングで今日の活動で気づいた事、問題点、提案など話し合い、明日の活動につなげる（状況が日に日に変わってくるので、柔軟な対応が必要）。明日の活動場所の振り分けを行う。引継ぎをしっかりと行う。その後、就寝まで和気藹々と話し合いが続く。
- ・ 女性はミーティングルームではなく、保健室で眠れる。
- ・ 電子レンジあり、電気ポットあり、お菓子は山のようにある。さとうのごはん、レトルトカレー、味噌汁、梅昆布茶など、先人達が置いてくれた食料もある程度ある。紙コップを持参すると良かった。割り箸もあった。
- ・ 石巻高校から40分程度で（渋滞もあるので早め

に出発したほうが良い。山越えするルートがお勧め）女川総合体育館に到着。途中、ファミリーマートがあり、早く行けばおにぎりなどの食料がある。

- ・ am8:00から活動開始。診療所は体育館入ってすぐ、左側にある。スリッパは持参する事（靴を入れるナイロン袋も）。感染予防のため、診療所内では消毒済みの茶色のスリッパを使用。トイレは水洗。
- ・ 診療所には被災された二人のDrが診療を行っている。カルテに記載されている処方を見て調剤する。あいうえお順の医薬品リスト、薬効別の薬品写真集を長崎県薬の福永先生が作ってくださっているので便利。
- ・ OTC薬の需要と供給のミスマッチが分かり、避難所を回って要望を聞き、薬を配布することをはじめた。今後の展開に期待。

石巻高校で陣頭指揮をとって下さっている丹野先生をはじめ、女川で出会った2人のDr、薬剤師、看護婦さんなど、自らが被災者であるにも拘らず、地域の人のためにがんばっておられる医療人達の姿を拝見し、心を打たれました。でも、震災後1ヶ月経ち、疲労も積み重なっておられるようです。

今後益々、会を挙げて協力して行く必要があると感じました。

石巻高校では各地域から集まった情熱あふれる先生方と交流できて、私には目の覚める思いでした。ボランティアに参加できてよかったです。

## 報告Ⅵ

平成23年4月14日（木）～19日（火）

福山支部 宮原 宏明

とりあえず携帯メールにて現状の環境等を報告します。

派遣先は石巻高校です。（石巻高校避難所薬剤師会）

会議室を利用させてもらいミーティング、飲

食、就寝はこの場所です。

食料、水は充分にあります。

皆さん持参された食料をおいていかれたり、他からの差し入れもあり日々食料は増え、ちょっとしたコンビニ状態です。が、どうしても偏った食事になります。

電気、水道OK

トイレ水洗、電子レンジ、ガスコンロ、ポットあり。

毛布、銀マットはあります。

ストーブはありますが、暖かいため期間中一度も使用しませんでした。

女性は保健室にて就寝。毛布、鏡はあるそうです。

到着の4月15日、蕾だった石巻高校の桜が今朝18日咲きはじめています。気温は察して下さい。風で粉塵が巻き上がっている時もありますが、車での移動のため外へでるのは駐車場から避難所への間だけなのでゴーグルは使用しませんでした。

## 青年薬剤師会 知っピン月イチ勉強会特別編 ー 放射線の知識と被災地の活動報告 ー

広島県青年薬剤師会副会長 辻 哲也

当会では毎月、「知っピン月イチ勉強会」と題し、薬剤師として「各疾患の薬物療法の基本となる事項を押さえること」を目標に、講師自身も一緒になって勉強しています。

今回（4月13日）は、東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故で、毎日のように報道されている放射線について、薬剤師として正しく理解

しておくべき「数値の意味」や「各核種の人体への影響」を学ぶことを目的に予定を変更して勉強会を行いましたので、ご報告させていただきます。

まず始めに、広島大学大学院医歯薬学総合研究科 展開医科学専攻 病態薬物治療学講座の小澤光一郎教授に「放射線の基礎知識 現在の状況を読み解く」と題して、講義をしていただきました。



講義では、内部被曝と外部被曝では各放射線の危険度が異なる（内部被曝では $\alpha > \beta > \gamma$ 、外部被曝はその逆）ことや、物理的半減期と生物学的半減期の違いについてなど、放射線化学の基礎的なことから始まりました。また、検出された放射線の数値を見る限り、福島県産のほうれんそうを仮に毎日100g 1年間食べ続けたとしても、人体に影響はほとんどないことなどもお話いただきました。最後に小澤教授は、「薬剤師はプロなのだから、今回の事故で出てきた数値や言葉の意味を正しく理解して、現況を楽観視してはいけないが『正常に怖がること』が一番大切だ」と訴えられました。



講演の後、実際に被災地で活動を行った3人の



先生方に報告をしていただきました。3月11日より日赤医療救護班として参加された、広島赤十字原爆病院の宅江良隼さん（当会副会長）は、震災直後に福島県南相馬市や宮城県石巻市で活動されました。病院に患者さんが殺到し、薬のお渡しに6時間以上かかったケースもあり、勉強会に参加された方もその緊張感に息をのんでいました。



広島国際大学の佐々木順一講師（当会前会長）は、日本医師会災害医療チーム（JMAT）の一員として3月23日より参加されました。被災者の健康課題が急性期のものから高血圧や不眠・不安といった慢性期疾患に移行している最中であり、収縮期血圧が260を超えるような方もおられたそうです。また、短い滞在日数の中では救済活動そのものと同じくらい「次のチームにいかにもスムーズに引き継ぐか」「薬剤リストを作ることで医師等他職種が動きやすいようにする」ことも大切だと話されました。



最後に、日本薬剤師会被災地支援活動として被災地に入った有村典謙さん（かなえ薬局・当会会員）が発表され、避難所生活の長期化により被災者の栄養状態が悪化していることや、津波が運ん

できた土砂が風に舞って喉や鼻、目の違和感を訴える方が増えていることを伝えてくださいました。



この勉強会の模様は翌日、NHKニュース（広島県内向け）と地上デジタル放送のデータ放送、ホームページで伝えられました。また、翌々日には中国新聞朝刊に掲載されました。薬剤師も医療チームの一員であり、他職種と連携を取りながら薬剤師にしかできないことを行っている、行う能力があることを示せたと思います。

当日は120名を超える方にお越しいただきました。皆さまが「薬剤師として今何ができるか」「何を理解しておくべきか」を感じ取りたいという思いを受けました。予想以上の状況に改めて感謝するとともに、司会はもとより受付や資料の配付、会場のセッティング等で皆さまにご迷惑をおかけしましたことを深くお詫びいたします。



未曾有の災害からの復興は、残念ながら長い道のりになるでしょう。まだまだ薬剤師が必要とされる場面が出てくると思います。現場に行く薬剤師も、行くことができない薬剤師も、想いは同じです。プロとして、一人の人間として、これからも自分の持っている力を被災地に届けましょう！

# 東日本大震災への対応について

## 薬剤師ボランティアの募集

5月中の救援活動については、派遣されるメンバーは決定しておりますので、6月以降の活動となります。また、被災地での薬剤師救援活動をいつまで継続するかは決定していません。スケジュールに変更がある可能性もあります。

救援活動にご協力いただける方は、薬剤師であれば、薬剤師会の会員・非会員を問いませんので、ご協力をよろしくお願いいたします。

具体的な派遣先や派遣期間につきましては、薬剤師会、医師会、病院薬剤師会、行政との調整により決定されますが、現地までの旅程を含み、概ね5泊6日のご協力をよろしくお願いいたします。

### 1. 派遣先（派遣先が変更される可能性もあります）

宮城県内

### 2. 被災地へのアクセス等について

各団体と相談の上、ご連絡いたします。

### 3. ご留意いただきたい点

#### ① ボランティア保険への加入について

二次災害など不測の事態が十分考えられますので、県薬にてボランティア保険に加入いたします。

#### ② 現地での宿泊等について

被災地では、寝袋が必要な場合もありますので、ご了承ください。

#### ③ 現地での食事・水等について

被災地では物資が不足しております。ご自身の食料などは、可能な限りご持参ください。避難所等には、ボランティア用の食事なども用意されるものと思われそうですが、避難者用の食事を勝手に食べる等の行為は、厳に謹んでいただきますよう、お願いいたします。

以上、ご支援・ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



## 東北地方太平洋沖地震に係るボランティアへの参加希望申込書

返信先FAX番号：082-249-4589

ご氏名：

年 齢：

性 別：

勤務先：

勤務先電話番号：

携帯番号及び携帯メールアドレス：  
(常時連絡可能なもの)

PCメールアドレス

ボランティア開始可能日：        月        日より可能

ボランティア可能日数：  
(往復の交通日数も含む)

※詳細については、決定次第にご連絡いたします。

また、活動可能日の調整によっては、実際には活動をお願いできない場合もありますので、ご了承くださいよう、お願いいたします。

○参加申込書については、県薬ホームページからもダウンロードできます。

<http://www.hiroyaku.or.jp/saiga/volunteer.htm>

# 東北地方太平洋地震広島県JMAT第1班に参加して

広島国際大学薬学部 佐々木 順一

日時：平成23年3月24日（木）～27日（日）

広島県医師会JMAT第1班のメンバーとして、医療活動に参加させていただきました（表1）。

今回の派遣では、JMATのメンバーの方々や広島県薬剤師会の先生方をはじめ多くの方に支えていただきました。おかげさまで無事任務を全うすることができました。この場をお借りしてあらためて厚く御礼申し上げます。

## 【出発前の取り組み】

活動開始は発災二週間後でしたので、慢性期ニーズを想定し携行医薬品を選定しました。日本薬剤師会編集「災害対策マニュアル」の重急性期薬剤を参考に、降圧薬、抗インフルエンザ薬、ORSなどを追加しました。次のチームでも効率よく活用するために、医薬品を分類・小分けしリスト作成を行い、印刷した添付文書や簡単な小児用量の対応表を準備しました。また、医薬品特定のための医薬品写真集を広島県業務課・有志の薬剤師よりご提供いただきました。

## 【現地での活動】

私たちは石巻赤十字病院の指示のもと、雄勝地区において巡回診療・避難所における診療を行いました。医薬品の在庫は十分で、多くの薬剤師ボランティアが活躍によって慢性疾患の処方への調剤体制が構築されていました。

お薬手帳が普及しており処方薬の特定に非常に役立ちましたが、津波で流されたために特定困難な方もいらっしゃいました。私たちの遭遇した事例は降圧薬のみの処方でしたので、病歴と服用の経緯を聞き、医師と相談しながら代替薬をお渡ししました。医薬品の特定に加えて、傾聴と丁寧な説明によって薬の不足による不安を取り除くことも重要だと思いました。生活への不安、避難所の世話による疲れやストレスのある方が多くいらっ

しゃいましたが、調剤が忙しく他のメンバーのようにゆっくりとお話をうかがう時間がなかなかとれませんでした。

現地で特に印象に残ったのは、現地対策本部を統括していた保健師や避難所で避難住民の管理をしていた看護師の活躍でした。専門知識を持った者が被災者の一番近くにいることが、被災地における衛生管理や被災者の健康管理に重要であることを感じました。

## 【派遣を振り返って】

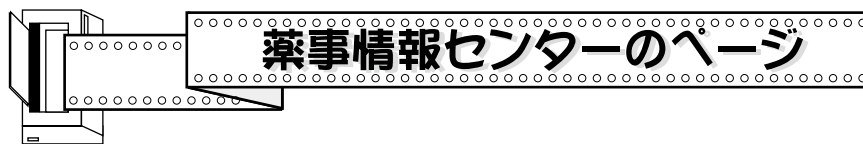
広島県JMATでは、派遣された7チームのうち6チームに薬剤師が同行しました。今回は調剤だけでなく、医薬品の調査・特定、代替薬の提案、医薬品の調達など薬剤師の活躍できる場面が多くありました。ジェネリック医薬品が普及しているこんにち、即座に調べて相互作用や重複をチェックする仕事は薬剤師の得意とする分野のひとつです。派遣を通じて、災害慢性期の医療チームには薬剤師が必要不可欠であると感じました。

現地ではニーズを把握した臨機応変な対応が必要ですが、難しいことではなく通常の薬剤師業務の延長です。一人ひとりの力は小さくても「チーム」として力を集結して工夫していけば、大きな困難も乗り越えられると思いました。

表 チームの構成

医 師	3名	広島県医師会2名、沼隈病院1名
看護師	2名	沼隈病院2名
薬剤師	1名	広島県薬剤師会1名
事 務	2名	広島県医師会1名、沼隈病院1名
運転手	2名	

写真 現地統括本部における保健師と医療チームのミーティング



原田 修江

## アスリートと亜鉛欠乏性貧血

アスリートと貧血とはなかなか結びつかないような気がしますが、アスリートには以外と貧血が多いことが報告されています。貧血の原因としては鉄欠乏性貧血が最も多く、治療には通常鉄剤を投与します。しかし、中には鉄剤に反応しない“難治性貧血”が存在します。また、アスリートには、以前から“runner's hemoglobinuria”あるいは“runner's hemolysis”と呼ばれる溶血現象がみられることが知られていました。これは、足底を機械的に刺激するために起こると長年信じられてきましたが、足底の機械的刺激のない水泳選手などにも溶血現象がみられることから、疑問が残されていました。

近年、亜鉛欠乏と溶血の関係が明らかにされ、アスリートの難治性貧血に対して亜鉛の投与が有効であることが示されています。

### ◆赤血球と亜鉛

亜鉛は、血球、骨、筋肉、肝臓、腎臓など生体に広く存在し、200種以上の酵素の構成成分として、細胞の増殖・分化、性機能、暗順応、味覚、創傷治癒、免疫防御機能など、生体の維持に重要な役割を担っています。

赤血球では、carbonic anhydraseとして、血中の二酸化炭素の肺への運搬、肺から呼気への排出に関与しているほか、Na-K-ATPase、Ca-ATPaseなど種々のSH基を持つ酵素やイオンチャネルの働きにも関与しています。亜鉛が欠乏するとこれらの酵素やイオンチャネルの機能が損なわれ、赤血球膜の抵抗性が低下し、容易に溶血することが報告されています。また、亜鉛欠乏はソマトメジンC（別名：インスリン様成長因子-I）および蛋白同化ホルモンの造血作用を低下させることも報告されています。

### ◆亜鉛欠乏性貧血の診断基準

亜鉛欠乏性貧血の診断基準は表1のように示されています。亜鉛欠乏性貧血の赤血球像は、小球性低色素性の鉄欠乏性貧血と異なり、正球性正色素性です。また、鉄欠乏性貧血のように不飽和鉄結合能（UIBC）および総鉄結合能（TIBC）は増加しません。

表1 亜鉛欠乏性貧血の診断基準（暫定案）

1. ヘモグロビン	男子：13g/dL以下 女子：12g/dL以下
2. 赤血球数	380万/mm <sup>3</sup> 以下
3. TIBC（総鉄結合能）	380 μg/dL以下
4. 亜鉛の投与で貧血の改善がみられる	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・血清鉄の状態で、小球性または正球性となる</li> <li>・血清亜鉛の低下は必ずしも認めない</li> <li>・血清リン、蛋白の低下を伴うことが多い</li> <li>・他のTIBCの低下する疾患は除外する（慢性肝炎、血液疾患、膠原病など）</li> </ul>	

### ◆アスリートにおける亜鉛欠乏症の進展状況

アスリートにおける亜鉛欠乏症の進展状況は、表2のように示されています。亜鉛欠乏性貧血の頻度は、競技年数が長く、年齢があがるほど高くなるといわれており、初期には鉄欠乏性貧血ですが、1～2年の経過で、鉄欠乏であるにもかかわらず鉄剤が無効で、正球性正色素性の、いわゆる亜鉛欠乏性貧血がみられるようになります。

第1期（軽度の亜鉛欠乏状態）では、網状赤血球数の増加とハプトグロビンの低下がみられ、これは日常的に溶血が生じていることを示すものです。第2期（中等度の亜鉛欠乏状態）は中学生、高校生頃から増える傾向にあり、“鉄剤を飲んでも貧血が治らない、練習がきつく感じる、記録が伸びにくい”などの訴えや、女子では無月経がみられるようになります。

表2 アスリートにおける亜鉛欠乏症の進展状況

病 期	病 態	競技への影響
第1期（軽度）	不顕性溶血性貧血、網赤血球数↑、ハプトグロビン↓	競技力良好
第2期（中等度）	非定型的鉄欠乏性貧血、鉄↓、TIBC ↓	競技力↓
第3期（重度）	非定型的鉄欠乏性貧血、性腺機能低下症	競技持続不能

アスリートにおける鉄と亜鉛の欠乏は、いずれも汗や尿からの排泄が摂取量を上回るためと考えられています。通常、亜鉛は便中から失われますが、アスリートでは、汗と尿から失われる量が多く、10km近く走ると1.5倍の亜鉛が尿より失われるという報告や、汗1L中1～2mgの亜鉛が失われるという報告があります。亜鉛は、生体内では一般にタンパク質と強く結合しており、亜鉛欠乏状態でも動員されないため、食物などからの日々の補充が必要です。

### ◆亜鉛欠乏性貧血の治療

治療には、プロマック顆粒（適応外）などの亜鉛製剤が使用されます。通常は、鉄剤と併用し、投与量は鉄100mgに亜鉛35～40mgの組み合わせが推奨されています。ちなみに、プロマック顆粒1gは亜鉛約34mgを含みます。

亜鉛投与時の副作用としては、胃障害、めまい、吐き気、慢性的には銅欠乏による鉄欠乏性貧血があります。亜鉛はメタロチオネイン（金属結合性のタンパク質）の構成成分であり、亜鉛が増加するとメタロチオネインが増加し、銅の腸管からの吸収が抑制されます。鉄が小腸から吸収されるためには、3価鉄が2価鉄に還元される必要があり、銅が欠乏するとこの還元が行われず、鉄の吸収が抑制されます。亜鉛の投与量が1日40mg以下では、副作用の可能性は少ないと考えられています。

#### 〈参考資料〉

- ・診断と治療 94巻 11号 2035頁 2006年 ・「健康食品」の安全性・有効性情報
- ・医薬ジャーナル 33巻 12号 125頁 1997年
- ・医薬ジャーナル 33巻 12号 126頁 1997年
- ・医薬ジャーナル 33巻 12号 166頁 1997年

# お薬相談電話 事例集 No.70

## HbA<sub>1c</sub>、グリコアルブミン、1,5-AGの検査の意味

高血糖が続いていても自覚症状は現れにくいので、適切な検査を受けて血糖コントロールを評価し、良い状態を維持することが大切です。また血糖値は常に変動しているため、採血時の血糖値のほかに、それ以前の一定期間の血糖レベルを知る必要があります。採血によって過去の血糖レベルがわかる3種類の検査のポイントを表1に、血糖コントロールの目安を表2に示します。

表1. HbA<sub>1c</sub>、グリコアルブミン、1,5-AGの検査のポイント

	HbA <sub>1c</sub> (ヘモグロビン・エーワンシー)	グリコアルブミン、 糖化アルブミン (GA)	1,5-AG (1,5-アンヒドログルシトール)
意 味	血色素 (Hb:ヘモグロビン) のうち、血糖と結合したものが占める割合	血液中のアルブミンのうち、血糖と結合したものが占める割合 (アルブミンはHbより早くブドウ糖と反応し、血中半減期が短い)	血中1,5-AG濃度 (尿糖が多いほど1,5-AGも多く排泄されるため、血液中濃度は低下する)
基準値 (単位)	4.3~5.8* <sup>1</sup> (%) 高血糖が続いていると数値が高くなる	11~16 (%) 高血糖が続いていると数値が高くなる	1.4 (μg/mL) 以上 高血糖が続いていると数値が低くなる
特 徴	・ 採血時から過去1~2ヶ月間の血糖レベルの平均がわかる	・ 採血時から過去1ヶ月間 (特に直近の2週間) の血糖レベルの平均がわかる ・ 食事療法、運動療法、薬物療法の効果を判断しやすい ・ 妊婦、透析患者の血糖コントロールに適している	・ 採血時から過去数日間の血糖レベルの平均がわかる ・ 食後高血糖がより良く把握できる
注意点	・ 血糖レベルの短期的な変化や食後高血糖を見つけにくい ・ 透析療養中などでは、実際の血糖状態からずれた結果が出るケースもある	・ 肝硬変では実際の血糖コントロール状態より高く、ネフローゼ症候群では低く出ることがある ・ 重症の甲状腺機能異常症などで、アルブミン代謝回転が著しく変化している場合は、実際の血糖状態を反映しない	・ 妊娠中や腎機能が低下している場合など、実際の血糖状態からずれた結果が出るケースがある

\* 1: 特定健診における基準値の上限は5.2%

表2. 血糖コントロールの目安

検査の種類	コントロールの評価とその範囲				
	優	良	可		不可
			不十分	不良	
HbA <sub>1c</sub> (%)	5.8未満	5.8~6.5未満	6.5~7.0未満	7.0~8.0未満	8.0以上
GA (%) * <sup>2</sup>	17.0未満	17.0~20.0未満	20.0~21.0未満	21.0~24.0未満	24.0以上
空腹時血糖値(mg/dL)	80~110未満	110~130未満	130~160未満		160以上
食後2時間血糖値 (mg/dL)	80~140未満	140~180未満	180~220未満		220以上

\* 2: 旭化成ファーマ株式会社資料 日本糖尿病学会: 科学的根拠に基づく糖尿病診療ガイドライン第2版

【参考資料】臨床検査データブック (医学書院), 糖尿病ネットワーク HP, 臨床検査ガイド (文光堂)

# 医薬品・医療機器等 安全性情報

Pharmaceuticals  
and  
Medical Devices  
Safety Information  
No.277・278

厚生労働省医薬食品局

## No.277 目次

1. ゲムツズマブオゾガマイシン（遺伝子組換え）の安全対策について ..... 3
2. 重要な副作用等に関する情報 ..... 10
 

■1 イマチニブメシル酸塩、ニロチニブ塩酸塩水和物	10
■2 スニチニブリンゴ酸塩	13
■3 ビルシカイニド塩酸塩水和物	15
3. 使用上の注意の改訂について（その223）  
シクロスボリン（経口剤、注射剤）他（13件） ..... 18
4. 市販直後調査の対象品目一覧 ..... 22

## No.278 目次

1. 下大静脈フィルターに係る添付文書の改訂指示等について ..... 3
2. PMDAメディナビを活用した安全対策の推進について ..... 5
3. 重要な副作用等に関する情報 ..... 10
 

■1 イソソルビド	8
■2 温清飲	10
4. 使用上の注意の改訂について（その224）  
五淋散他（17件） ..... 18
5. 市販直後調査の対象品目一覧 ..... 19

この医薬品・医療機器等安全性情報は、厚生労働省において収集された副作用情報をもとに、医薬品・医療機器等のより安全な使用に役立てていただくために、医療関係者に対して情報提供されるものです。

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ(<http://www.info.pmda.go.jp/>)又は厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)からも入手可能です。

平成23年(2011年)2月・平成23年(2011年)3月

厚生労働省医薬食品局

### ◎連絡先

☎100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2  
厚生労働省医薬食品局安全対策課



{ 03-3595-2435（直通）  
03-5253-1111（内線）2755、2750、2751  
(Fax) 03-3508-4364

# 検 査 セ ン タ ー だ よ り



後藤 佳恵

## つつが虫病

この度の東日本大震災により被災された皆様には謹んで心よりお見舞い申し上げます。  
皆様の安全と、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

被災地におけるつつが虫病について、4月1日付けで国立感染研究所感染症情報センターより緊急速報がありました。以前から気になっていた感染症でしたので、少し調べてみましたのでお知らせします。

つつが虫病はわが国常在の代表的な、*Orientia tsutsugamushi*を起因菌とするリケッチア感染症である。ダニの一種ツツガムシによって媒介される。その約0.1～3%が菌を持つ有毒ダニで、ヒトはこのダニに吸着され感染する。かつては東北、北陸地方で夏季に河川敷で感染する風土病であったが（古典型）、戦後に新型つつが虫の出現により北海道、沖縄など一部の地域を除いて全国で発生がみられるようになった。また東北、北陸地方では春～初夏に発生ピークがみられるが、全国的には春～初夏、秋～初冬の2つの発生ピークがある。

臨床的特徴は、5～14日の潜伏期間を経て全身倦怠感、食欲不振とともに頭痛や悪寒、急激な高熱（38～40度）を伴って発症する。やや遅れて顔面や体幹部など全身に米粒大や小豆大の紅斑が出現するが、痛みやかゆみは伴わない。また特徴的なものとして、ツツガムシの刺口があげられる、大きさは1cmぐらいの痂皮形成が認められ、周辺は腫れて赤くなっていることが多い。身体の柔らかい部分や、隠れた部分にある場合が多く見受けられ、刺口周辺又は全身のリンパ節の腫脹が認められる。この発熱、刺口、発疹がつつが虫の三大特徴であり患者の90%以上に認められる。

検査所見はCRP上昇、肝酵素（AST、ALT）の上昇、白血球や血小板の減少などである。

病原診断はPCR法による患者血液やかさぶたからのリケッチア遺伝子の検出や、間接蛍光抗体法あるいは免疫ペルオキシダーゼ法による血清診断などによる。

治療には、第一選択薬はテトラサイクリン系抗生物質で、使用できない場合はクロラムフェニコールを用いる。但しβラクタム系抗生物質は無効。早期につつが虫の可能性を疑い、適切な投薬をすれば治癒し予後も良好だが、開始が遅れると重症化し播種性血管内凝固や、肺炎等を起こすことがあり、致死率も高くなる。

また、予防に利用可能なワクチンは無く、ダニの吸着を防ぐことが最も重要である。山野に立ち入りたり、作業をする際にはなるべく長袖長ズボンなどで皮膚の露出を防ぎ、袖口や足下には防虫スプレーを使用し、ツツガムシは地面から上ってくるため地面に一定時間以上直接座り込まないなど注意する。帰宅後は服をよくはたき、入浴して身体をよく洗い、服を着替えるなどして、体に付着したツツガムシが吸着しないようにする。

もし、山歩きや野外で作業等をした後、10日前後で発熱・発疹などが認められた場合には、できるだけ早い時期に医療機関を受診し検査治療を受けて下さい。初期症状は風邪の症状に似ているため自己診断は危険です。

我が国では1950年に伝染病予防法によりつつが虫病は届け出が始まりました。1999年4月からは感染症法の4類感染症全数把握疾患として、診断した医師は直ちに最寄りの保健所に届け出なければなりません。

つつが虫病は、洪水などの土砂災害の後に患者が増加することが過去の事例からも報告されているため、現在避難所等で注意されている呼吸器系、消化器系感染症のほか、本症例のように季節的にピークをむかえる感染症にも注意が必要です。また、広島県内でも患者発生は春と、主に秋～初冬に集中しており新型つつが虫と考えられます。感染しても的確に診断されれば何も怖い病気ではありませんが、4類感染症の中で患者報告数が常に上位の疾患で死亡例も発生しているという事を是非知っておいて下さい。

参考文献：国立感染研究所感染症情報センターHP（IDSC, IDWR, IASR）

広島県保健環境センターHP/広島県感染症情報センターHP

## ひろしま桔梗研修会 平成22年度第4回研修会報告



神戸薬科大学エクステンション事業  
広島生涯研修企画委員会  
高本真紀子

日時：平成23年2月27日（日）  
場所：広島市南区民文化センター

「薬剤師とバイタルサイン」をメインテーマに研修会を開催しました。

まずは、「自己血糖測定器の機能と取り扱いについて」テルモの錠佳男先生の講演です。自宅での自己血糖測定と、病院診察時に行われる血糖測定との違いなどのお話の後、穿刺器具・自己血糖測定器を用い、3人一組で実際に血糖測定を体験しました。穿刺が意外に痛い、そうでもない…さまざまでした。

次に「薬剤師とバイタルサイン～次世代型薬剤師の新たなツール～」と題し、医師・ファルメディコ(株)代表の狭間研至先生に講演をいただきました。最近、「薬剤師とバイタルサイン」についてよく取り上げられますが、今回の講演は、実際的なアプローチの仕方や具体的に何ができるか…などのお話でした。

薬剤師は人の体を触ってはならない、血圧を測るなんて…と、我々自身が認識してきました。しかし、医師不足などの影響で医療崩壊が現実になりつつある今、薬剤師が医療人としてマンパワーを発揮してバイタルサイン採集に取り組み職能拡大することは「医療崩壊」を救う有力な解になるはず！～と力強いエールを送っていただきました。

2025年には3人に1人が高齢者となります。そして在宅で医療をうけ介護される人が増えると予想されます。これからは、調剤薬局薬剤師の在宅患者への訪問、病院薬剤師の病棟業務などの際、ただ単に処方せんに従って調剤し服薬指導するだけではなく、薬の副作用・相互作用という側

面から患者に起こりえる事象をチェックし、医師に積極的に次回処方への提案・介入し、医・看・薬で情報を共有・連携すること…それらを可能にするために「バイタルサインの採集」が必要であり、それがまさしく「次世代型薬剤師の新たなツール」であると述べられました。先生のお話の中で特に私の印象に残ったのは「やる！と決めること」という言葉です。少しずつでも、薬剤師のバイタル測定が「当たり前」になればよいと思いました。

最後に、脈拍・SpO<sub>2</sub>・血圧について、それらの取り方（手技）・書き方（記録）・使い方（評価・応用）などのポイントを指導していただきました。いずれも興味深い内容でした。これからも、益々ひろしま桔梗研修会を充実させていきたいと思っています。皆様のご出席を心よりお待ちしております。





# Pharmacist's Holiday



～薬剤師の休日～

## 長崎は今日も雨だった

東広島支部 松井 聡政

3月20～21日の連休を利用して昨年龍馬伝でブームになった長崎に行ってきました。

高速道路が1000円になってはじめての利用です。20日の朝4:30に出発し関門海峡を6:30くらいに通過、長崎市内に到着したのは9:30くらいでした。途中から小雨が降り始め初日は残念ながら傘を差しながらの観光となりました。

まずは出島観光。再開発され歴史建造物も再現されとても綺麗になっていて、江戸の薫りを感じることができました。そのあと港まで歩き、お腹もすいたので中華街に進出です。あらかじめ下調べをしていた“老李”というお店でからすみ入り長崎ちゃんぽんをいただき、お腹いっぱいになったところでグラバー庭園に向かいました。何回か行ったことはあるのですが、そこで結婚式を見るのは初めてで、素敵な光景をみさせていただきました。そのころは雨も本降りです。駐車場についたときは服もぐしょ濡れ、少し早めでしたがお宿に直行し温かいお風呂につかり普段では味わえない時間を過ごさせていただきながら、食事がはじまりました。

ホテルは稲佐山の中腹にあり、長崎市街の1000万ドルの夜景をながめながら、やはり龍馬の愛した卓袱料理。家族で円卓を囲み、鯛や伊勢海老の活造りからはじまり最後は長崎名物皿うどんが大皿にのって出てきて長崎の夜を堪能しました。

翌日は雨も止み、朝一番に三菱造船資料館を見学し明治維新以降の歴史を学び、次に平和公園でお祈りしてから長崎原爆資料館に行き、原子爆弾と戦争の恐ろしさを改めて勉強しました。最後にカステラをお土産に買い長崎をあとにしました。

帰りは佐賀県の吉野ヶ里歴史公園によって古代の生活を実感してきました。14年前に一度おとすれましたが、そのときに比べすごく綺麗になっていておどろきました。もう公園内では桜も咲き始め春のおとすれを広島より先に感じながら関門海峡を渡り九州をあとにしました。

子供たちも大きくなり学校で歴史を学び、昨年の龍馬ブームでテレビでもよく眼にし、広島と同じ被爆都市ということで、よりいっそう歴史を体で感じ今までとは一味違う最高の旅行になったので少し筆をとってみました。



シリーズ

## 薬局紹介⑮



たかす薬局

広島市西区庚午北3-11-12  
昭和30年12月開局

開局は昭和30年12月です。当時の開設者は母親で、現在の開設者（私）は、広島県立病院を昭和54年に退職して薬局を継承しました。従って公務員から自営業の世界に飛び込み、右も左もわからない状況下で、いきなり化粧品販売を勝手にやめたり、接客が「生意気だ！」などとお客様からは苦情の手紙などを多々いただいたりしたそうで、よっぽどひどかったのですね。後に母親が防波堤になってくれていたことを知ったのですが、店を任せるに当たり随分心配したことでしょう。今頃になって感謝しても遅いのですが……

さて、こんな船出だったのですが、いろいろな研修会に出席していくと自分の未熟さを思い知らされました。それからは、店頭での心構え、食養生、薬局見学、接遇、予防養生の大切さ、漢方、薬局製剤等々を学び今日に至っています。この間、経営上は山あり谷ありの30数年でしたが、お蔭様で多くのお客様の笑顔に支えられ私共夫婦は育てられたと言っても過言ではないでしょう。

当薬局は、漢方製剤や生薬を扱う漢方薬局として日々営業しています。病気の原因を明らかにすることから始まり、身体のバランスを整えることを基本としています。『防げる

病は未然に防ぐ』を使命とし、そのためのお薬は勿論食養生、予防養生の大切さを知って実践していただき、少しでも医療費削減の一端を担っていくことを目指しております。

今後も元気で心豊かに過ごせるようウォーキングやミュージカル鑑賞などを夫婦で楽しんで行きたいと思っています。特にウォーキングは、花や鳥、その土地の歴史を楽しみながら10キロ、20キロ、30キロの距離を積み重ねています。西国街道（神辺～大野）、宮島、三原の佐木島、呉市豊島の御手洗地区、深入山～恐羅漢などがお勧めです。もちろん、広島市内にもお勧めコースがたくさんありますのでご紹介しますよ！



次回は、アラタ薬局さんです。

## 書籍等の紹介

「薬剤師業務のさらなる展開～患者中心のケアを目指して～2006年版ハンドブック」

(Developing pharmacy practice A focus on patient care HANDBOOK-2006 EDITION【日本語翻訳版】)

翻訳版監修：中山健夫（京都大学大学院医学研究科教授）

監 役：川上浩司（京都大学大学院医学研究科教授）

後藤伸之（名城大学薬学部教授）

川上純一（浜松医科大学教授）

恩田光子（大阪薬科大学准教授）

漆原尚巳（京都大学大学院医学研究科助教）

発 行：株式会社メディカル ドゥ

判 型：A 5 判 本文140頁＋別冊32頁

価 格：定 価 2,800円

会員価格 2,500円

送 料：1 部 80円

「認知症の治療とケア」

監 著：高瀬義昌（医療法人社団至高会 たか  
セクリニック院長）

著 者：榊原幹夫（スギメディカル株式会社  
教育部部長）

助川未枝保（社会福祉士、ケアマネー  
ジャー、社会福祉法人広文会理事）

永田久美子（看護師、保健師、認知症  
介護研究・研修東京センター研究部副  
部長）

発 行：株式会社 じほう

判 型：A 5 判 207頁

価 格：定 価 2,730円

会員価格 2,400円

送 料：1 部 500円

保険薬事典 平成23年4月版

判 型：A 5

価 格：定 価 4,620円

会員価格 4,160円

送 料：1 部 500円

発 行：株式会社 じほう

保険薬辞典プラス 平成23年4月版

判 型：A 5

価 格：定 価 4,830円

会員価格 4,350円

送 料：1 部 500円

発 行：株式会社 じほう

**第十六改正日本薬局方（条文）**

編 集：財日本公定書協会  
 発 行：株式会社 じほう  
 判 型：B 5 判 約2,400頁  
 価 格：定 価 29,400円  
           会員価格 26,460円  
 送 料：1 部 500円

**第十六改正日本薬局方（条文）・JPDI日本薬局方医薬品情報2011セット版**

編 集：財日本公定書協会および財日本薬剤師  
           研修センター  
 発 行：株式会社 じほう  
 判 型：B 5 判 条文 約2,400頁  
           JPDI 約2,300頁  
 価 格：定 価 36,750円  
           会員価格 33,000円  
 送 料：1 部 500円

※価格はすべて税込みです。

**幹旋書籍について「お知らせ・お願い」**

日薬幹旋図書の新刊書籍につきましては、県薬会誌でお知らせしておりますが、日薬雑誌の「日薬刊行物等のご案内」ページにつきましても、随時、会員価格にて幹旋しておりますのでご参照ください。

また、書籍は受注後の発注となりますので、キャンセルされますと不用在庫になって困ります。ご注文の場合は、書籍名(出版社名)・冊数等ご注意くださいようお願い申し上げます。

-----  
 申込先：広島県薬剤師会事務局  
 TEL(082)246-4317 FAX(082)249-4589  
 担 当：吉 田 E-mail: yoshida@hiroyaku.or.jp

**「Pharmacist's Holiday～薬剤師の休日～」の募集で～す**

広島県薬剤師会誌をもっともっと充実させようと、楽しい企画を登載しています。

タイトルは「Pharmacist's Holiday～薬剤師の休日～」で、テーマはあなたが自由に描いてください。

どのような企画かと申しますと、趣味や特技があってもそれをなかなか披露したり発表したりする場所がありません。そこで会誌の1ページを使い、絵画・写真・書道・得意料理のレシピ（お菓子も可）・俳句・サークル活動・休日の過ごし方など紹介して会員同士の交流に役立てていただき、また2カ月に1度の会誌を少しでも首を長く待っていただこうと考えてみました。趣味や特技は問いませんので、ドシドシ応募をお待ちしております。（できれば思い出やエピソードを添えてください。）

応募数を見て少しでも多く登載させていただこうと思っておりますので宜しくお願いいたします。

作品は広島県薬剤師会事務局までお願いいたします。（とにかくなんでも応募してみてください。）

## 告 知 板

# 東北地方太平洋沖地震への 義援金について

東北地方太平洋沖地震の被災地域では地域住民の方々と同様に会員の薬局、住居等も甚大な被害を受けている模様であり、本会でも、被災された会員に対する義援金募金を行います。

つきましては、義援金専用振込み口座を設けましたので、ご利用くださいますよう、よろしくお願いいたします。印刷された払込取扱票については、各支部宛に送付いたしましたので、ご利用ください。

なお、この義援金については、全て日薬へ送金し、被災された県薬剤師会を通じ、被災会員にお送りいたします。

口座名 社団法人 広島県薬剤師会  
郵便貯金口座

記号及び番号 01390-0-69749

### 第55回 広島県病院薬剤師会総会

日時：平成23年5月14日（土）  
場所：エソール広島

### 安芸支部総会

日時：平成23年5月29日（日）  
場所：サンピア・アキ

### 尾道支部総会

日時：平成23年6月18日（土）  
場所：ナカタ・マックコーポレーション

### 呉支部総会

日時：平成23年5月28日（土）  
場所：呉阪急ホテル





体力づくりしていますか？

自分の健康は自分で作る。

薬天タブレッツは今年も福山の社会人ソフトボールリーグに所属しています。

5月節は21日（土）夜、メンバー  
& 助っ人募集中！

主にJFEグランドで毎月試合があります。

問い合わせは、こちらまで

〈薬天タブレッツ18番〉



桜の花が満開だったので、仕事帰りに近くの土手まで足を延ばし、ぶらぶら歩きながらお花見をしました。

東日本大震災の報道にもどかしさを感じる中、「今、私に何ができるのか」「地元でできることは何なのか」を考えています。

もうすぐ被災地にも桜便りが届きますね。

がんばろう日本！！ 〈もい鳥〉

大きな魚が大空を気持ちよさそうに泳いでいるのをよく見るこの頃。

子供の頃は、それを弟と一緒に夢中で見上げていたのを覚えています。

ある日のニュースで、被災された方々へのメッセージを書いたたくさんの鯉のぼりが、元気に泳いでいる映像を見て、温かい気持ちになりました。

私達ができることは少ないかもしれませんが、被災された方々に少しでも笑顔になっていただけるよう心より祈ります。 〈まめごま〉

このたび 東北関東大震災にあわれた方々、亡くなられた方々に心からご冥福とお見舞いを申し上げます。

今まで当たり前に使っていた水や電気のあるがたさをしみじみと感じております。

我が家では今までしたことのない節約をさせていただいております。当たり前の生活が一瞬にしてうばわれる事を想像しただけでも目の前が真っ暗になります。

実際に体験された方々の気持ちは、想像を絶するものだと思います。一日も早い復興を願って日々精進いたします。 〈ムーミンママ〉

まさに編集後に。震災関連報告などを読み、薬剤師の活躍に頭が下がる思い。胸が熱くなりました。

〈メリッサ〉

今年は、春を感じる事が少なかったと思う。東日本大震災の影響もあり、お花見気分には、なかなかなれなかったが、桜の開花時期もずれた。また、4月になっても寒さを感じ冬物のセーターを出して着ていた。今年の夏は、猛暑？・・・冷夏？・・・

〈By コアラChanズ〉

昨夏の猛暑も今冬の厳寒も乗り越えて、あちらこちらで、さまざまな花の開花が見られます。その強さの秘密を伝授してもらいたいです。

〈打ち出の小槌〉

#### 編集委員

松下 憲明  
豊見 敦  
神田千都子

谷川 正之  
西谷 啓  
有助美奈子

平田智加子  
井上 映子

中川 潤子  
松井 聡政

# 保険薬局ニュース

平成23年 5 月 1 日

広島県薬剤師会保険薬局部会

Vol.19No.3 (No.103)

事務連絡

平成23年 2 月24日

広島県薬剤師会 御中

社会保険診療報酬支払基金広島支部

## 平成23年度における受付対応について（連絡）

平素、支払基金の業務運営に對しまして、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成23年度における調剤報酬請求書等の受付日につきまして、別紙のとおり対応することといたしました。

つきまして、支払基金広島支部の広報誌に掲載し、保険薬局へお知らせすることといたしますので、ご連絡いたします。

### 平成23年度 診療（調剤）報酬請求書等の受付日について

診療（調剤）報酬請求書等の平成23年度における受付日につきましては、9日、10日が土曜日又は日曜日（祝日含む）の場合及び8日が土曜日の場合は開所のうえ下記のとおり対応しますので、お知らせいたします。

#### 記

	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
平成23年	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)
4月	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○
5月	(日)	(月)	祝(火)	祝(水)	祝(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)
	—	○	—	—	—	○	—	—	○	○
6月	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)
	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○
7月	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)
	○	—	—	○	○	○	○	○	○	○
8月	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)
	○	○	○	○	○	—	—	○	○	○
9月	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)
	○	○	—	—	—	○	○	○	○	○
10月	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	祝(月)
	—	—	○	○	○	○	○	○	○	○
11月	(火)	(水)	祝(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)
	○	○	—	○	—	—	○	○	○	○
12月	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)
	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○
平成24年	祝(日)	祝(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	祝(月)	(火)
1月	—	—	—	○	○	○	—	—	○	○
2月	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)
	○	○	○	—	—	○	○	○	○	○
3月	(木)	(金)	(土)	(日)	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)
	○	○	—	—	○	○	○	○	○	○

注1 「○」は受付日を、「—」は開所日を表す。

2 受付時間については、9時～17時30分の間でご協力をお願いします。

— 社会保険診療報酬支払基金広島支部 —

平成23年3月10日  
広島県薬剤師会保険薬局部会

## 結核・精神医療給付金制度（現物給付）の廃止について

建設連合国民健康保険組合より、平成23年3月調剤分（4月請求分）をもって、この制度を廃止することについて、次の内容の通知がありましたので、お知らせいたします。

○平成23年4月調剤分（5月請求分）より

建設連合国民健康保険組合の保険者で、感染症予防法（結核）と障害者自立支援法（精神）の規定に係る対象医療の給付に関して、自己負担相当額を現物給付(自己負担なしとして保険証に記載)されており、具体的には当該公費併用レセプトの公費で負担する部分を除いた費用全額を国保組合が負担されていました。

この度、平成23年3月調剤分をもって同制度を廃止されることになり、平成23年4月調剤分（5月請求分）より、法定自己負担分は、他保険と同様に患者負担となります。

・保険者番号 233064

・建設連合国民健康保険組合 広島県支部 TEL：082-568-0062

## 衛生検査技師免許の申請手続について

従来、衛生検査技師は、大学において医学、歯学、獣医学、薬学、保健衛生学の課程を修めてた医師、歯科医師、獣医師、薬剤師などが筆記試験等なしに申請するだけで免許を取得できました。

しかし、平成17年の「臨床検査技師、衛生検査技師等に関する法律」が改正され、上記資格者の衛生検査技師の新規免許は、平成23年3月末をもって交付されないことになりました。

平成23年3月末までに免許を取得したものは、継続して衛生検査技師の業務を行うことができます。

詳しくは、総務省のホームページをご覧ください。

[http://www.soumu.go.jp/menu\\_sinsei/shinsei/index.html](http://www.soumu.go.jp/menu_sinsei/shinsei/index.html)





平成23年 3 月25日  
広島県薬剤師会保険薬局部会

## 東北地方太平洋沖地震による被災者に伴う 保険診療関係等、一部負担金等の取扱いについて

このことについては、平成23年 3 月16日付の保険薬局ニュースにてお知らせしておりますが、状況に応じた一部改正が、度々行われております。

つきましては、本会ホームページのトップページに、「被災者に係る処方せんの取り扱い」・「一部負担金の取り扱い」として、最新の通知文書を掲載いたしましたので、ご参考くださいますよう、お願いいたします。

なお、今回の地震による患者に対応するため、医療機関から処方せんの原本を入手するまでの間は、送付されたファクシミリ等を「処方せん」とみなして差し支えないことを申し添えます。

◇広島県薬剤師会ホームページ <http://www.hiroyaku.or.jp/>

◇日本薬剤師会災害対策本部 <http://www.nichiyaku.or.jp/shinsai/>  
(左枠Information に通知文書が掲載してありますので、ご参照ください。)

## 平成22年度DEM事業の実施について

本年度も、業務ご多忙のところ、DEM事業にご協力いただき、誠にありがとうございました。  
来年度も、引き続き、よろしくお願いいたします。

## 東北地方太平洋沖地震及び長野県北部の地震による被災者に係る 医療機関での受診・窓口負担について

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本件につきまして、厚生労働省保険局医療課より、次の連絡がありましたので、お知らせいたします。

### 医療機関の方々へ

#### 被災された方々が診療に見えた際には 下記の点にご留意ください。

##### 1. 保険証の提示がなくても保険診療ができます

被災により、患者さんの保険証が紛失するなど、提示ない場合でも、  
患者さんの  
・氏名、生年月日  
・住所(国保、後期高齢者医療制度の方の場合)  
・事業所名(被用者保険の方の場合)  
を確認し、保険診療として取り扱います。

##### 2. 以下の方々は窓口での一部負担金等を支払う 必要がありません

患者さんが窓口で以下に該当することを申し出た場合には、一部負担金等を  
受け取る必要はありません。

- (1) 災害救助法の適用地域(東京都を除く)の住民(地震の発生以後、  
他市町村へ転出した者を含む)であり、
- (2) 以下のいずれかに該当する方
  - ① 住家の全半壊、全半焼又はこれに準ずる被災をした方
  - ② 主たる生計維持者が死亡し又は重篤な傷病を負った方
  - ③ 主たる生計維持者の行方が不明である方
  - ④ 主たる生計維持者が業務を廃止・休止した方
  - ⑤ 主たる生計維持者が失職し、現在収入がない方
  - ⑥ 原発の事故に伴い、政府の避難指示及び屋内退避指示の対象と  
なっている方

医療機関は一部負担金等の額も含めた全額を保険請求してください。

##### 3. 保険者が特定できなくても医療費は医療機関に 全額支払われます

保険証の提示が無い場合には、保険者の特定をしていただくようお願いして  
いますが、保険者が特定できなくても、保険請求することができます。

※具体的な請求方法については、「東北地方太平洋沖地震及び長野県北部の  
地震に関する診療報酬等の請求の取扱いについて(その2)」(平成23年4月  
1日付厚生労働省保険局医療課事務連絡)をご参照ください。

厚生労働省ホームページより、カラーでダウンロードできます。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000019dbz-img/2r98520000019l2x.pdf>

※3の項目については、患者負担分を含めて10割を審査支払機関等へ請求できますが、請求の具体的な  
手続きについては、追って連絡する予定であるとのことです。



## 薬価基準収載医薬品（平成23年3月11日付）

（13成分31品目）

### [内用薬]

商品名 (会社名) 識別記号	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
メマリー錠5mg (第一三共) MM5	メマンチン塩酸  中等度及び高度アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制	5mg1錠	133.90	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グルタミン酸受容体サブタイプの1つであるN-methyl-D-aspartate (NMDA) 受容体拮抗を作用機序とする</li> <li>・受容体に対して低親和性で、結合及び解離速度が速い</li> <li>・生理的なグルタミン酸神経活動には影響せずに、過剰なグルタミン酸によるNMDA受容体活性を抑制する</li> <li>・認知機能障害の進行を抑制し、言語、注意、実行及び視空間能力等の悪化の進行を抑制</li> <li>・攻撃性、行動障害等の行動・心理症状の進行を抑制</li> <li>・薬物代謝酵素P450による影響を受けにくい</li> </ul>
メマリー錠10mg (第一三共) MM10		10mg1錠	239.20	
メマリー錠20mg (第一三共) MM20		20mg1錠	427.50	
レミニール錠4mg (ヤンセンファーマ) JANSSEN G4	ガラントミン臭化水素酸塩  軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制	4mg1錠	119.60	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセチルコリンエステラーゼ阻害作用に加え、ニコチン性アセチルコリン受容体へのアロステリック増強作用を併せ持つ</li> <li>・薬物代謝酵素P450（CYP2D6、CYP3A4）により代謝される</li> </ul>
レミニール錠8mg (ヤンセンファーマ) JANSSEN G8		8mg1錠	213.80	
レミニール錠12mg (ヤンセンファーマ) JANSSEN G12		12mg1錠	271.00	
レミニールOD錠4mg (ヤンセンファーマ) JP110		4mg1錠	119.60	
レミニールOD錠8mg (ヤンセンファーマ) JP111		8mg1錠	213.80	
レミニールOD錠12mg (ヤンセンファーマ) JP112		12mg1錠	271.00	
レミニール内用液 4mg/mL (ヤンセンファーマ)		0.4%1mL	107.30	

商品名 (会社名) 識別記号	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
エディロールカプセル 0.5 $\mu$ g (中外製薬)	エルデカルシトール  骨粗鬆症	0.5 $\mu$ g 1カプセル	68.50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活性型ビタミンD3（カルシトリオール）の誘導体</li> <li>・ カルシトリオールに比べてT1/2 が約3 倍長いことを示す報告がある</li> <li>・ アルファカルシドールに比べて低用量から骨密度を増加させる傾向がある</li> </ul>
エディロールカプセル 0.75 $\mu$ g (中外製薬)		0.75 $\mu$ g 1カプセル	98.80	
プラザキサカプセル 75mg (日本ベーリンガーインゲルハイム)  R75	ダビガトランエテキシラートメタンスルホン酸塩	75mg 1カプセル	132.60	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経口投与が可能な直接トロンビン阻害剤</li> <li>・ 血液凝固能のモニタリングやそれに伴う用量調節が不要</li> <li>・ ビタミンK を含有する食物の制限が不要</li> <li>・ プロドラッグであり、消化管から吸収されるとエステラーゼにより活性代謝物であるダビガトランに変換される</li> <li>・ P糖蛋白の基質である</li> <li>・ 薬物代謝酵素P-450による代謝を受けない</li> <li>・ 吸湿性があるので、服用直前にPTP シートから取り出すよう指導する（アルミピロー包装のまま調剤を行うことが望ましい）</li> </ul>
プラザキサカプセル 110mg (日本ベーリンガーインゲルハイム)  R110	非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制	110mg 1カプセル	232.70	
フェブリク錠10mg (帝人ファーマ) 表：TJN FET 裏：10	フェブキソスタット  痛風、高尿酸血症	10mg1錠	31.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 世界初の新プリン型選択的キサンチンオキシダーゼ阻害剤</li> <li>・ 腎機能が軽度～中等度に低下した患者さんにも用量調節が不要</li> </ul>
フェブリク錠20mg (帝人ファーマ) 表：TJN FET 裏：20		20mg1錠	56.40	
フェブリク錠40mg (帝人ファーマ) 表：TJN FET 裏：40		40mg1錠	106.60	
シュアポスト錠 0.25mg (大日本住友製薬) DS232	レパグリニド  2 型糖尿病における食後血糖推移の改善 ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限定 (1)食事療法・運動療法のみ (2)食事療法・運動療法に加えて $\alpha$ -グルコシダーゼ阻害剤を使用	0.25mg1錠	32.50	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 速効型インスリン分泌促進剤</li> <li>・ 投与の際の空腹時血糖が<math>\geq 126</math>mg/dL 以上、又は食後血糖 1 又は 2 時間値が<math>\geq 200</math>mg/dL以上を示す場合に限定すること</li> <li>・ 毎食直前（10分以内）に服用する</li> <li>・ 食事の30分以上前の服用では、食事開始前に低血糖を起こすことがある</li> </ul>
シュアポスト錠 0.5mg (大日本住友製薬) DS233		0.5mg1錠	57.80	

商品名 (会社名) 識別記号	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
ソニアス配合錠LD (武田薬品工業)  323	ピオグリタゾン塩酸塩・グリメピリド  2型糖尿病 ただし、ピオグリタゾン塩酸塩及びグリメピリドの併用による治療が適切と判断される場合に限る。	1錠	84.60	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2型糖尿病治療の第一選択薬として用いないこと</li> <li>・LDは、原則として、既にピオグリタゾンとして1日15mg及びグリメピリド1日1mgを併用し状態が安定している場合、あるいはピオグリタゾンとして1日15mg又はグリメピリド1日1mgの単剤の治療により効果不十分な場合に、使用を検討すること</li> <li>・HDは、原則として、既にピオグリタゾンとして1日30mg及びグリメピリド1日3mgを併用し状態が安定している場合、あるいはグリメピリド1日3mgの単剤の治療により効果不十分な場合に使用を検討すること</li> <li>・ピオグリタゾンとして1日30mg単剤の治療により効果不十分な場合は、原則としてグリメピリドの開始用量（1日0.5～1mg）から各単剤の併用療法を行うこと</li> </ul>
ソニアス配合錠HD (武田薬品工業)  324		1錠	158.00	
アクレフ口腔粘膜吸収剤200μg	フェンタニルクエン酸塩  強オピオイド鎮痛剤を定時投与中の癌患者における突出痛の鎮痛	200μg1本	951.10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい投与経路の製剤</li> <li>・経口剤と比較して即効性で、持続時間も短い</li> <li>・強オピオイド鎮痛剤を定時投与中の癌患者におけるレスキュー専用薬</li> </ul>
アクレフ口腔粘膜吸収剤400μg		400μg1本	1,729.20	
アクレフ口腔粘膜吸収剤600μg (田辺三菱製薬)		600μg1本	2,179.30	
アクレフ口腔粘膜吸収剤800μg (田辺三菱製薬)		800μg1本	2,502.50	

## [注射薬]

商品名 (会社名)	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
アリクストラ皮下注 5mg (グラクソ・スミスクライン)	フォンダパリヌクスナトリウム  急性肺血栓塞栓症及び急性深部静脈血栓症の治療	5mg0.4mL 1筒	3,380	<ul style="list-style-type: none"> <li>・血液凝固過程において中心的な働きをする活性化第X因子（Xa(テンザー)因子）を選択的に阻害する完全化学合成のXa阻害剤</li> <li>・プレフィルドシリンジによる1日1回の皮下注射</li> <li>・モニタリングによる用量調節の必要が不要</li> <li>・第8回ACCP（米国胸部疾患学会）の静脈血栓塞栓症予防ガイドラインにおいて、肺血栓塞栓症および深部静脈血栓症の疑いまたは確定例に対する短期投与がGrade 1Aで推奨されている</li> </ul>
アリクストラ皮下注 7.5mg (グラクソ・スミスクライン)		7.5mg0.6mL 1筒	4,423	

商品名 (会社名)	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
ロミプレート皮下注 250 $\mu$ g調製用 (協和発酵キリン)	ロミプロスチム (遺伝子組換え) 慢性特発性血小板減少性紫斑病	250 $\mu$ g 1瓶	67,972	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで慢性ITP治療で広く用いられてきた薬剤とは異なり、トロンボポエチン(TPO)受容体を介して血小板増加を促進する新たな治療薬</li> <li>・他の治療にて十分な効果が得られない場合又は忍容性に問題があると考えられる場合、血小板数、臨床症状からみて出血リスクが高いと考えられる場合に使用</li> </ul>
ステラーラ皮下注 45mgシリンジ (ヤンセンファーマ)	ウステキヌマブ (遺伝子組換え) 既存治療で効果不十分な下記疾患 尋常性乾癬、関節症性乾癬	45mg0.5mL 1筒	426,552	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本邦初のヒト型抗ヒトIL-12/23p40モノクローナル抗体製剤</li> <li>・乾癬では、IL-12やIL-23によって活性化されるヘルパーT細胞やナチュラルキラー細胞等の免疫担当細胞が重要な役割を担っている</li> <li>・免疫抑制作用により感染のリスクを増大させる可能性がある</li> <li>・因果関係は明らかではないが、悪性腫瘍の発現が報告されている</li> <li>・治療反応が得られない場合、投与開始から28週以内には増量を含めて治療計画を再考</li> <li>・増量を行っても十分な治療反応が得られない場合、本剤の投与継続を慎重に再考</li> </ul>
ビダーザ注射用100mg (日本新薬)	アザシチジン 骨髄異形成症候群	100mg1瓶	49,993	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全FAB分類の骨髄異形成症候群の患者に対して認可された薬剤</li> <li>・殺細胞作用（マウス、in vitro）及びDNAメチル化阻害作用（ヒト、in vitro）を示す</li> <li>・緊急時に十分対応できる医療施設において、造血器悪性腫瘍の治療に対して十分な知識経験を持つ医師のもとで、本剤の投与が適切と判断される症例についてのみ投与すること</li> </ul>

#### [外用薬]

商品名 (会社名)	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
オルベスコ100 $\mu$ g インヘラー56吸入用 (帝人ファーマ)	シクレソニド 気管支喘息	5.6mg3.3g 1キット	1,835.60	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児への適応追加に伴う規格追加製品</li> </ul>

## 薬価基準収載医薬品（平成23年3月18日付）

（10成分12品目）

### [内用薬]

商品名 (会社名) 識別記号	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
ウリトスOD錠 0.1mg (杏林製薬) K P 121	イミダフェナシン  過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁	0.1mg1錠	96.50	・既存のウリトス錠、ステープラ錠に新剤型（口腔内崩壊錠）を追加
ステープラOD錠 0.1mg (小野薬品) O N O 517		0.1mg1錠	96.50	
ベシケアOD錠 2.5mg (アステラス製薬) 721	コハク酸ソリフェナシン  過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁	2.5mg1錠	113.00	・既存のベシケア錠に新剤型（口腔内崩壊錠）を追加
ベシケアOD錠 5mg (アステラス製薬) 755		5mg1錠	189.80	
タシグナカプセル 150mg (ノバルティス ファーマ) NVR BCR	ニロチニブ塩酸塩水和物  慢性期又は移行期の慢性骨髄性白血病	150mg 1カプセル	3,516.50	・効能効果を「イマチニブ抵抗性の慢性期又は移行期の慢性骨髄性白血病」から追加変更、用法用量も一部追加し、既存の200mg製剤に新規格（150mg 製剤）を追加
サワシリンカプセル 125 (アステラス製薬) サワシリン 125	アモキシシリン水和物  ＜適応菌種＞ 本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、淋菌、大腸菌、プロテウス・ミラビリス、インフルエンザ菌、ヘリコバクター・ピロリ、梅毒トレポネーマ ＜適応症＞ 表在性皮膚感染症、深在性皮膚感染症、リンパ管・リンパ節炎、慢性膿皮症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染、乳腺炎、骨髄炎、咽頭・喉頭炎、扁桃炎、急性気管支炎、肺炎、慢性呼吸器変の二次感染、膀胱炎、腎盂腎炎、前立腺炎（急性症、慢性症）、精巣上体炎（副睾丸炎）、淋菌感染症、梅毒、子宮内感染、子宮付属器炎、子宮旁結合組織炎、涙嚢炎、麦粒腫、中耳炎、歯周組織炎、歯冠周囲炎、顎炎、猩紅熱、胃潰瘍・十二指腸潰瘍・胃MALTリンパ腫・特発性血小板減少性紫斑病・早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリ感染症	125mg 1カプセル	13.70	・既存の250mg製剤に新規格（125mg 製剤）を追加

[注射薬]

商品名 (会社名)	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
リン酸 Na 補正液 0.5mmol / mL (大塚製薬工場)	リン酸水素ナトリウム水和物、リン 酸二水素ナトリウム水和物  電解質補液の電解質補正	0.5mol 20mL1管	136	・カリウムを含まない リン補正製剤
キンダリー透析剤 4E (扶桑薬品)	＜A 剤＞ 塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩 化マグネシウム、塩化カルシウム水 和物、無水酢酸ナトリウム、ブドウ 糖 ＜B 剤＞ 炭酸水素ナトリウム 慢性腎不全における透析型人工腎臓 の灌流液として用いる。(無糖の透 析液では血糖値管理の困難な患者及 び他の重炭酸型透析液では高カリウ ム血症、高マグネシウム血症の改善 が不十分な場合、又は高カルシウム 血症を起こすおそれのある場合に用 いる。)	2袋1組	1,093	・既存のキンダリー透 析剤2E及び3Eの中 間の組成の透析剤
キンダリー透析剤 4D (扶桑薬品)	＜A-1 剤＞ 塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩 化マグネシウム、塩化カルシウム水 和物、無水酢酸ナトリウム ＜A-2 剤＞ ブドウ糖 ＜B 剤＞ 炭酸水素ナトリウム  キンダリー透析剤 4E と同じ。	3袋1組	1,119	・既存のキンダリー透 析剤2D及び3Dの中 間の組成の透析剤
キンダリー透析剤 AF4P 号 (扶桑薬品)	＜A液＞ 塩化ナトリウム、塩化カリウム、塩 化マグネシウム、塩化カルシウム水 和物、無水酢酸ナトリウム、ブドウ 糖 ＜B末＞ 炭酸水素ナトリウム キンダリー透析剤4Eと同じ。	10L1瓶 (炭酸水素ナ トリウム付)	1,270	・既存のキンダリー 透析剤AF2P号及び AF3P号の中間組成 の透析剤
プログラフ注射液 2mg (アステラス製薬)	タクロリムス水和物  1.下記の臓器移植における拒絶反応 の抑制 腎移植、肝移植、心移植、肺移植、 脾移植 2.骨髄移植における拒絶反応及び移 植片対宿主病の抑制	2mg0.4mL 1管	2,903	・既存の5mg製剤に新 規格(2mg製剤)を 追加



[外用薬]

商品名 (会社名)	成分名 効能・効果	規格単位	薬価 (円)	備考
クラビット点眼液 1.5% (参天製薬)	<p>レボフロキサシン水和物</p> <p>&lt;適応菌種&gt;            本剤に感性のブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌、腸球菌属、ミクロコッカス属、モラクセラ属、コリネバクテリウム属、クレブシエラ属、エンテロバクター属、セラチア属、プロテウス属、モルガネラ・モルガニー、インフルエンザ菌、ヘモフィルス・エジプチウス（コッホ・ウィークス菌）、シュードモナス属、緑膿菌、ステノトロホモナス（ザントモナス）・マルトフィリア、アシネトバクター属、アクネ菌</p> <p>&lt;適応症&gt;            眼瞼炎、涙嚢炎、麦粒腫、結膜炎、瞼板腺炎、角膜炎（角膜潰瘍を含む）、眼科周術期の無菌化療法</p>	1.5% 1 mL	138.10	・既存の0.5%製剤に新規格（1.5%製剤）を追加

## 犯罪情報官 速報

# なりすまし電話が連続発生！

4月6日、広島市中区の女性方に、息子を名乗る男から、  
「風邪を引いて熱が出た。携帯電話の番号を変えた。」  
という内容の電話があり、さらに翌7日、  
「子どもができた。」

といった、振り込め詐欺を疑わせる電話がありました。

この女性は、最初の電話の後、息子に連絡して確認を取っていたことから、騙されることなく終わっています。



**更に本日になって、同様の不審電話が広島市内でも連続してかかっています！**

## ～被害を防ぐためには～

### ●まずは冷静になって！

家族などに相談して確認してください。

### ●すぐに110番通報を！

たとえ不審に思わなくても、すぐに110番通報してください。

平成23年-平成27年  
**「なくそう犯罪」**  
ひろしま 新 アクション・プラン  
～犯罪の起こらない社会へ～

運動目標

日本一安全・安心な広島県の実現

行動目標

これまでで最も被害の少ないまちを目指す  
子ども・女性を犯罪から守る

会員の皆さんにいち早く犯罪発生情報等をお知らせするメールマガジンを配信しています。  
携帯電話のバーコード読取機能を使って右のQRコードを読み取ってください。

27警察署のうち、特定の警察署のメールだけを受信するように設定することができます。

また、情報種別については、「子ども・女性対象の事件、不審者情報」「防犯情報」「県警からのお知らせ」の3つから、受信するメールを自由に選択できます。



メールマガジン  
会員登録

## 国会レポート



### 平成23年度予算案及び子ども手当つなぎ法案が成立

参議院議員

薬学博士

藤井もとゆき

東日本大震災の発生から1カ月近くが経過しました。被災者の皆さんの避難生活も長期化することが確実であり、大津波のため被災者の家屋の多くが流失し、仮設住宅の建設が急がれています。被災地には100を超える医療チームが活動中と聞いており、日本薬剤師会や日本病院薬剤師会の協力により、多くの薬剤師ボランティアが派遣されています。支援物資としての医薬品の供給については不安の声は少なくなっていますが、一部の医療用医薬品については製造工場の破損等のため供給に支障を来し、緊急輸入、別工場での生産等による対応が図られています。また、関東地域における計画停電によるバイオ医薬品、無菌製剤の製造への影響も危惧されており、代替品のない医薬品の供給が滞ることがないような配慮が必要です。

さて国会においては、平成23年度予算案が参議院で否決されたことを受け、両院協議会で協議が行われましたが意見の一致を見ず、憲法第60条第2項の規定により衆議院の議決が国会の議決となり、3月29日成立しました。

一方、民主党のマニフェストの目玉である、平成23年度における子ども手当法案については、参議院において成立の目的が立たないまま年度末の期限が迫ったことから、急遽与党は“国民生活等の混乱を回避するための平成22年度における子ども手当の支給に関する法律の一部を改正する法律案”（子ども手当つなぎ法案）を議員提案しました。“子ども手当つなぎ法案”は、平成22年度の子どもの手当を、そのまま6か月間延長して適用するというもので、「親のいない子どもへは支給されない」、「高額所得者の子どもにも支給する」、「国内居住は問わない」などの問題点もそのままということになっています。自民党においては、“ばらまき”としか思われぬ子ども手当に係る経費を、むしろ大震災の復興に向けるべきであるとの考えから、平成23年度法案のみならず“子ども手当つなぎ法案”にも反対するという立場で臨みました。

衆議院においては、平成23年度子ども手当法案が国会に提出されたまま、3月29日の厚生労働委員会に“子ども手当つなぎ法案”が提案されるという極めて異例な状況の中で、与党及び共産、社民の賛成多数で可決され、同日の本会議に上程して可決されました。平成23年度子ども手当法案は、3月31日の衆議院本会議で撤回されました。

参議院においては、年度末の3月31日に“子ども手当つなぎ法案”が厚生労働委員会に提案され、質疑討論の後に採決に付されました。賛否同数（12対12）のため委員長に委ねられ、委員長賛成で可決されました。委員会終了を受けて、同日午後、本会議が開かれ、他の日切れ法案とともに“子ども手当つなぎ法案”が上程され、討論の後採決に付されました。参議院では否決されると予想されていましたが、野党議員の一部が賛成に回ったため、委員会と同様に賛否同数（120対120）となり、議長の賛成により可決成立しました。10月以降は白紙とされています。

被災地で活動される薬剤師ボランティアの皆さんに敬意を払うとともに、今は、被災地の早期の復興を願うばかりです。

## 第17回統一地方選挙について (政令指定都市市長選挙・県議会議員選挙・政令市市議会議員選挙)

去る、4月10日に執行されました第17回統一地方選挙におきまして、本連盟より推薦いたしました次の方々の結果をご報告いたします。

・広島市長選挙	松 井 かずみ 氏	当 選
・広島県議会議員選挙	林 正 夫 氏 (中区)	当 選
	山 木 靖 雄 氏 (西区)	当 選

また、支部におきまして推薦されました方々の結果は次のとおりです。

・広島県議会議員選挙	
広島支部	間 所 了 氏 (東 区) 当 選
安佐支部	河 井 あんり 氏 (安佐南区) 当 選
〃	佐々木 博 司 氏 ( 〃 ) 当 選
〃	山 崎 正 博 氏 (安佐北区) 当 選
福山支部	三 好 良 治 氏 (福 山 市) 当 選
〃	平 浩 介 氏 ( 〃 ) 当 選
廿日市市支部	山 下 智 之 氏 (廿日市市) 当 選
三原支部	平 田 修 己 氏 (三 原 市) 当 選 (無投票)
・広島市議会議員選挙	
安佐支部	藤 原 勉 氏 (安佐南区) 落 選



第28回

# 日本TDM学会・学術大会

The 28th Annual Meeting of The Japanese Society of Therapeutic Drug Monitoring

テーマ チーム医療を支えるTDM

～基礎から学べるTDM～

平成23年  
6月18日(土)  
19日(日)

会場 広島国際会議場 会長 木平 健治 (広島大学病院 薬剤部長・教授)

特別講演1 (平成23年6月18日(土) 15:10-16:10)

「臓器移植後のTDMと免疫モニタリングによる至適免疫抑制」  
広島大学大学院医歯薬学総合研究科先進医療臨床科学講座内科学 教授 大段 秀樹 先生

特別講演2 (平成23年6月19日(日) 11:10-12:10)

「中小病院でのTDM実務実習への取り組み」  
～苦手意識を持たないために～  
医療法人社団三喜会横浜緑樹総合病院薬剤部 藤本 康嗣 先生

初心者セミナー (平成23年6月19日(日) 9:00-11:00) 「採血、測定、投与計画およびフィードバックのポイントを知ろう」

シンポジウム1 (平成23年6月18日(土) 9:40-11:40)

「TDM学会ガイドライン策定委員会中間報告」

シンポジウム2 (平成23年6月18日(土) 16:20-18:20)

「臨床TDMに活かす専門性」

シンポジウム3 (平成23年6月19日(日) 14:30-16:30)

「薬理遺伝学(PGx)のTDMへの展開に必要なエッセンス」

<http://tdm2011.umin.jp>

参加登録締切:平成23年5月12日(木)まで

※事前登録はインターネットからのオンライン登録となります。

主催/日本TDM学会



## 社団法人 広島県薬剤師会

〒730-8601 広島市中区富士見町11番42号

電話 (082) 246-4317 (代) FAX (082) 249-4589

ホームページ <http://www.hiroyaku.or.jp>

E-mailアドレス [yakujimu@hiroyaku.or.jp](mailto:yakujimu@hiroyaku.or.jp)



E-mail QR

定価  
300  
円